

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	PC演習	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村 直人	情報統計科学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	理学療法士・作業療法士は、業務の報告や引継ぎのためのワープロソフト、患者の日々の変化を数値化するための表計算ソフト、学会・研究会等の発表に用いるプレゼンテーションソフト等が使えることが必須になってきている。この科目では、これらの基本的な使い方を理解すると同時に、インターネットの仕組みについて理解し、その中で自分自身がどのように振舞わなければならないかについて学ぶ。					
行動目標 (SBO)	<ul style="list-style-type: none"> ・本校ポータルサイトのデスクネッツで閲覧板の作成、メールの作成等ができる。 ・インターネットの世界と現実世界は違っているようでそれほど違わないことを理解する。 ・プレゼンテーションソフト (パワーポイント) の基本的な使い方を理解する。 ・ワープロソフト (ワード) の基本的な使い方を理解する。 ・表計算ソフト (エクセル) の基本的な使い方を理解する。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
学生により、ソフトウェア使用の経験が大きく異なるため、場合により個別に補習等を行うことがある。						
教科書・参考書						
特に教科書は使わないが、使い方に関する本はたくさん出版されているので、それらを参考にするのは構わない。						
受講時留意点、その他						
授業の進み具合によっては、内容が変更される場合がある。 授業中にスマートフォンを使用する場合がある。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	成績評価は、授業の中で作成する提出物 (プレゼンテーションファイル等) にて行う。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の積極的な発言等は、成績に加味する場合がある。 正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月8日	デスクネット の使用法Ⅰ : 各人に与えられるデスクネット のアカウントを用いてログイン・ログアウトする方法を学び、基本設定を行う。	中村		PC室
第2回 4月15日	デスクネット の使用法Ⅱ : 本項で最も用いられる閲覧板の使用法について理解する。また、メールの使用法について学ぶ。	中村		PC室
第3回 4月22日	デスクネット の使用法Ⅲ : スケジュール機能を使って時間割を作成し、共有する方法を理解する。	中村		PC室
第4回 4月25日、27日	インターネットリテラシー : インターネットの成り立ちとそれを利用していくために心得ておくべきことを理解する。	中村	配布資料	PC室
第5回 5月6日	SNS利用の注意点 : 誰もが利用しているSNSについて、個人情報など、医療従事者を志すものが留意すべき事柄を理解する。	中村	配布資料	PC室
第6回 5月13日	インターネット上での情報の検索 : インターネット上の情報がどのように役に立ち、どのように危険かについて理解する。	中村	配布資料	PC室
第7回 5月20日	オペレーティングシステム (Windows) の基礎知識 : コンピュータで、我々が無意識的に使っているオペレーティングシステムがどのようなことをしているかを理解する。	中村		PC室
第8回 5月27日	自分をプレゼンしようⅠ : パワーポイントを使って自己紹介のプレゼンテーションを作成する。	中村		PC室
第9回 6月3日	自分をプレゼンしようⅡ : 前回の続き。作成したプレゼンテーションファイルの提出をする。	中村		PC室
第10回 6月10日	履歴書を作ろう : ワードを使って、履歴書を作成し、ファイルを提出する。	中村	配布資料	PC室
第11回 6月17日	表計算ソフトは何ができるか : 表計算ソフト (エクセル) の成り立ちと基本的な仕組みについて理解する。	中村		PC室
第12回 6月23日	データからグラフを作る : エクセルを使って、データから様々なグラフを作成し、結果を提出する。	中村		PC室
第13回 6月30日	式が使えると色々便利Ⅰ : セルに式を埋め込み、自動的に計算させる方法について理解する。	中村	配布資料	PC室
第14回 7月7日	関数が使えると色々便利Ⅰ : 関数の基本的な考え方について理解する。	中村		PC室
第15回 7月14日	関数が使えると色々便利Ⅱ : 関数を使って簡単な統計を行う。	中村		PC室
定期試験	(提出物により評価を行うため、定期試験は行わない)			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	心理学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村 直人					
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	人間の行動や基礎にある原理を学び、こころの理解に必要な基本的知識を身につける。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 行動を引き起こす入力としての感覚・知覚、行動を支える意識・情動について理解する。 2. 行動を司るメカニズムとしての学習・記憶・思考について理解する。 3. 個人を形作る特徴と人同士のかかわり合いによる行動の変化について理解する。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>理学療法士・作業療法士は、体や心にハンディキャップを持つ人をサポートすることが仕事である。そのため、健常な人の心を知っておくことは非常に重要である。</p> <p>将来受験する国家試験では「心理学」という分野はないが、関係する設問が色々な分野（特に臨床心理学、運動学、生理学等）にまたがって出題されるので、単なる教養科目としないで受講すること。</p>						
教科書・参考書						
教科書は使用せず、プリントを配布する。						
受講時留意点、その他						
授業の進み具合によっては、内容の変更、補講等が行われる場合がある。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行い、成績評価を行う。評価割合は原則として100%とする。				
小テスト	0	理解度を確かめるための確認として行う。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の積極的な発言等は、成績に加味する場合がある。 正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)						

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月7日	感覚と知覚（我々の行動を引き起こすメカニズムの入り口としての感覚と知覚を視覚を例にとって学ぶ） KW：桿体、錐体、盲点、奥行き知覚、恒常性、錯視	中村	資料配布	203
第2回 4月14日	意識（我々の行動を支える意識の活動とその変容について学ぶ） KW：サーカディアンリズム、感覚遮断、催眠、薬物依存	中村	資料配布	203
第3回 4月21日	学習Ⅰ（我々の行動を引き起こす学習の基礎について学ぶ） KW:古典的条件づけ、オペラント条件づけ、弁別、般化、強化	中村	資料配布	203
第4回 4月28日	学習Ⅱ（人間の運動学習に深くかかわる概念を学ぶ） KW:結果の知識、遂行の知識、分散学習と集中学習、運動プログラム	中村	資料配布	203
第5回 5月12日	1-4回のまとめと解説	中村		203
第6回 5月20日	記憶（我々が頭の中に情報を保持するための基本的メカニズムについて学ぶ） KW:忘却、干渉、宣言的記憶、手続き的記憶	中村	資料配布	203
第7回 5月25日	動機づけ（我々の行動を強めたり弱めたりする機能について学ぶ） KW:生理的動機、内発的動機、社会的動機	中村	資料配布	203
第8回 6月1日	情動（行動を我々の意図とは異なる方向へ導くメカニズムについて学ぶ） KW:末梢説、中枢説、パベツの回路、二重構造説、海馬、扁桃体	中村	資料配布	203
第9回 6月9日	ストレスとコーピング（同じ刺激でも異なる影響を引き起こすメカニズムとストレスへの対処について学ぶ） KW:ストレス、HPA軸、汎適応症候群、A型行動パターン	中村	資料配布	203
第10回 6月16日	6-9回のまとめと解説	中村		203
第11回 6月22日	パーソナリティと診断（我々の個性を形作る特徴とその測定法について学ぶ） KW:類型論、特性論、質問紙法、作業検査法、投影法、テストバッテリー	中村	資料配布	203
第12回 6月29日	思考と言語Ⅰ（我々が「考えている」とき、頭の中でどのようなことが起こっているかについて学ぶ） KW:問題解決、表象、概念	中村	資料配布	203
第13回 7月6日	思考と言語Ⅱ（我々はどのようなやり方で考え、その結果をどのように整理しているかについて学ぶ） KW:推論、文章理解	中村	資料配布	203
第14回 7月13日	人間関係の心理（他者の存在が我々の行動にどのように影響するか学ぶ） KW:アイヒマン実験、認知的不協和、責任の拡散、リスクシフト	中村	資料配布	201/203
第15回 7月20日	11-14回のまとめと解説	中村		201/203
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	科学哲学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	岩崎 大 (非常勤)					
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 前期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	科学哲学の認識を経て、リハビリテーションに関わる者として、そして一人の人間として、科学的、哲学的に自問していく素養を身につける。					
行動目標 (SBO)						
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>科学は人類の生活を豊かにしてきた。しかしその一方で、科学が人類に様々な危機をもたらしていることも事実である。本講義では、リハビリテーションを含む人間の生、そして死のあらゆる営みに関与する科学の実相を明らかにしていく。科学を哲学的に分析することによって、科学のもつ普遍性、確実性は脅かされることとなる。本講義の目標は、科学哲学の認識を経て、リハビリテーションに関わる者として、そして一人の人間として、科学的、哲学的に自問していく素養を身につけることである。</p>						
教科書・参考書						
<p><教科書> 稲垣 諭：『リハビリテーションの哲学あるいは哲学のリハビリテーション』 春風社 <参考図書> A.F.チャルマーズ：『科学論の展開』 恒星社厚生閣 岩崎 大：『スマホと哲学』 春風社 その他、講義中に適宜示唆する</p>						
受講時留意点、その他						
<p>前期 火曜日の3,4限に開講（偶数月の第2火曜日を除く） 講義形式であるが、参加型の課題やグループディスカッションも行う。 哲学とは、知識を蓄積することではなく、生の経験から問いを立て、自らの施行を展開していくことである。そのため講義では、問いを自らの生に関わる問題としてとらえ、思案する態度が重要である。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/5	哲学とは何か	岩崎		講堂
第2回 4/5	哲学に何ができるのか	岩崎		講堂
第3回 4/19	科学的な推論とは①	岩崎		講堂
第4回 4/19	科学的な推論とは②	岩崎		講堂
第5回 5/10	「全てのカラスは黒い？」(帰納法の問題) ①	岩崎		講堂
第6回 5/10	「全てのカラスは黒い？」(帰納法の問題) ②	岩崎		講堂
第7回 5/24	反証主義	岩崎		講堂
第8回 5/24	理論負荷性	岩崎		講堂
第9回 6/7	科学の発展①	岩崎		講堂
第10回 6/7	科学の発展②	岩崎		講堂
第11回 6/21	リハビリテーションと哲学①	岩崎		講堂
第12回 6/21	リハビリテーションと哲学②	岩崎		講堂
第13回 7/5	臨床における倫理的問題①	岩崎		講堂
第14回 7/5	臨床における倫理的問題②	岩崎		講堂
第15回 7/12	まとめ	岩崎		講堂
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	生活社会科学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中原留美子	科学哲学・人間発達学・心理学・コミュニケーション論等				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 前期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	さまざまな世代の人の生活を理解するために、家庭内での生活や社会における生活を、それぞれの世代の社会規範や背景、人生観や価値観などを学ぶ。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活とは何かについてさまざまな考えを説明できる。 2. 仕事や余暇活動についての考え方を説明できる。 3. 病いや老いについての考え方を説明できる。 4. 各世代の生活について説明できる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
理学療法士・作業療法士は様々な世代の方の生活を支援する仕事であるため、各世代の生活を理解することが重要である。その人らしい生活が送れるよう支援するためには、それぞれの生活で大切にしていること、期待されていることを知る必要がある。それぞれの生活に関する考え方を時代背景や価値観、人生観など含め、自分の身の回りの人から聴取することによって学ぶ。						
教科書・参考書						
教科書：社会学入門—社会とのかかわり方 筒井淳也・前田泰樹著、有斐閣ストウディア						
受講時留意点、その他						
事前に教科書を読み、どういう内容から自分はこう考えたなど意見交換します。予習は必須となります。意見交換はひとつの答えを導くことではなく、どうしてこういう考え方になるのか、こういう考え方もあるのかということをお互い受け止め理解することが大切です。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	各回授業のまとめ・インタビュー内容の課題				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4/6	コースオリエンテーション/生活とは この講義の目的、目標、スケジュールなどを確認、理解する。「生活」とはど ういうものか、人生100年時代について考える。【KW】生活・ライフシフト	中原		203
第2回 4/12	出生について 出生について、妊娠・出産と選択をどう考えるを話し合い、発表する。 【KW】社会階層の閉鎖性・優生保護法・出生前診断	中原	p.12-40	203
第3回 4/20	行為の理解 p.62のコラム④とp.66-72の授業構造について、どう考えるかを話し合 い、発表する。【KW】自分の行為の成り立ち・他人との行動との関係	中原	p.62 p.66-72	203
第4回 4/27	家族であること 家族の多様化・家族規範・子育て・介護等家族であることについて話し合 い、発表する。【KW】家族・多様化・規範・ケアの社会科	中原	p.110- 140	203
第5回 5/11	家族であることの意味 自分の家族の誰にどんなことを聞いてみたいかを話し合い、発表する。 【KW】情報収集の内容・家族であること・イベント・出来事	中原		203
第6回 5/18	家族であることの意味 自分や兄弟・親や祖父母にとって家族であることを聴取したことを報告し、 発表する。【KW】家族・イベント・出来事	中原		203
第7回 5/25	働くこと 感情労働の難しさと社会の中で働くことについて、どう考えるかを話し合い、 発表する。【KW】ワークバランス・生き甲斐・感情労働	中原	p.74-108	203
第8回 6/1	働くことの意味 家族から働くことについて聴取するための具体的な内容について話し合い、 発表する。【KW】情報収集内容・働くこと・仕事の選択	中原		203
第9回 6/8	働くことの意味 聴取した内容について報告し合って、発表する。 【KW】働くこと・仕事の選択・やりがい	中原		203
第10回 6/15	病むこと 病気になる・怪我をすることによって、今までの生活と違う生活を送らざるを 得ない状況を想像し、発表する。【KW】病気・状況・心理	中原	p.158- 166	203
第11回 6/22	老いること 老いることはどういうことかを想像し、発表する。 【KW】老いること	中原	p.166- 172	203
第12回 6/29	人生における過去・現在・未来 聴取する人の子どもの頃、青春時代など、現在や未来にどのように影響し ているかを知る。【KW】過去の出来事・流行・社会背景	中原		203
第13回 7/6	人生における過去・現在・未来 聴取した内容について報告し合って、発表する。 【KW】過去の出来事・流行・社会背景	中原		203
第14回 7/22	人生における過去・現在・未来 各年代ごとについて調べる。【KW】年代ごとの出来事や流行過去・現 在・未来	中原		講堂
第15回 7/22	人生における過去・現在・未来 調べたことを発表する 【KW】年代ごとの出来事・現在や未来	中原		講堂
定期試験	実施しない。			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	英語 I	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	Matthew Keighley (非常勤)	英語A、英語B				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 前期						
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	医療に関連した英語を学ぶ。					
行動目標 (SBO)	①医療現場で簡単なコミュニケーションを図ることができる。 ②スピーキングとリスニング方略を学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>例年、日本を訪れる観光客が増加し、日本へ移住する外国人も増加傾向にあります。医療現場では英語が共通言語として必要不可欠です。この授業では、①医療現場で簡単なコミュニケーションを図ることができる、②スピーキングとリスニング方略を学ぶ、を授業目標とします。授業だけで外国語をマスターするのは難しいので、独学の方法も紹介します。</p>						
教科書・参考書						
<p>Textbooks 1. Communication Spotlight: Starter (2nd Edition) by Alastair Graham-Marr, David Moran, Brett Reynolds and Suzanne McNeese . (Published by ABAX, 2013)</p>						
受講時留意点、その他						
<p>前期、毎週金曜日に開講します。ただし、第六回のみ水曜日（5/18）に開講します。 適宜小テストを実施すると同時に、授業への参加態度も評価します。予習・復習と積極的な授業参加を期待します。 英和辞典か電子辞書を持参して下さい。授業の前に教科書にある知らない単語を必ず調べておくこと。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合%	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	40	前期末試験を行う。				
小テスト	30	ABAX Onlineの課題提出				
レポート	30	授業中の課題提出				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/8	Introduction to the Course: Self-introductions / How does this class work?	Matthew Keighley		一般教室
第2回 4/15	Communication Spotlight Unit 0: Classroom Language & an introduction to 発音記号	Matthew Keighley		一般教室
第3回 4/22	Review Lesson: Better Self-Introductions & Classroom Language Expanded	Matthew Keighley		一般教室
第4回 5/6	Communication Spotlight Unit 1: Requests & asking for help / Connected Speech	Matthew Keighley		一般教室
第5回 5/13	Communication Spotlight Unit 1 Review & Expansion: Requests & asking for help in the workplace	Matthew Keighley		一般教室
第6回 5/18	Communication Spotlight Unit 2: Likes & Dislikes / English Spelling Awareness	Matthew Keighley		一般教室
第7回 5/27	Communication Spotlight Unit 2 Review & Expansion: Expressing Preferences at Work	Matthew Keighley		一般教室
第8回 6/3	Communication Spotlight Unit 3: Describing present <i>situations</i> / Weak Vowels	Matthew Keighley		一般教室
第9回 6/10	Communication Spotlight Unit 3 Review & Expansion: Describing present <i>states</i>	Matthew Keighley		一般教室
第10回 6/17	Communication Spotlight Unit 4: Dates & Numbers / Sentence Stress	Matthew Keighley		一般教室
第11回 6/24	Communication Spotlight Unit 4 Review & Expansion: Schedules in the Workplace	Matthew Keighley		一般教室
第12回 7/1	Communication Spotlight Unit 5: Asking about meaning / Weak Vowels Review	Matthew Keighley		一般教室
第13回 7/8	Communication Spotlight Unit 5 Review & Expansion: Checking your Understanding	Matthew Keighley		一般教室
第14回 7/15	Review & Consolidation	Matthew Keighley		一般教室
第15回 7/22	Mock Exam 模擬試験	Matthew Keighley		一般教室
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	コミュニケーション論	2	30	講義/演習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行/山口美和	作業療法概論、ボランティア活動論、臨床実習 I				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 前期	「PT・OTのためのこれで安心コミュニケーション実践ガイド」著者でコミュニケーションを重視した臨床場面で実践されている山口先生に講義と演習を教示いただきます。 専任教員では臨床経験を活かし、臨床現場での内容を含め教示します					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	コミュニケーションの基本を演習から学ぶとともに、自分が日常的に行っているコミュニケーションパターンに気付くことを通して自身の課題を明確にし、自己成長への取り組みを始めることができる。コミュニケーションスキルを向上させることができる。					
行動目標 (SBO)	①コミュニケーションとは何か説明できる。 ②みる、きく、伝える力を向上させることができる。 ③社会人、医療人の適切なマナーとしてのコミュニケーションとは何かを説明できる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
理学療法士・作業療法士は対象者やご家族とのコミュニケーションが不可欠である。また多職種との連携していくためにも、コミュニケーション能力が必要となる。人間関係を円滑にするためにも、コミュニケーションスキルを向上させる必要がある。 自己開示、共感する「自己紹介」から始まり、前半は山口先生よりコミュニケーションに必要な知識と技術を講義と演習を経験し学び、後半はその知識を活かしながら、社会人、医療人として様々な場面でのコミュニケーションを体験する。第4～9回の授業は理学療法学科、作業療法学科の学生を半数ずつ混合 2 クラスとし実施する。						
教科書・参考書						
教科書：山口美和著 PT・OTのためのこれで安心コミュニケーション実践ガイド第2版，医学書院						
受講時留意点、その他						
ワーク中心の授業となる。積極的に参加する姿勢が望まれる。挨拶、言葉遣い、礼儀、態度だけでなく医療人としてふさわしい身だしなみについても学んでほしい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	90	授業中に行うワークシートの提出および内容にて評価する。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	10	各単元にて行う演習場面にて、授業内容に沿った演習ができているか確認を行う。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月4日	オリエンテーション, 自己紹介① 自己紹介をする。自己紹介の理解。 【キーワード】傾聴、雰囲気づくり	岡本	配布資料	講堂
第2回 4月12日	自己紹介② 自己紹介をする。自己紹介の効果。少人数のグループで自己紹介をする。 【キーワード】共感、同意	岡本	配布資料	講堂
第3回 4月19日	自己紹介③ 自己紹介をする。自己紹介の効果。大人数に対して自己紹介をする。 【キーワード】先入観、効果	岡本	配布資料	講堂
第4回 5/19	自分を理解する① 自分自身について知る 【キーワード】メタ認知・自己概念・自己肯定感・T図ラ	山口	p 13~33	講堂
第5回 5/19	自分を理解する② 他 者から見た自分について知る 【キーワード】逆T図ラ・自己開示・フィードバック	山口	配布資料	107・8
第6回 5/26	人間関係と対人コミュニケーション 人間関係に必要な要素と態度について知る 【キーワード】対人コミュニケーション・ストローク（存在認知）・人生態度	山口	配布資料 p 34~40	107・8
第7回 5/26	コミュニケーション力を育もう① コ コミュニケーションの種類・みることについて学ぶ 【キーワード】言語/準言語/非言語コミュニケーション・みる（見る/観る/診る/看る/視る）	山口	p 41~49	講堂
第8回 6/2	コミュニケーション力を育もう② きくことについて学ぶ 【キーワード】聞く・聴く・リフレーミング	山口	p 50~59	107・8
第9回 6/2	コミュニケーション力を育もう③ 伝えることについて学ぶ 【キーワード】伝える・ほうれんそう・アイメッセージ・つうでんはいアプローチ	山口	p 60~68	107・8
第10回 6月8日	コミュニケーション実践（1） 社会人マナーとしてのコミュニケーションについて学ぶ。 【キーワード】挨拶、お辞儀、相手の領域に入る時の姿勢	岡本	p 104~ 115	講堂
第11回 6月14日	コミュニケーション実践（2） 臨床で役立つコミュニケーションスキルについて学ぶ。 （医療面接での対話の仕方）【キーワード】医療面接	岡本	p 134~ 147	講堂
第12回 6月15日	コミュニケーション実践（3） 臨床で役立つコミュニケーションスキルについて学ぶ。 （相手との関係を築く・質問の仕方）【キーワード】関係を築く・質問の仕方	岡本	p 147~ 155	講堂
第13回 6月28日	コミュニケーション実践（4） 臨床で役立つコミュニケーションスキルについて学ぶ。 （相手を会話にのせる・話題提供）【キーワード】会話をのせる・提供	岡本	p 156~ 165	講堂
第14回 7月4日	コミュニケーション実践（5） 臨床で役立つコミュニケーションスキルについて学ぶ。 （話を引き出す・切り上げる）【キーワード】話を引き出す・切り上げる	岡本	p 165~ 174	講堂
第15回 7月11日	コミュニケーション実践（6） 臨床で役立つコミュニケーションスキルについて学ぶ。 （答えにくい質問に応じる・否定的な話の対応）【キーワード】答えにくい・否定的	岡本	p 174~ 183	講堂
定期試験	定期試験は実施しない。			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	ボランティア活動論	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	大沼賢洋、赤岩龍土、中村毎途	地域理学療法学、スポーツ科学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 前期	この授業は理学療法士・作業療法士が担当します。医療施設での理学療法・作業療法の実務経験やボランティア活動の経験も併せ、自身にできることを考え、行動できるように授業していきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	ボランティアの定義を理解し、理学療法士・作業療法士として参加できる活動について知る。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1 ボランティアの定義、理念について知る。 2 理学療法士・作業療法士が行えるボランティア活動について知る。 3 ボランティアの心得と注意点を知る。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>ボランティア (volunteer) は、ラテン語の自由意思 (voluntass) が語源で、個人の自由意思に基づき、経済的報酬を求めず、その技能や時間などを提供して、社会貢献する活動と言う意味で使われています。理学療法士は、広く社会貢献を求められる国家資格であり、その専門性が有効に活用できる専門職と言えます。</p> <p>地域の健康づくり、介護予防、災害時の避難所、障がい者スポーツなど活動の場は多岐にわたります。学外における様々なボランティア活動の経験も併せ、自信にできることを考え、行動できるような豊かな人間性を備えましょう。</p>						
教科書・参考書						
<p>【教科書】「障がい者スポーツ指導教本」2500円 【参考書】講義にて随時紹介</p>						
受講時留意点、その他						
ディスカッションでは、活発な意見交換や経験の報告を行います。積極的に参加すること。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	80	ボランティアに関わる企画書 (A3 1枚程度) 第8回で提出。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	20	授業参加状況				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 PT4/11 OT4/13	ボランティアの定義 ボランティアという活動を知る。 【キーワード】 ボランティア・役割・活動の場	大沼	配布資料	PT 201 OT 109
第2回 PT4/15 OT4/14	障がい者スポーツにおけるボランティア指導者の役割 障がい者スポーツにおける指導者の役割について学ぶ。 【キーワード】障がい者スポーツ指導員・スポーツ指導	大沼	配布資料	PT 201 OT 109
第3回 4/20	理学療法士・作業療法士とボランティア① イベントボランティアの中で理学療法士ができることについて学ぶ。 【キーワード】障がい者スポーツ・各スポーツ大会・サポートと運営	赤岩	配布資料	PT 201 OT 109
第4回 4/27	理学療法士・作業療法士とボランティア② 災害ボランティアの中で理学療法士ができることについて学ぶ。 【キーワード】自然災害・避難所・安全	赤岩	配布資料	PT 201 OT 109
第5回 5/11	理学療法士・作業療法士とボランティア③ 日常的なボランティアの中で作業療法士ができることについて学ぶ。 【キーワード】地域保健・介護予防・障がい者施設	中村	配布資料	PT 201 OT 109
第6回 5/18	日常的なボランティアとイベントボランティア ボランティアの種類について、他者への関わり方について経験する 【キーワード】日常ボランティア、イベントボランティア、レクリエーション	中村	配布資料	PT 201 OT 109
第7回 5/25	障がい者スポーツとボランティア 自分たちができる障がい者スポーツとボランティアを考えよう。 【キーワード】障がい者スポーツ、ボランティア	大沼	配布資料	PT 201 OT 109
第8回 6/1	まとめ	大沼	配布資料	PT 201 OT 109
定期試験	実施しない			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	解剖学 I	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	安藤 亨 (非常勤)	解剖学 II、生理学 I、生理学 II、人体構造学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	人体の構造を理解する。					
行動目標 (SBO)	①神経系・感覚器系の構造を学ぶ。 ②呼吸器系・循環器系・消化器系の構造を学ぶ。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>解剖学は、医療職を志す者にとって基礎中の基礎といえる学問である。人の動きに直接関与する筋骨格系はもとより、動きを指令する神経系や動きを感知する感覚器系を十分熟知すること、動作を遂行するためのエネルギーの視点から呼吸器系・循環器系・消化器系などについても理解を深めることが求められる。</p> <p>解剖学 I では、このうち、神経系・感覚器系・呼吸器系・循環器系・消化器系について学ぶ。</p>						
教科書・参考書						
【教科書】標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版 (医学書院)						
受講時留意点、その他						
毎週、月曜日3限に開講						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/4	解剖学総論 定義・目的、人体の概要、解剖学用語、人体の構成	安藤		講堂
第2回 4/11	感覚器系 外皮、視覚器、平衡感覚器、嗅覚器、味覚器	安藤		講堂
第3回 4/18	神経系総論、末梢神経系① 神経系総論、脳神経	安藤		講堂
第4回 4/25	末梢神経系② 脳神経、自律神経	安藤		講堂
第5回 5/2	中枢神経系① 大脳	安藤		講堂
第6回 5/9	中枢神経系② 伝導路	安藤		講堂
第7回 5/16	中枢神経系③ 小脳、脳幹、脊髄	安藤		講堂
第8回 5/23	循環器系① 血管系：心臓、循環の分類	安藤		講堂
第9回 5/30	循環器系② 血管系：動脈系、静脈系、胎生期の循環系	安藤		講堂
第10回 6/6	循環器系③、他 リンパ系、理学・作業療法との関連、人体の発生	安藤		講堂
第11回 6/13	内臓学① 内臓器官の構造、消化器系	安藤		講堂
第12回 6/20	内臓学② 消化器系	安藤		講堂
第13回 6/27	内臓学③ 呼吸器系、内分泌系	安藤		講堂
第14回 7/4	内臓学④ 泌尿器系、生殖器系	安藤		講堂
第15回 7/11	感覚器系・循環器系・内臓学 第1回～第14回のまとめ	安藤		講堂
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	解剖学実習 I	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	松尾祐介 宮下正好	解剖学 I 解剖学 II 解剖学実習 II 運動学 I				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	上肢、体幹の骨格系・筋の構造と機能を立体的に把握する 心臓・呼吸器の構造を機能を立体的に把握する					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上肢骨の部位を模型で指し示し、部位名称を述べるができる。 2. 上肢筋・体幹筋の起始・停止・作用・支配神経を述べるができる。 3. 心臓・呼吸器系の基本的な構造を理解し、部位名称を述べるができる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この授業では、上肢・体幹の主要な骨・筋、および心臓、呼吸器系について学びます。作業療法士が対象者の能力を高めたり、動作の指導をするために必要な基本的な知識です。よく理解し、各疾患の知識や専門分野の学習に繋げていきましょう。基礎医学実習室は、放課後等に自習のため使用することができます。各回の復習をしましょう。質問があれば担当教員に確認しましょう。模型にたくさん触れ学ぶことを推奨します。</p>						
教科書・参考書						
教科書 : 野村 巖 他 : 標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第5版. 医学書院. 2020 坂井 健雄 他: プロメテウス解剖学アトラス コンパクト版 第2版 医学書院 2019						
受講時留意点、その他						
<p>受講時の服装は長白衣着用とします。アクセサリ類は全て外してください。頭髪、爪は短く清潔にしてください。女性は髪を束ねてください。その際、顔にかかりそうな横髪、目にかかる前髪はピン等でとめてください。骨模型は、ご遺体をモデルに作成されたものです。丁寧に扱きましょう。不敬な態度をとってはいけません。</p> <p>全員で授業を行う回とクラスを2つに分け授業を行う回があります。注意して受講してください。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末の定期試験期間中に筆記試験を実施します。筆記試験は範囲ごと2回実施します。 ① (範囲: 第1回~10回 評定割合65%) ② (範囲: 11回~16回 評定割合35%)				
小テスト		2回小テストを実施します。形成的評価とし評定には含めません。 6月17日(金) (範囲: 第1回~10回) 7月20日(水) (範囲: 第11回~16回)				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		前期末試験の結果は2回実施分を合算した点数を結果とします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月5日	コースオリエンテーション、骨の分類・骨の名称 骨模型の扱い方を知る。骨の概要について理解する 【キーワード】分類・形態分類・骨名	松尾	標準解剖学 p37-39	基礎医学 実習室 骨模型
第2回 4月15日	上肢の骨：肩甲骨・鎖骨・上腕骨 肩甲骨・上腕骨の主な部位名称を覚える。 【キーワード】肩甲棘・肩峰・烏口突起・上腕骨頭・大結節 他	松尾	標準解剖学 p68-72 プロメテウス p342-351	基礎医学 実習室 骨模型
第3回 4月22日	上肢の骨：前腕の骨・手の骨 橈骨・尺骨の主な部位名称を覚える。手の骨の名称を覚える。 【キーワード】橈骨頭・肘頭・茎状突起・指骨・手根骨 他	松尾	標準解剖学 p72-77 プロメテウス p398-431	基礎医学 実習室 骨模型
第4回 4月26日	上肢帯・上肢骨の関節 上肢帯・上肢骨の関節名称を覚える。各関節の運動方向を理解する 【キーワード】肩鎖関節・胸鎖関節・肩関節・肘関節・手関節 他	松尾	標準解剖学 p97-137	基礎医学 実習室 骨模型
第5回 5月6日	筋学総論：骨格筋の起始・停止・作用・名称 骨格筋の形状・走行・作用を学ぶ。 【キーワード】起始・停止・作用	松尾	標準解剖学 p167-173	基礎医学 実習室 骨模型
第6回 5月10日	上肢の筋：上肢帯の筋 肩関節周囲の筋の起始・停止・作用・支配神経を覚える。 【キーワード】三角筋、棘上筋、棘下筋、大円筋、小円筋、肩甲下筋	松尾	解剖学 p197-199 プロメテウス p360-391	基礎医学 実習室
第7回 5月20日	上肢の筋：上腕の筋 上腕の屈筋・伸筋の起始・停止・作用・支配神経を覚える。 【キーワード】上腕二頭筋・上腕筋・烏口腕筋・上腕三頭筋	松尾	解剖学 p198-200 プロメテウス p394-397	基礎医学 実習室 骨・筋模型
第8回 5月27日	前腕の筋：前腕の屈筋 前腕腹側の筋の起始・停止・作用・支配神経を覚える。 【キーワード】長掌筋・橈側手根屈筋・尺側手根屈筋 他	松尾	解剖学 p199-203 プロメテウス p404-427	基礎医学 実習室 骨・筋模型
第9回 6月3日	前腕の筋：前腕の伸筋 前腕背側の筋の起始・停止・作用・支配神経を覚える。 【キーワード】腕橈骨筋・長短橈側手根伸筋・総指伸筋 他	松尾	解剖学 p203-207 プロメテウス p404-427	基礎医学 実習室 骨・筋模型
第10回 6月10日	手の筋 手の筋の起始・停止・作用・支配神経について学ぶ 【キーワード】虫様筋・骨間筋・母指内転筋・母指対立筋、短母指屈筋 他	松尾	解剖学 p208-210 プロメテウス p432-453	基礎医学 実習室 骨・筋模型
第11回 6月16日	脊柱①：脊柱の全景、椎骨の基本的形態 脊柱を観察し、全体的な特徴を学ぶ。標準的な椎骨を観察し、 部位名称を覚える。【KW】彎曲・胸椎・第3～6 頸椎	宮下	標準解剖学 p58,59 プロメテウスp2- 5,8,16-19	基礎医学 実習室 骨格模型
第12回 6月24日	脊柱②：各椎骨の形態的特徴 頸椎、胸椎、腰椎を観察し、違いや特徴を学ぶ。特徴的な部位の 名称を覚える。【KW】環椎・軸椎・隆椎・胸椎・腰椎	宮下	標準解剖学 p59-63 プロメテウス p10-15,18-21	基礎医学 実習室 骨格模型
第13回 7月1日	脊柱③：仙骨 / 胸部と背部の筋①：肩関節に作用する筋 仙骨を観察し、部位名称を覚える。胸部・背部の筋のうち、 肩関節に作用する筋を覚える。【KW】仙骨・大胸筋・広背筋	宮下	標準解剖学 63,64,185,191 プロメテウスp22- 24,386,393	基礎医学 実習室 骨格模型
第14回 7月8日	胸部と背部の筋②：肩甲骨を動かす筋 肩甲骨の運動の種類と、肩甲骨を動かす筋を覚える。 【KW】前鋸筋・小胸筋・僧帽筋・菱形筋・肩甲挙筋	宮下	標準解剖学 p185,191 プロメテウス pp376,380- 385	基礎医学 実習室 骨格模型
第15回 7月12日	胸部①：胸郭と肺 胸郭を構成する骨を覚える。気管・気管支・肺の部位名称を覚える。 【KW】胸骨・肋骨・胸椎・気管・気管支・肺	宮下	標準解剖学 p65-67,366- 369 プロメテウス p176-189	基礎医学 実習室 骨格模型
第16回 7月15日	胸部②：心臓と血管 心臓模型を観察し、部位名称と血管名を覚える。 【KW】大動脈・大静脈・冠状血管・心室・心房・弁	宮下	標準解剖学 p337-341 プロメテウス p142-161	基礎医学 実習室 心臓模型
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	生理学 I	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	遠藤 雄三 (非常勤)	解剖学 I、解剖学 II、病理学 等				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	人体の健全状態における構造と機能について基本的な事実と法則を学ぶ。					
行動目標 (SBO)	植物機能系の理解・運動機能系の理解					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>成人のヒトは約45兆個の細胞の有機的な営みからなる。まず細胞のことを理解する必要があり、現代医学の基盤である細胞生物学について詳細に説明する。細胞の二つの特質である増殖と分化が細胞生物学の根幹である。多細胞系としての組織と循環系の第一の特徴は細胞相互の関係ならびに内部環境の恒常性(液性ホメオスタシスの概念)である。第二の特徴は生体防御能の細胞性ホメオスタシス(免疫系)である。これらの恒常性は、植物機能系により巧妙に調節されている。特に「負のフィードバック」による調節は内分泌系と自律神経系により維持されている。植物機能系を基盤にして動物機能系が人間としての営みをつかさどっている。さらにそのヒトのからだ(ボディ)はこころ(マインド)によって人間としての品格を維持している。からだは自動車の部品のように精巧にできている。しかしそれを動かし調節するものは健全なる精神あるいは意思である。生理学 I では、このうち主に動物機能系について学ぶ。</p>						
教科書・参考書						
<p>【教科書】系統看護学講座 専門基礎分野 1 解剖生理学 人体の構造と機能 [1] (医学書院) 目で見えるからだのメカニズム 新訂版, (医学書院) 【そのほか】配布資料有り。</p>						
受講時留意点、その他						
<p>前期、毎週月曜日の1, 2限に開講する。授業時間内の退出は原則的に禁止。 教科書を中心に講義を行う。各主題について資料(コピー)を配布することがある。 復習は必須。授業に積極的に参加してください。質問歓迎。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5/16	細胞生物学の基礎 (1) 細胞とは。エネルギー代謝。細胞の増殖と分化。	遠藤		講堂
第2回 5/16	細胞生物学の基礎 (2) 細胞相互間の関係。細胞と間質。内部環境。	遠藤		講堂
第3回 5/23	神経系 (1) 神経細胞のはたらき ニューロン。静止電位と活動電位。伝導。	遠藤		講堂
第4回 5/23	神経系 (2) 神経細胞のはたらき シナプス伝達。興奮性シナプス。抑制性シナプス。	遠藤		講堂
第5回 5/30	神経系 (3) 中枢神経 脊髄。脊髄反射。脳幹。小脳。	遠藤		講堂
第6回 5/30	神経系 (4) 中枢神経 間脳。大脳。脳の高次機能。	遠藤		講堂
第7回 6/6	神経系 (5) 末梢神経 脊髄神経。脳神経。自律神経。	遠藤		講堂
第8回 6/6	神経系 (6) 末梢神経 交感神経。副交感神経。	遠藤		講堂
第9回 6/13	筋骨格系 (1) 骨格 骨の機能と組成。骨の発生と成長。骨の生理的な機能。	遠藤		講堂
第10回 6/13	筋骨格系 (2) 筋 筋の種類と構造。骨格筋細胞の興奮から収縮。筋収縮のメカニズム。	遠藤		講堂
第11回 6/20	筋骨格系 (3) 筋 平滑筋の収縮。心筋の収縮。	遠藤		講堂
第12回 6/20	筋骨格系 (4) 運動の調節 錐体路と錐体外路。大脳基底核による調節。小脳による調節。	遠藤		講堂
第13回 6/27	感覚 (1) 総論、体性感覚 感覚の種類、性質。体性感覚の受容器。上行性伝導路。	遠藤		講堂
第14回 6/27	感覚 (2) 特殊感覚 視覚。視覚伝導路。平衡聴覚器。聴覚伝導路。	遠藤		講堂
第15回 7/4	感覚 (3) 特殊感覚 味覚器。嗅覚器。	遠藤		講堂
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	リハビリテーション概論	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	内田成男・菊池和也	すべての専門科目				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期	担当教員：理学療法士 総合病院等に長期間勤務し、リハビリテーション医療を実践してきました。リハビリテーションの概念とそのプロセスについて、専門的立場から授業を展開していきます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	現代の医療・福祉・その他の関連領域におけるリハビリテーションを理解する					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療関連職種の基本を身につける 2. リハビリテーションの語源・歴史・定義を理解する 3. 障害分類を理解する 4. リハビリテーションの領域、進め方を理解する 5. 障害受容の心理過程を理解する 6. 関連法規・倫理を知る 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業はリハビリテーションの基礎となる概念、考え方、障害などを学習する科目です。重要な科目ですので集中して授業に参加してください。また、講義に加えてグループワーク、演習、討論、プレゼンテーションなども実施することがあります。積極的に意見を述べる、人の意見を聞くことは理学療法士、作業療法士など医療職には不可欠ですのでグループワーク等では積極的な参加をしてください。画学科が交流して学べる時間を設定します。						
教科書・参考書						
教科書：①医学生・コメディカルのための手引書 リハビリテーション概論 改訂第4版 (永井書店) ②国際生活機能分類 - 国際障害分類改訂版- (中央法規)						
受講時留意点、その他						
この授業は医療の現場で勤務していることを想定して行いますので医療人としての身嗜み等にも注意して受講してください。教務部オリエンテーションで配布した受講の手引きp3~4の医療人としての身嗜みを遵守してください。教科書、配布資料は必ず読んでください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期期末試験を実施する。				
小テスト		授業の進捗状況により、重要事項の確認テストを実施する。(成績評価には含めない)				
レポート		課題レポートの提出を検討している。(成績評価には含めない)				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		医療人としての節度ある態度で授業に臨んでください。				
(合計)						

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月6日	コースオリエンテーション・医療専門職種の基本 KW：ルールとマナー、接遇、感染対策	内田 菊池先生		配布資料 201
第2回 4月13日	医学概論：医学の歴史 KW：古代、中世、現代	菊池先生		配布資料 203
第3回 4月20日	リハビリテーションの歴史と理念 KW：全人間的復権、自立生活運動、ノーマライゼーション	菊池先生	①p1～17	203
第4回 4月27日	健康と障害の概念1：障害の表記 KW：障害、障碍、障がい	菊池先生		配布資料 203
第5回 5月11日	健康と障害の概念2：国際疾病分類と国際障害分類（ICIDH） KW：機能障害、能力低下、社会的不利	内田	①p19～ 23	203
第6回 5月18日	健康と障害の概念3：国際生活機能分類（ICF）の基本 KW：ICFの背景、健康領域・健康関連領域、構成要素	内田	①p23～ 26、②3～ 10	203
第7回 5月25日	健康と障害の概念4：国際生活機能分類の構造 KW：構成要素の定義、相互作用	内田	①p23～ 26、②11 ～23	203
第8回 6月1日	健康と障害の概念5：国際生活機能分類の評価方法 KW：評価分類、評価点	内田	② p 27～ 200	203
第9回 6月8日	健康と障害の概念6：国際生活機能分類の応用 KW：コード化、事例応用	内田	②p203～ 243	203
第10回 6月15日	障害心理と障害受容：障害受容の心理的過程 KW：精神心的問題、障害、心理的適応過程	内田	①p35～ 50	203
第11回 6月22日	リハビリテーションの過程 KW：評価、ゴール設定、プログラム	内田	①p67～ 78	201
第12回 6月29日	リハビリテーションの諸段階、領域 KW：医学的、社会的、教育的、職業的、地域リハビリテーション	内田	①p79～ 96	201
第13回 7月6日	医療とリハビリテーション専門職 KW：インフォームド・コンセント、インシデント、個人情報、専門職	内田	①p97～ 113	201
第14回 7月13日	チームアプローチ KW：チーム医療、評価会議、ゴール設定、診療記録	内田	①p115～ 127	201
第15回 7月20日	関連法規 KW：理学療法士・作業療法士法、医療法、医療保険、診療報酬、介護保険、倫理規定	内田	①p189～ 225	配布資料 201
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	チーム医療論	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	長田美紀、中村毎途	コミュニケーション論、リハビリテーション概論				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 前期	この授業は理学療法士／作業療法士を始め、外部講師による講義を予定しています。医療施設での各職種の実務経験を基に、チーム医療の必要性、各職種の専門性を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	医療現場の様々な職種の役割を理解し、チーム医療を学ぶ。					
行動目標 (SBO)	1. チーム医療の必要性、現状を学ぶ。 2. チーム医療に関わる職種の専門性、役割、業務を理解する。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
医療現場は、立場も専門も異なる多くの人が働く場所です。家族・患者さんにとって最適の医療を効率的に提供するためには、職種間協働に基づく、「チーム医療」が必要とされています。この科目では「チーム医療」の現状から、理学療法士と関わる、様々な職種の専門性、役割、業務を学びます。チームの一員として、理学療法士が行う役割、業務についても理解を深めてください。						
教科書・参考書						
参考書 : ①水本 清久 他 : 実践チーム医療論 実践と教育プログラム, 医歯薬出版, 2011 ②内山靖,藤井浩美,立石雅子 編 コミュニケーション論・多職種連携論 医歯薬出版 2021						
受講時留意点、その他						
チーム医療には適切な意思疎通・コミュニケーションが不可欠です。 授業中は人の話を聞くときに適した姿勢や態度をとるようにしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	各授業に沿ったテーマで課題を課し、提出物の内容を評価する。 提出期限はその都度提示する。提出が遅れた場合、受け付けない。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	授業への積極的な参加（発言、反応など）を行動観察で評価する。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5月30日	チーム医療とは 【KW】リハビリテーション医学・チーム医療	中村	配布資料	203
第2回 6月6日	医療における職種の理解と他職種連携 - 医師 - 【KW】職種理解、治療計画、カンファレンス	外部講師	配布資料	講堂
第3回 6月13日	医療における職種の理解と他職種連携 - 看護師 - 【KW】ADL援助、精神的サポート、リハ職種との連携	外部講師	配布資料	講堂
第4回 6月20日	医療における職種の理解と他職種連携 - 言語聴覚士 - 【KW】言語・嚥下訓練、リハ職種との連携	外部講師	配布資料	講堂
第5回 6月27日	医療における職種の理解と他職種連携 - MSW - 【KW】退院援助、社会復帰援助、リハ職種との連携	外部講師	配布資料	講堂
第6回 7月4日	医療における職種の理解と他職種連携 - 薬剤師 - 【KW】薬物療法・薬剤指導、連携	外部講師	配布資料	講堂
第7回 7月11日	医療における職種の理解と他職種連携 - 理学療法士 / 作業療法士 - 【KW】運動療法、ADL、QOL	長田	配布資料	203
第8回 7月22日	まとめ 【KW】各専門職の役割、チーム医療	中村	配布資料	203
定期試験	実施しない			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	社会福祉概論	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途	リハビリテーション概論・チーム医療論・関連法規				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。 医療・介護・福祉の現場での経験を基に、リハビリテーションと社会福祉の関りについて講義します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	国民の生活支援や人権に関わる社会保障制度や社会福祉を理解する					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会保障制度の背景を説明できる。 2. 社会保障制度の種類と仕組みを説明できる。 3. 障害の捉え方・障害者の人権について説明できる。 4. 子どもと高齢者に関わる福祉について説明できる。 5. リハ専門職種として関わる制度について説明できる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>超高齢社会となり、社会保障制度の在り方が問われている現代において、その背景や種類と仕組み、障害者の人権問題など理解する必要があります。障害のある人がその人らしく生活が送れるよう支援するためには、社会自体が受け入れる環境をつくることも大切であり、そのひとつが社会保障や社会福祉であります。社会福祉の制度は当事者が必要性を訴えることで作られており、どんな社会を目指すことが大切なのか、対象者を支援する我々専門職が一緒になって考えていくことが必要であります。</p> <p>授業は各回ごとに授業目標を提示し、その内容について講義します。授業の中ではポイントを提示しますので、振り返り学習は授業目標とポイントに沿って行って下さい。</p>						
教科書・参考書						
<p>教科書：指定教科書なし</p> <p>参考書：系統看護学講座 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度③ 医学書院 コメディカルのための社会福祉概論 第4版 講談社</p> <p>その他：配布資料あり</p>						
受講時留意点、その他						
授業の中では厚生労働省等から公開されている資料も使用します。配布資料に出典先のURL等を合わせて提示しますので参考にして下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を実施する。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月7日	コースオリエンテーション・社会保障とは 社会保障の定義・日本国憲法との関連、リハビリテーションと社会保障 【KW】社会保障・憲法・リハビリテーション	中村	配布資料	203
第2回 4月14日	ライフサイクルと社会保障制度 ライフサイクルを通して、障害者自身・家族が困ることを想像する 【KW】社会生活におけるニーズ・障害者や家族のニーズ	中村	配布資料	203
第3回 4月21日	社会保障制度に影響を与える要因 4つの要因から社会保障制度との関連性を学ぶ 【KW】少子高齢化・世帯数・経済成長・多様化	中村	配布資料	203
第4回 4月28日	障害と人権 障害観、障害者の人権について 【KW】障害観・障害者の権利擁護・障害者権利条約	中村	配布資料	203
第5回 5月12日	障害者権利条約を批准するまでの過程と法の整備 日本が障害者権利条約に批准するまでの過程を学ぶ 【KW】障害者権利条約・障害者基本法・障害者差別解消法	中村	配布資料	203
第6回 6月9日	高齢者と福祉 高齢者を取り巻く状況を理解する 【KW】介護保険制度・超高齢社会・高齢者	中村	配布資料	203
第7回 6月16日	子どもと福祉 子どもに関わる法制度と社会制度用を理解する 【KW】少子化対策・児童福祉・子育て支援	中村	配布資料	203
第8回 6月30日	リハ専門職が関わる制度 PT・OTを提供することでの報酬を規定する制度について理解する 【KW】医療保険・障害者総合支援法	中村	配布資料	203
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	作業療法概論	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行	作業療法専門科目すべて				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次前期	この授業科目は作業療法士が担当します。作業療法の歴史や理論、定義など、「作業療法とは何か」を学びます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	作業療法について他者に説明ができる					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業療法における作業の意味を説明できる。 2. 作業療法の定義と歴史を説明できる。 3. 医療ならびに社会全体における作業療法の位置づけを説明できる。 4. 作業療法理論とクリニカルリーズニングを列挙できる。 5. 各領域の作業療法について理解する。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>作業療法とはどういうものかを、さまざまな視点から学び、理解します。</p> <p>作業療法の定義・作業の力・社会における作業療法の位置づけについて学びます。また、対象者の疾患や年齢（領域）やそれぞれの状況によって、治療として実施する作業療法は異なります。各々の作業療法について、特徴的な内容を理解しましょう。また、臨床現場で起こり得るリスク管理について学び、日々の生活の中でも意識できるようにしていきましょう。</p>						
教科書・参考書						
二木淑子・能登真一／編 標準作業療法学 作業療法学概論 第3版 医学書院						
受講時留意点、その他						
<p>毎回授業開始時に授業目標および行動目標を提示します。終了時にそれらの目標を到達する必要があります。目標を意識し、受講することが大切です。また、指定した教科書の内容を事前に読んでおいてください。教科書を読むことは、日本語の表現力を養うことにもなりますので、音読をすることを勧めます。また、教科書をすべて鵜呑みにするのではなく、批判的に読む癖をつけてください。こういうことはどう考えればよいのか疑問を持ちながら、読んでみてください。作業療法は歴史的にも変化し続けており、皆さんがさらに発展させていく可能性を秘めている領域です。どうあるべきかを一緒に考えていきましょう！</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	第1～15回が範囲となります。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月5日	作業とは 作業の分類・文化的文脈としての意味・作業療法にとっての意味を理解する。【KW】文化と作業・作業的存在・ADL・IADL・well-being	岡本	p.3-11	203
第2回 4月12日	作業療法の定義と歴史 作業療法の定義と業務内容、作業療法の歴史を理解する。【KW】PT及びOT法・OT協会とWFOTの定義・道徳療法・歴史	岡本	p.11-34 p.80-81	203
第3回 4月19日	作業療法の位置づけと領域 作業療法の位置づけと作業療法の対象と領域、実践の流れ、実施場所を理解する。【KW】専門性・ICF・対象・領域・時期・場所	岡本	p.34-46 p.152-155	203
第4回 4月26日	作業療法理論 作業療法の基礎理論と実践理論を理解する。【KW】ICFモデル・生態学的モデル・人間作業モデル・作業適応モデル	岡本	p.47-62	203
第5回 5月10日	作業療法士に求められる資質・適性 職業倫理と養成校卒業までに身につける知識・技術・態度について理解する。【KW】職業倫理・リスボン宣言・報連相・クリニカルリーズニング	岡本	p.91-99 p.148-151	203
第6回 5月17日	医療倫理 医療倫理としての気づきの感性・問題提示・問題解決について理解する。【KW】医療倫理・倫理の過程	岡本	資料	203
第7回 5月24日	多職種連携によるチームアプローチについて 専門職チームの中で多職種で連携するために必要なことを理解する。【KW】専門性・職種・連携・マネジメント	岡本	p.100-111	203
第8回 5月31日	EBMと作業療法 EBMの手順と研究の質、研究過程について理解する。【KW】EBM・批判的吟味・作業療法研究	岡本	p.112-123	203
第9回 6月7日	作業療法の過程 医療技術である作業療法の実践過程を理解する。【KW】作業療法評価・解釈と検討・対応課題・目標・治療計画・実施・再評価	岡本	p.129-134	203
第10回 6月14日	作業療法評価と問題点・利点の抽出 評価方法（面接・観察・検査）を用いて、評価し、問題点・利点の抽出をし、統合と解釈を理解する【KW】問題点と利点・統合と解釈	岡本	p.135-142	203
第11回 6月21日	作業療法目標と治療 リハビリテーションゴールの決定・作業療法ゴールの設定・治療内容の方法と手段の決定を理解する。【KW】リハゴール・治療法・再評価	岡本	p.143-147	203
第12回 6月28日	身体障害領域の作業療法 教科書の事例を通して身体障害領域の作業療法を理解する。【KW】対象者理解・目標・治療方法	岡本	p.166-171	203
第13回 7月5日	精神障害領域の作業療法 精神障害領域の作業療法の歴史や治療理論等を理解する。【KW】対象者理解・自己利用	岡本	資料	203
第14回 7月12日	発達障害領域の作業療法 発達障害領域の作業療法のDVDをみて、発達障害領域の作業療法を理解する。【KW】対象者理解・子どもの作業	岡本	資料	203
第15回 7月19日	リスク管理 医療におけるリスク管理を理解し、遵守する。【KW】ハインリッヒの法則・医療安全・個人情報管理・モラル	岡本	資料	203
定期試験	第1～15回が範囲となります。			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	作業療法評価学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	作業療法概論、基礎作業学、作業療法評価学演習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
1年次 前期	この科目は、作業療法士が担当します。実務経験をもとに、対象者の評価の方法について、その入門的内容を演習を交えて講義します。□					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	作業療法評価の基礎事項と考え方を理解する。					
行動目標 (SBO)	1.作業療法における評価の目的と位置付けを理解する。 2.評価の基礎である面接・観察の基礎を理解する。 3.代表的な作業療法評価の名称が挙げられる 4.他部門との情報交換とは何か言える。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>作業療法を実施するにあたり、対象者を理解し、把握する方法を評価と言います。対象者に触れること、観察すること（見る）、面接すること（話を聞く）がその基本です。この授業では、評価とは何か、作業療法ではどのような評価を用いるかについて、基礎事項を学びます。また作業療法評価については、2年次以降、さらに専門的に学習します。この授業はその入り口となりますので、基礎的な知識を習得しておきましょう。</p>						
教科書・参考書						
教科書： 標準作業療法学 作業療法評価学 第3版（医学書院） 標準作業療法学 作業療法概論 第3版（医学書院）						
受講時留意点、その他						
<p>欠席した場合はほかの受講生に内容を確認し、不明な点は次回までに担当教員に質問してください。 授業内で課題が出されていた場合は、扱いについて、担当教員まで速やかに相談に来てください。 この科目は全8回です。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	80	前期末試験を行い、成績評価を行います。60点を合格点とし、成績評価割合は80%とします。				
小テスト						
レポート	20	授業中の課題をまとめてレポートとして提出します。授業で行った内容が指定形式で書かれているかどうかを評価します。期限は最終回終了後の期日で指定します。期限に遅れた場合は採点しません。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、提出物の遅れ、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月17日	オリエンテーション・評価とは 「評価」の過程を身近な課題から理解する 【KW】評価・作業・問題の原因 * 演習を通して、これから学習する「評価」のイメージをつかむ。	市村	作業療法評価 学pp3-4	203
第2回 5月24日	作業療法における評価 作業療法の過程における評価の位置付けを学ぶ 【KW】作業療法の過程・評価の種類・評価の領域・ICF * 作業療法評価をICFと関連づけて理解し、代表的な評価項目を覚える。	市村	作業療法評価 学pp4-8,13- 16	203
第3回 5月31日	面接 作業療法評価で行う面接の目的と方法を学ぶ 【KW】面接の目的・面接の種類・位置関係 * 面接の演習を行い、面接の目的と留意事項を覚える。	市村	作業療法評価 学pp11,36- 44	作業療法実 習室2・装 具加工室
第4回 6月7日	観察 作業療法評価における観察の目的と方法を学ぶ 【KW】観察の対象・観察の場面・観察の視点 * 観察の演習を行い、観察の目的、留意事項を覚える。	市村	作業療法評価 学pp12- 13,46-48	203
第5回 6月14日	評価バッテリー・検査・測定 標準化された評価を学ぶ 【KW】バイタルサイン・身体機能・認知機能・精神機能 * 代表的な評価ツールの名称と目的を覚える。	市村	作業療法評価 学p10	作業療法実習室 2・装具加工室/ 工二ビル2階
第6回 6月21日	日常生活活動 (ADL) の評価 ADLを評価する方法の基礎を学ぶ 【KW】しているADL・できるADL・FIM * ADLの見方の基礎を理解し、FIM採点方法の原則を覚える。	市村	作業療法評価 学pp215- 216,223-224	作業療法実 習室2・装 具加工室
第7回 6月28日	記録と他部門情報の収集 評価における記録と情報収集を学ぶ 【KW】SOAP・医学情報・守秘義務・他部門との連携 * SOAPを用いた記録方法の演習を行う。記録の原則と収集する情報を覚える。	市村	作業療法評価 学pp9-11,28- 32	203
第8回 7月5日	まとめ・評価の解釈と治療計画 評価結果を作業療法につなげる過程を学ぶ 【KW】結果の解釈・問題点の整理・ゴール設定・プログラム立案 * 作業療法過程を例示から理解し、身近な課題でレポートを作成する。	市村	作業療法評価 学pp19-22 作業療法概論 pp131-142	203
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎作業学実習 I	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途	作業療法学・基礎作業学・運動学 I				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
1年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。医療施設等での実務経験を基に、作業分析や作業を治療で用いる方法について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	作業活動を通して作業療法における作業の治療的意味を理解する。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習を通して、治療的手段として作業を活用する方法を理解する。 2. 作業活動の工程分析が行える。 3. 実施した作業活動の特性について説明できる。 4. 作業活動を通して自身の心理的变化を挙げることができる。 5. 期限内に各作業活動を完成することができる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>作業療法の治療技法の中核となる「作業」「作業活動」について、その構成や方法、遂行に必要な心身機能を、実際の作業活動を通して学習します。心身機能の変化や心理的变化、リスク管理についても併せて考えを深めます。</p> <p>また、個人による作業の意味や役割の違いを、社会的・文化的な背景から考え、作業を捉える視点を養います。</p> <p>何よりも、作業療法士にとって重要である「作業」「作業活動」と、それに伴う、「作業を介した対人関係」に対する興味・関心を深めます。『作業分析表』を用いて、作業分析の大枠を実践的に捉えていきます。</p>						
教科書・参考書						
<ol style="list-style-type: none"> ①作業活動実習マニュアル 第2版 古川宏著 医歯薬出版株式会社 ②配布資料 (適宜) 						
受講時留意点、その他						
<p>実習に適した服装で出席してください。守れない場合は、受講をお断りする場合があります。</p> <p>【服装について】</p> <p>「作業活動」では、木材・土・水・染料・接着剤などを使いますので、ジャージやTシャツなど、汚れても構わない服装で出席してください。また、靴はヒールのない、華美でない (派手ではない) ものを履いてください。</p> <p>アクセサリは外す、爪は短く切る、頭髪は実習中に直さなくてよいように整える、など、学生ハンドブック「Ⅲ-2. 学生生活における心構え」を遵守してください。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	50	各作業終了後及び全作業終了後に行う作業分析シートを採点します。作業手順、必要な道具を事前に提示しますので、しっかり覚えて来てください。提出期日を提示します。期日を過ぎたものは受け付けません。記載に不備がある場合は減点の対象となります。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	50	各作業活動で作成した作品。製作過程の状況や態度、完成時の丁寧さ等を含めて採点します。提出期日を過ぎたものは受け付けません。指定された場所に、「タイトル・氏名・学籍番号」を添付すること。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月8日	<u>オリエンテーション・作業とは</u>	中村		OT実習室 1
第2回 4月15日	<u>作業活動1：張り子①</u>	中村		OT実習室 1
第3回 4月22日	<u>作業活動1：張り子②</u>	中村		OT実習室 1
第4回 5月6日	<u>作業活動1：張り子③</u>	中村		OT実習室 1
第5回 4月28日	<u>作業分析1、作業活動2オリエンテーション</u>	中村		OT実習室 1
第6回 5月13日	<u>作業活動2：ペーパークラフト籠編み①</u>	中村		OT実習室 1
第7回 5月20日	<u>作業活動2：ペーパークラフト籠編み②</u>	中村		OT実習室 1
第8回 5月27日	<u>作業活動2：ペーパークラフト籠編み③</u>	中村		OT実習室 1
第9回 6月3日	<u>作業分析 2</u>	中村		OT実習室 1
第10回 6月10日	<u>作業活動 3：銅板細工①</u>	中村		OT実習室 1
第11回 6月17日	<u>作業活動 3：銅板細工②</u>	中村		OT実習室 1
第12回 6月23日	<u>作業活動 3：銅板細工③</u>	中村		OT実習室 1
第13回 6月30日	<u>作業活動 3：銅板細工④</u>	中村		OT実習室 1
第14回 7月7日	<u>作業分析 3</u>	中村		OT実習室 1
第15回 7月14日	<u>作業活動1～3 振り返り</u>	中村		OT実習室 1
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	神経機能評価学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	脳神経外科学、神経内科学、 中枢神経障害作業療法学□				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は、作業療法士が担当します。実務経験をもとに、対象者の評価、治療について講義を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	高次脳機能障害を持つ対象者への作業療法評価および関わりを理解する□					
行動目標 (SBO)	脳疾患に関連する高次脳機能障害の症状が説明できる 高次脳機能の各障害に対する検査を挙げ、方法が説明できる 高次脳機能障害の対象者に対する評価の項目と方法が説明できる 高次脳機能障害の対象者に対する作業療法の手段を挙げることが出来る□					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この科目では、高次脳機能障害と、その評価・アプローチについて学びます。障害の多くは脳疾患によって生じますので、脳（特に大脳）の解剖学（構造と役割）を復習しましょう。分かりにくいところは、早めに質問して解決してください。</p> <p>高次脳機能障害を持つ対象者への治療では、作業療法士がチーム内で中心的役割を担うことも少なくありません。授業を通して関心を高めてもらえるとういと思います。□</p>						
教科書・参考書						
<p>岩崎テル子ほか編. 作業療法評価学 第3版. 医学書院. 2011. 能登真一編. 標準作業療法学 高次脳機能作業療法学 第2版. 医学書院. 2019 医療情報科学研究所 編. 病気がみえる vol.7 脳・神経. メディックメディア. 2012□</p>						
受講時留意点、その他						
<p>授業内でスマートフォンを使って動画を視聴する場合があります。各自持参してください。 欠席した場合は、次の授業の前日までに内容と配布資料を確認し、不明な点があれば教員まで確認しにきてください。配布資料等は余分に準備していませんので、各自、入手してください。□</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100%	15回分の講義すべてが試験範囲である。60点以上が、本科目の単位取得の条件である。□				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月11日	高次脳機能障害総論 高次脳機能障害のとらえ方を学ぶ 【KW】脳の階層性、脳の左右のバランス、脳の前後のバランス、回復	市村	配布資料 教科書pp.3-14,26-37	108
第2回 5月11日	半側空間無視の病態と評価 半側空間無視の病態を理解し、評価方法を学ぶ 【KW】自己中心空間、物体中心空間、注意障害説、アウェアネス	市村	pp.112-118	108
第3回 5月18日	半側空間無視のアプローチ・右半球損傷の症状 半側空間無視の治療を学ぶ。関連する右半球損傷による症状を理解する。 【KW】視覚走査、プリズム順応、半側身体失認、ペーシング障害	市村	pp.100-101,112-127,223-240	108
第4回 5月25日	半側空間無視の検査方法 BITと机上検査の実施方法を学ぶ 【KW】線分二等分テスト、線分末梢テスト、模写テスト、BIT	市村	pp.112-118	OT実習室 1
第5回 5月25日	視覚性の認知を中心とした障害の評価とアプローチ 視覚失認と視空間認知障害の病態と作業療法を学ぶ 【KW】視覚失認、視空間認知障害、視覚の背側路と腹側路	市村	pp.97-109,213-221	108
第6回 6月1日	失行と行為の障害 失行と動作性の高次脳機能障害の病態を学ぶ 【KW】観念失行、観念運動失行、脳梁離断、前頭葉性の動作障害	市村	pp.81-95,201-212	108
第7回 6月1日	失行と行為の障害の評価とアプローチ 失行の検査方法とアプローチ、動作性の高次機能障害に対するアプローチを学ぶ 【KW】摸倣、物品使用、SPTA	市村	pp.81-95,201-212	OT実習室 1
第8回 6月8日	注意障害の評価とアプローチ 注意障害の病態と評価方法、アプローチを学ぶ 【KW】注意の種類・ワーキングメモリー・CAT	市村	pp.47-55,174-183	108
第9回 6月8日	記憶障害の評価とアプローチ 記憶障害の病態と評価方法、アプローチを学ぶ 【KW】記憶の分類・健忘の分類・エラーレスラーニング	市村	pp/47-66,184-192	108
第10回 6月15日	注意障害と記憶障害の神経心理学的検査 注意障害、記憶障害で用いる検査の名称と実施方法を学ぶ	市村	pp.47-53,56-62	OT実習室 1
第11回 6月22日	遂行機能障害とその評価 遂行機能障害の定義、病態と評価方法を学ぶ 【KW】前頭前野、目標達成・企画・調整の障害	市村	pp128-136	108
第12回 6月29日	遂行機能障害の評価とアプローチ 遂行機能障害の評価方法とアプローチ手段を学ぶ 【KW】BADS, WCST, IADL、就労	市村	pp128-141,242-248	OT実習室2
第13回 7月6日	社会的行動障害・高次脳機能障害に関わる社会資源 社会的行動障害の病態と作業療法、高次脳機能障害全般の社会資源について学ぶ 【KW】前頭葉、診断基準、制度、高次脳機能障害支援普及事業	市村	pp.142-153,249-265,269-292	108
第14回 7月13日	高次脳機能障害の脳画像評価 脳画像を用いた高次脳機能障害の評価の要点を理解する 【KW】MRI,CT、機能局在	市村	pp.15-21	108
第15回 7月20日	対象者像の把握とアプローチ・総括 対象者情報から評価を計画し、評価結果を解釈する方法を学ぶ キーワード：情報収集、観察、評価結果の分析	市村	pp.26-40	108

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	作業遂行分析学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	基礎作業学、基礎作業学実習、日常生活活動学実習 など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は、作業療法士が担当します。実務経験をもとに、対象者の作業遂行の捉え方について、演習を交えて講義します。□					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	人の作業場面を観察して、作業遂行を分析することができる□					
行動目標 (SBO)	<ul style="list-style-type: none"> 作業遂行の質を説明できる 作業遂行技能項目を用いて、運動技能の観察ができる 作業遂行技能項目を用いて、プロセス技能の観察ができる 作業遂行技能の観察から、作業を妨げる要因を分析できる 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目では、作業療法では、人が作業している様子をどのようにとらえているか、作業を妨げる要因をどのように解釈するかを演習を通して学びます。他者の作業について、「なぜその人はそれをするのか」「なぜそのような方法なのか」と疑問を持ちながら観察することが重要です。						
教科書・参考書						
濱口豊太 標準作業療法学 日常生活活動・社会生活行為学 (医学書院) 古川宏 作業活動実習マニュアル 第2版 (医歯薬出版)						
受講時留意点、その他						
演習と提出物が成績評価対象になります。自発的に参加し、欠席した場合は必ず、次回までに相談に来てください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	0	第6回に第5回までに理解した内容の小テストを行う。この理解をもとに第6回以降の課題とレポート作成を行う。				
レポート	100	演習で行った内容をレポート提出し、成績評定の材料とする。正当な理由なく期限に遅れた提出物は0点とする。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、提出物の遅れ、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、課題に対する熱意に欠ける態度は減点の対象とします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月19日	作業遂行分析とは・方法と視点 【KW】作業遂行分析、作業遂行の質、作業遂行文脈	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第2回 5月19日	作業遂行分析演習 1 運動技能の観察 【KW】技能項目、目的指向的行為	市村	作業活動実習マニュアル	OT実習室 2
第3回 5月26日	作業遂行分析演習 2 プロセス技能の観察 【KW】技能項目、目的指向的行為	市村	作業活動実習マニュアル	OT実習室 2
第4回 5月26日	作業遂行分析演習 3 プロセス技能の観察・観察した技能の解釈 【KW】技能項目、目的指向的行為	市村	作業活動実習マニュアル	OT実習室 2
第5回 6月2日	作業遂行の構成要因を分析する 【KW】人、課題、環境、相互作用	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第6回 6月2日	5回までのまとめ：小テスト 前回までのまとめを行って、第7回からの演習の準備をする。	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第7回 6月9日	観察による作業遂行分析 1 5回までの学習内容をもとに、観察から作業遂行分析を行う	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第8回 6月9日	作業の分析と治療プログラムにつながる方略 1 第6回の観察をもとに解釈し、プログラムにつながる分析を行う	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第9回 6月16日	分析結果のまとめ 1 作業遂行分析結果をレポートにまとめる	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第10回 6月16日	観察による作業遂行分析 2 5回までの学習内容をもとに、観察から作業遂行分析を行う	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第11回 6月23日	作業の分析と治療プログラムにつながる方略 2 第9回の観察をもとに解釈し、プログラムにつながる分析を行う	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第12回 6月30日	分析結果のまとめ 2 作業遂行分析結果をレポートにまとめる	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第13回 7月7日	観察による作業遂行分析 3 5回までの学習内容をもとに、観察から作業遂行分析を行う	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第14回 7月14日	作業の分析と治療プログラムにつながる方略 3 第12回の観察をもとに解釈し、プログラムにつながる分析を行う	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
第15回 7月21日	分析結果のまとめ 3 作業遂行分析結果をレポートにまとめる	市村	日常生活活動・社会生活行為学、配布資料	OT実習室 2
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床作業療法評価学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行	作業療法評価学演習・身体障害作業療法評価学 身体障害作業療法評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次 前期	臨床経験を活かし、臨床現場での内容を含め教示します					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	作業療法を行う上で必要となる、基礎的な評価法を身につける 対象者の疾患特性に応じて、基本的な検査を選択・実施することができる					
行動目標 (SBO)	各評価における目的と検査方法を理解し、実施することができる 対象疾患に合わせ評価選択、評価実施を行うことができる 身体障害の対象者の基本情報から、評価項目を挙げることができる 実施する評価の実施方法を説明することができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>授業前には予習をしておくといでしょう。</p> <p>実施の際には骨格や体型によって扱い方が異なってくるため、練習の際には多数の人と練習するとよいでしょう。</p>						
教科書・参考書						
岩崎テル子他／編 標準作業療法学 作業療法評価学 (医学書院) 津山直一他訳 新徒手筋力検査法 (第8版) (協同医書出版)						
受講時留意点、その他						
<p>積極的な授業態度、切実な授業態度を望む。</p> <p>実技のできる服装で受講すること。著しい服装の乱れや医療人としてふさわしくない行動がみられる場合は受講を出来ない場合がある。</p> <p>授業前は爪を短く切り、髪の毛が邪魔にならないように束ねるなど身だしなみを整える。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	100	事例に対し「評価列挙」・「評価計画」の実践確認 (書面記載) を行う				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月9日	授業オリエンテーション 動作観察・分析 授業方法の解説・準備をおこなう 面談場面を観察して必要な情報を捉える	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第2回 5月9日	動作観察・分析 面談場面を観察して必要な情報を捉える	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第3回 5月16日	評価列挙方法演習 観察・分析から必要な評価を列挙する	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第4回 5月23日	評価列挙方法演習 観察・分析から必要な評価を列挙する	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第5回 5月23日	評価列挙の実践 セラピストの評価場面を観察して、分析と評価列挙の演習を行い報告用紙記載の練習を行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第6回 5月30日	評価列挙の実践 セラピストの評価場面を観察して、分析と評価列挙の演習を行い報告用紙記載の練習を行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第7回 5月30日	評価列挙の実践確認 作業療法評価場面を撮影した風景を観て評価列挙を行い分析と評価列挙まで行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第8回 6月6日	評価列挙の実践確認フィードバックと振り返り実践 評価実施後まとめた報告用紙も含めフィードバックを行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第9回 6月6日	評価列挙の実践確認フィードバックと振り返り実践 評価実施後まとめた報告用紙も含めフィードバックを行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第10回 6月13日	評価列挙の解釈 報告用紙から評価計画に繋がる思考の捉え方を演習する	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第11回 6月20日	評価計画と予測 観察・分析結果から評価計画を立てる	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第12回 6月27日	評価計画と予測 観察・分析結果から評価計画を立てる	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第13回 7月4日	評価計画の実践確認 実際に立てた評価計画を実践する	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第14回 7月11日	評価計画実践確認後フィードバックと振り返り実践 実技確認後の振り返りを行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室
第15回 7月19日	評価計画の検証 実技確認実施後の実技内容の確認 評価計画の検証を行う	岡本	作業療法評価学	OT実習室2 装具加工室

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	整形外科疾患作業療法学Ⅱ	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	松尾祐介	解剖学Ⅰ・Ⅱ、中枢神経障害作業療法学・整形外科Ⅰ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。身体障害領域での作業療法の実務経験を基に、脊髄損傷者の生活像および作業療法アプローチについて教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	脊髄損傷者の生活像を理解し、対象者に合わせた評価と治療を選択することができる。					
行動目標 (SBO)	<ul style="list-style-type: none"> 脊髄損傷者に生じる機能障害を理解し説明することができる。 脊髄損傷者に対する評価の実施方法について説明することができる。 損傷髄節ごとに達成可能なADLを理解し、支援方法を説明することができる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
脊髄損傷者に対する作業療法について学びます。脊髄損傷は損傷部位ごとに様々な運動障害、感覚障害、自律神経障害が生じます。正確に対象者を理解するためには、脊髄の解剖および伝導路の知識が必要になります。1年次の復習を十分に行ってから授業に臨みましょう。また、脊髄損傷を受傷された方が様々なメディアを通じて発信されています。対象者の理解に繋がりますから、積極的に視聴するとよいでしょう。						
教科書・参考書						
小林隆司編集／PT・OTビジュアルテキスト 身体障害作業療法学 1 骨関節・神経疾患編 (羊土社) 岩崎テル子編／標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版 (医学書院)						
受講時留意点、その他						
全8回の講義形式の授業です。教授内容が多くなりますので、授業後必ず復習をし、次の授業に臨むようにしてください。不明点、質問がありましたら積極的に受け入れます。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100%	定期試験を実施します。試験は7月6日3限に実施します。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月13日	脊髄損傷の症状 キーワード：運動麻痺、感覚障害、自律神経障害	松尾	p113-134	108
第2回 5月20日	脊髄損傷の症状と治療 キーワード：自律神経障害、合併症、局所管理、全体管理	松尾	p113-134	108
第3回 5月27日	脊髄損傷者の身体機能の評価 キーワード：Zancolliの分類 Frankelの分類	松尾	p113-134	108
第4回 6月3日	脊髄損傷者の身体機能の評価 キーワード：ASIAの神経学的評価	松尾	p113-134	108
第5回 6月10日	C4-C5損傷の脊髄損傷者の身体機能とADL	松尾	p113-134	108
第6回 6月10日	C6損傷の脊髄損傷者の身体機能とADL	松尾	p113-134	108
第7回 6月17日	C7-C8、胸腰髄損傷の脊髄損傷者の身体機能とADL	松尾	p113-134	108
第8回 6月24日	脊髄損傷者に対する作業療法アプローチ キーワード：動作訓練、社会参加	松尾	p113-134	108
定期試験	7月6日3限に実施			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	神経筋疾患作業療法学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	松尾祐介	解剖学Ⅰ・解剖学実習・運動学・整形外科学ⅠⅡ・神経内科学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。医療施設での作業療法の実務経験を基に、疾患に対する知識、作業療法評価、治療について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	神経筋疾患の特性を理解し、作業療法の評価及び治療を説明することが出来る					
行動目標 (SBO)	<ul style="list-style-type: none"> 各神経筋疾患の特徴を理解し、評価の流れを説明できる 各神経筋疾患の進行に合わせた支援方法を説明することが出来る 神経筋疾患を調べる方法を身に付け、いくつか治療手段に結びつけることができる 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>神経筋疾患に対する作業療法について学びます。神経内科学の教科書に加え、「病気がみえるvol.7脳・神経」を参考にすると理解に役立ちます。</p> <p>また、個人で神経筋疾患に対する作業療法をまとめ、報告をします。前期から、分からない事は図書室で調べるようにしましょう。</p>						
教科書・参考書						
<p>医療情報科学研究所/編 病気がみえる vol.7 脳・神経 第2版 (メディックメディア)</p> <p>小林隆司編集/PT・OTビジュアルテキスト 身体障害作業療法学 1 骨関節・神経疾患編 (羊土社)</p>						
受講時留意点、その他						
積極的な発言は理解を深めます。活発な授業にしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	80%	前期末に筆記試験を実施します。60%以上を合格とし、不合格者には再試験を実施します。				
小テスト						
レポート	20%	第13回～第15回ではレポート課題を実施します。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100%	定期試験の結果とレポート課題の評定を合算し評定します。				

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月10日	神経・筋変性疾患の作業療法を学ぶために ～神経難病の概要・かかわる制度を学ぶ～	松尾	配布資料	108
第2回 5月18日	パーキンソン病の病態と治療 【KW】：錐体外路症状、Hoehn&Yahrの重症度分類、薬物療法	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第3回 5月18日	パーキンソン病の対象者に対する作業療法 【KW】：運動療法、ADL、環境調整、社会参加	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第4回 5月25日	パーキンソン病の対象者に対する作業療法演習 【KW】：パーキンソン体操、移動手手段、環境調整	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第5回 5月25日	脊髄小脳変性症の病態 【KW】：多系統萎縮症、CCA、遺伝、小脳症状、重症度分類	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第6回 6月1日	脊髄小脳変性症の対象者に対する作業療法 【KW】：運動失調、ADL、環境調整	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第7回 6月1日	筋萎縮性側索硬化症の病態と作業療法評価 【KW】：運動ニューロンの変性、球麻痺、陰性症状、重症度分類	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第8回 6月8日	筋萎縮性側索硬化症の対象者に対する作業療法 【KW】：環境調整、IT機器、福祉用具	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第9回 6月15日	多発性硬化症の作業療法を考える 【KW】：脱髄、空間的・時間的多発、症状、医学的治療	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第10回 6月15日	重症筋無力症の作業療法を考える 【KW】：アセチルコリン受容体、日内変動、クリーゼ、 評価、作業療法プログラム	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第11回 6月22日	多発性筋炎・皮膚炎の作業療法を考える 【KW】：PM・DMの病態、医学的治療、評価、作業療法プログラム	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第12回 6月29日	ギランバレー症候群の作業療法を考える 【KW】：GBSの病態と予後、医学的治療、評価、作業療法プログラム	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第13回 7月8日	稀少な疾患の作業療法プログラムを考える 【KW】：文献検索、難病対策	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第14回 7月13日	事例に対する評価・治療の実践	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
第15回 7月20日	事例に対する評価・治療の実践	松尾	病気がみえる 脳・神経 身体障害 作業療法学1	108
定期試験	前期末試験を実施			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	内部障害作業療法学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療学科	中原留美子・田尻寿子	解剖学Ⅰ・解剖学Ⅱ・運動学Ⅰ・運動学Ⅱ・運動生理学実習・内科学Ⅰ・内科学Ⅱ・身体障害OT評価学・身体障害作業療法評価学実習等				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は作業療法士が担当いたします。第7・8回は静岡県立がんセンターに勤務されている作業療法士が担当いたします。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	内部障害の作業療法について、疾患特性・作業療法について理解する					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 内部障害の基礎知識と作業療法の考え方を理解する。 2. 心疾患の作業療法について、疾患の特性・OT評価及び治療を説明できる。 3. 呼吸器疾患の作業療法について、疾患の特性・OT評価及び治療を説明できる。 4. 糖尿病・腎疾患の作業療法について、疾患の特性・OT評価及び治療を説明できる。 5. 悪性腫瘍の作業療法について、疾患の特性・OT評価及び治療を説明できる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>心疾患や呼吸器疾患、リンパ浮腫に関する治療として診療報酬を請求するためには、OTになってから、専門的な研修を受講し、知識や技術を修得しなければならない。しかし、内部障害を合併している対象者は多く、内部障害の知識やそれに対する作業療法の基本を押さえておくことは極めて重要である。</p> <p>内科学Ⅰ・Ⅱで学んだ疾患について復習し、作業療法の基本を学んでいくことが大切である。</p>						
教科書・参考書						
教科書：PT・OTビジュアルテキスト身体障害作業療法学2 内部疾患編 小林隆司（編） 羊土社						
受講時留意点、その他						
1・2年の授業での学習の振り返りが必要です。シラバスに合わせて予習・復習をするようにしましょう！特に、解剖学・運動学・生理学の理解がないままでは、授業内容を理解することが難しいです。頑張りましょう！						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	第1回～第8回までの範囲				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月16日	<u>内部障害の基礎と作業療法</u> 廃用症候群を含め、内部障害の特性と作業療法について学ぶ 【KW】全身管理・廃用症候群	中原	P14-47	108
第2回 5月24日	<u>心疾患の基礎</u> 虚血性心疾患、心不全について学ぶ 【KW】冠循環、ポンプ機能、心筋虚血、心不全、心拍数、血圧、心電図	中原	P54-60 P110-119	108
第3回 5月31日	<u>心疾患の作業療法</u> 心疾患に対する作業療法を学ぶ 【KW】リスク管理・活動負荷・レジスタンストレーニング	中原	P119-130	108
第4回 6月7日	<u>呼吸器の基礎</u> 呼吸器の主な構造・機能、代表的な疾患の病態を学ぶ 【KW】気管支・肺、呼吸運動、肺気量分画、BGA、COPD	中原	①P48-54 ①P86-109	108
第5回 6月7日	<u>呼吸器疾患の作業療法</u> 呼吸器疾患に対する評価と指導の基本を学ぶ 【KW】リスク管理、ADL動作、呼吸法	中原	①P86-109	108
第6回 6月14日	<u>糖尿病・腎臓疾患の作業療法</u> 糖尿病・腎臓疾患に対する作業療法を学ぶ 【KW】腎臓疾患、糖尿病、リスク管理	中原	①P405-421	108
第7回 6月21日	<u>悪性腫瘍</u> 病態と障害像	田尻	配布資料	108
第8回 6月21日	<u>悪性腫瘍の作業療法</u> リハビリテーションの流れ	田尻	配布資料	108
定期試験 7月5日				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	発達障害作業療法学Ⅰ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中原留美子・渡邊智史	小児科学・人間発達学・発達障害作業療法評価学・発達障害作業療法学Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は作業療法士が担当いたします。発達障害領域での実務経験を活かし、発達障害領域での作業療法を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	運動器以外の発達障害領域における作業療法の臨床像、評価、治療・支援について理解する。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達障害領域における作業療法評価から治療の流れを理解できる。 2. 作業療法の対象となる子どもの特徴と評価・治療アプローチを説明することができる。 3. 遊びの分析ができる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この授業では、軽度発達障害領域の作業療法について、対象児（者）の臨床像、評価、治療について学びます。また、感覚統合理論に基づく子どものみかたなどを学びます。						
教科書・参考書						
辛島千恵子編 イラストでわかる発達障害の作業療法 医歯薬出版株式会社						
受講時留意点、その他						
療育センターや学校支援での発達障害領域での作業療法を実践されていた渡邊智史先生にもご教授いただきます。現在発達障害領域での作業療法士が多く関わっている疾患を学びます。積極的に参加しましょう！						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を実施する。第1回～第15回までを試験範囲とする。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月9日	オリエンテーション・発達障害領域での作業療法概論 作業療法の過程・治療理論について理解する。 【KW】発達課題・正常発達・ニーズ・治療理論	中原	配布資料 p.1-38	108
第2回 5月9日	知的障害・ダウン症候群 ダウン症候群の特性と評価および治療について理解する。 【KW】ダウン症候群・染色体異常	中原	配布資料 p.159-175	108
第3回 5月16日	感覚統合理論 感覚統合理論について理解する。 【KW】感覚統合理論	渡邊	配布資料 p.27,52-53	108
第4回 5月16日	感覚統合理論 感覚統合理論について理解する。 【KW】感覚統合理論	渡邊	配布資料 p.27,52-53	108
第5回 5月23日	発達障害児の評価と治療① 発達障害児の評価と治療について理解する。 【KW】発達障害・評価・治療	渡邊	配布資料	108
第6回 5月23日	発達障害児の評価と治療② 発達障害児の評価と治療について理解する。 【KW】発達障害・評価・治療	渡邊	配布資料	108
第7回 5月30日	発達障害児の評価と治療の実際① 発達障害児の評価と治療の実際について理解する。 【KW】発達障害・評価・治療	渡邊	配布資料	202
第8回 5月30日	発達障害児の評価と治療の実際② 発達障害児の評価と治療の実際について理解する。 【KW】発達障害・評価・治療	渡邊	配布資料	202
第9回 6月6日	自閉症スペクトラム障害 自閉症スペクトラム障害の特性を理解する。 【KW】自閉症スペクトラム障害	中原	配布資料 p.63-80	108
第10回 6月13日	自閉症スペクトラム障害 自閉症スペクトラム障害の特性と評価および治療を理解する。 【KW】自閉症スペクトラム障害	中原	配布資料 p.63-80	108
第11回 6月20日	注意欠如・多動症 注意欠如・多動症の特性を理解する。 【KW】注意欠如・多動症	中原	配布資料 p.81-90	108
第12回 6月27日	注意欠如・多動症 注意欠如・多動症の特性と評価および治療を理解する。 【KW】注意欠如・多動症	中原	配布資料 p.81-90	108
第13回 7月4日	学習障害 学習障害の特性と評価・治療を理解する。 【KW】学習障害	中原	配布資料 p.91-102	108
第14回 7月4日	発達性協調運動症 (DCD) 臨床症状と作業療法を理解する 【KW】DSM-5・不器用・作業療法	中原	配布資料	108
第15回 7月11日	事例を通して作業療法の実際 事例を通して、作業療法を知る 【KW】事例報告	中原	配布資料	108

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	精神障害作業療法学各論	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中原 留美子	精神医学Ⅰ・Ⅱ、精神障害作業療法学総論、精神障害作業療法評価学、心理学、臨床心理学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は作業療法士が担当します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	作業療法の対象となる各精神疾患の医学的概要について理解する。 各精神疾患及び時期により異なる作業療法について理解する。					各
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 統合失調症の概要・症状・回復過程を理解する 2. 統合失調症の回復過程に沿った作業療法の展開と役割について理解する 3. 気分障害の概要・症状・回復過程を理解する 4. 気分障害の回復過程に沿った作業療法の展開と役割について理解する 5. 各精神疾患の概要と、作業療法の役割について理解する 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
精神障害領域の作業療法で対象となる様々な疾患について、精神医学的基礎知識及び各回復過程における作業療法について学習します。						
教科書・参考書						
<ol style="list-style-type: none"> ①精神障害と作業療法 新版 三輪書店 ②生活を支援する精神障害作業療法 第2版 医歯薬出版株式会社 ③精神疾患の理解と精神科作業療法 第3版 中央法規 						
受講時留意点、その他						
各疾患の学習前に、精神医学Ⅰ・Ⅱの復習を進めておきましょう。医学的な基礎知識を備えた上で、回復状況により異なる作業療法の役割を理解することが出来ます。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	試験範囲は第1回～第14回まで、前期末に定期試験を実施します。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月13日	オリエンテーション 講義の目的等を確認する。精神疾患に対する全般的な治療から、作業療法の役割と、多様な疾患に対応する必要性を理解する。【KW】精神科作業療法、精神疾患、プログラム	中原	配布資料	108
第2回 5月13日	統合失調症①：概要 統合失調症の概要、疫学的特徴、成因、症状、分類、予後、治療について知る。【KW】陽性症状、陰性症状、認知機能障害、古典的三分類、ドパミン	中原	②31-35 ③66-110	108
第3回 5月17日	統合失調症②：障害像、急性期作業療法 統合失調症の障害像、急性期及び回復期作業療法の役割、プログラムを理解する。【KW】亜急性期、回復期前期、障害像	中原	②60-131 ③66-110	108
第4回 5月17日	統合失調症③：回復期作業療法、維持期作業療法、再発サイン 維持期作業療法の役割、プログラム、再発サインを理解する。【KW】回復期後期、維持期、前駆症状、地域定着支援	中原	②134-166 ③66-110	108
第5回 5月24日	うつ病と双極性障害①：概要、症状、病因 うつ病と双極性障害の全体像、疫学的知識、一般的にみられる症状を理解する。【KW】I型・II型、抑うつ、躁、思考の異常	中原	②260-269 ③111-150 配布資料	108
第6回 5月24日	うつ病と双極性障害②：治療・作業療法 うつ病と双極性障害の全般的な治療と作業療法について、回復過程に沿った目的、役割を理解する。【KW】回復過程・うつ病相・躁病相	中原	②260-269 ③111-150 配布資料	108
第7回 5月31日	不安障害 不安障害に含まれる疾患の分類と概要、症状、治療方法を理解する。【KW】パニック障害・全般性不安障害・社交不安障害・広場恐怖症	中原	②290-294 ③151-162 配布資料	108
第8回 5月31日	強迫性障害 強迫性障害の概要、症状、治療方法を理解する。【KW】強迫観念・強迫行為・自由度	中原	③163-169, 175-177 配布資料	108
第9回 6月7日	ストレス関連障害 ストレス関連障害に含まれる疾患の分類と概要、症状、治療方法を理解する。【KW】PTSD・フラッシュバック・エクスポージャー法	中原	③170 配布資料	108
第10回 6月14日	解離性障害、身体表現性障害 解離性障害及び身体表現性障害の概要、症状、治療方法を理解する。【KW】解離性昏迷・解離性遁走・解離性健忘・疾病利得・自己表現	中原	③171-174 配布資料	108
第11回 6月21日	摂食障害 摂食障害の概要、症状、治療方法を理解する。【KW】神経性無食欲症・神経性大食症・自己表現	中原	②295-300 ③178-187 配布資料	108
第12回 6月28日	依存症 様々な依存症の概要、症状、治療方法を理解する。【KW】アルコール依存症・薬物依存症・離脱症状・精神依存・身体依存・耐性	中原	②301-305 ③188-215 配布資料	108
第13回 6月28日	パーソナリティ障害 パーソナリティ障害の概要、種類、基本的な症状と治療及び留意点を理解する。【KW】境界性パーソナリティ障害・ボーダーラインシフト・枠組みの明確化・治療契約	中原	②276-280 ③216-225 配布資料	108
第14回 7月5日	てんかん てんかんの分類・基本的な症状と、作業療法における関わりの留意点を理解する。【KW】全般発作・部分発作・発作の誘発因子	中原	③277-285 配布資料	108
第15回 7月12日	事例検討 統合失調症の事例を読み、対象者を理解する。目標設定、治療プログラム立案を模擬的に行う。【KW】評価、長・短期目標、プログラム立案	中原	配布資料	108

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	義肢装具学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行	解剖学Ⅰ・Ⅱ 運動学Ⅰ・Ⅱ 整形外科学Ⅰ・Ⅱ 整形外科疾患作業療法学Ⅰ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次 前期	臨床経験を活かし、臨床現場での内容を含め教示します					
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	義肢装具に関する基礎的な知識を修得する 義肢装具使用者に対する作業療法士の役割を修得する					
行動目標 (SBO)	義手の構造、チェックアウト及び切断者の作業療法の方法がわかる 装具・スプリントの構造、適応がわかる スプリントを製作、チェックアウトができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>身体構造・手の機能の復習をしっかりとってから授業に臨みましょう。 実際にスプリントが作製できるようになることが求められます。 初めて触れる素材を使用しますので、大変扱いにくいと思います。 真剣に取り組んでください。</p>						
教科書・参考書						
作業療法学全書[改訂第3版] 第9巻 作業療法技術学1 義肢装具学(協同医書出版)						
受講時留意点、その他						
身体計測、触察、スプリント製作演習では動きやすい服装にすること。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	90	定期試験を実施する				
小テスト						
レポート	10	スプリント装着体験レポート(製作したスプリントを含む)				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月17日	<u>義肢装具の歴史と概要・義肢装具の作業療法の役割</u> 義肢装具を取り扱う上で必要な知識を得る。 【KW】義肢・装具・義肢装具士	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第2回 5月17日	<u>切断の基礎知識</u> 四肢切断の傾向と原因を説明できる。部位別分類ができる。 【KW】義肢・切断・離断	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第3回 5月24日	<u>義手のチェックアウト・計測の実施</u> 四肢の計測ができる。持ち物：メジャー 【KW】周径・長さ・ランドマーク	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第4回 5月26日	<u>義手の部位名称と構成</u> 義肢とは、装具とは何か説明できる。義手の仕組みがわかる。 【KW】義手・構成要素・切断レベル	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第5回 5月26日	<u>義手の部位名称と構成</u> 義肢とは、装具とは何か説明できる。義手の仕組みがわかる。 【KW】義手・構成要素・切断レベル	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第6回 6月2日	<u>義手のチェックアウト・義手装着訓練</u> 義手のチェックアウト方法を理解する。義手の操作訓練を理解する。 【KW】チェックアウト・操作効率・作業効率	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第7回 6月2日	<u>上肢装具・スプリントの分類と適応、作業療法士の役割</u> 装具療法における作業療法士の役割について説明できる。スプリントの分類・ 適応が説明できる。【KW】装具・分類・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第8回 6月9日	<u>各装具の理解</u> 上肢・下肢・体幹のそれぞれの装具が理解できる 【KW】装具・分類・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第9回 6月16日	<u>装具の適応と目的</u> 各種スプリントの適応や目的を理解する 【KW】装具・分類・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第10回 6月23日	<u>疾患別スプリントの適応</u> 主な疾患（末梢神経損傷・CVA・頸髄損傷・RA）のスプリントの適応がわ かる。【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第11回 6月23日	<u>疾患別スプリントの適応</u> 主な疾患（末梢神経損傷・CVA・頸髄損傷・RA）のスプリントの適応がわ かる。【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第12回 6月30日	<u>スプリントの製作演習（セーフティピン）</u> スプリント材の特性を知り、スプリントを実際に作製する。 【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第13回 7月7日	<u>スプリントの製作演習（短対立装具）</u> スプリントの作製、チェックアウトを行う。 【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第14回 7月14日	<u>スプリントの製作演習（カックアップ）</u> スプリント材の特性を知り、スプリントを実際に作製する。 【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室
第15回 7月21日	<u>スプリントの製作演習（カックアップ）</u> スプリント材の特性を知り、スプリントを実際に作製する。 【KW】装具・作製・適応	岡本	義肢装具学 資料	OT実習室2 装具加工室

(R2-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	事例報告演習	2	60	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子 中村毎途 野村めぐみ	作業療法評価学各科目、作業療法各論各科目、臨床実習Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次 通年	この授業は作業療法士が担当します。病院等医療施設での経験を基に、作業療法における診療記録の記載、実践報告の方法を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	作業療法で行う記録の技能を習得する					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業療法評価及び治療内容を診療記録に記載することができる。 2. 対象者の評価結果をまとめ、報告書に記載できる。 3. 臨床実習で経験した事例を口頭で報告できる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>診療記録の記載演習は手書きで行います。報告書作成ではパソコンを使って演習を行う場合があります。パソコン作業に不慣れな場合は、キーボード操作、wordを用いた文書作成などに少し親しんでおいた方がスムーズです。</p>						
教科書・参考書						
岩崎テル子他／編 標準作業療法学 作業療法評価学 (医学書院) 市川和子／編 標準作業療法学 臨床実習とケーススタディ (医学書院) 二木淑子・能登真一／編 標準作業療法学 作業療法学概論 (医学書院)						
受講時留意点、その他						
<p>ボールペン等の消せない筆記用具、訂正用の印鑑を持参すること。 提出課題により成績評定をする為、欠席した場合は速やかに教員に相談に来ること。 この科目は通年授業です。後期の状況とともに成績を評価します。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	カルテ、事例報告書等の指定課題を提出し、成績評定の材料とする。正当な理由なく期限内に遅れた提出物は0点とする。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、提出物の遅れ、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とします。				
(合計)	100					

(R2-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 5月13日	評価・治療場面の観察と記録 1 【KW】SOAP, カルテ記載、記載事項の選択 * 書式を整えて模擬カルテを記載し、適切に管理する。	市村	配布資料・作業療法評価学	108
第2回 5月20日	評価・治療場面の観察と記録 2 【KW】SOAP, カルテ記載、記載事項の選択 * 書式を整えて模擬カルテを記載し、適切に管理する。	市村	配布資料・作業療法評価学	108
第3回 5月20日	評価・治療場面の観察と記録 3 【KW】SOAP, カルテ記載、記載事項の選択 * 書式を整えて模擬カルテを記載し、適切に管理する。	市村	配布資料・作業療法評価学	108
第4回 5月27日	評価・治療場面の観察と記録 4 【KW】SOAP, カルテ記載、記載事項の選択 * 書式を整えて模擬カルテを記載し、適切に管理する。	市村	配布資料・作業療法評価学	OT実習室 2 / 装具 加工室
第5回 5月27日	評価計画と結果の解釈 1 【KW】疾患、病期、評価項目 * 提示された事例情報を理解する	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	108
第6回 6月3日	評価計画と結果の解釈 2 【KW】評価項目の列挙 * 評価項目を挙げる	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	108
第7回 6月3日	評価計画と結果の解釈 3 【KW】評価期間、評価手順、機器・器具の準備、環境設定 * 評価計画を具体化する	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	108
第8回 6月10日	評価計画と結果の解釈 4 【KW】ICF分類、問題点と利点 * 事例の評価結果を分析し、統合と解釈を行う	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	108
第9回 6月17日	評価計画と結果の解釈 5 【KW】問題点の優先順位、予後予測、整合性 * ゴール設定と治療計画を考える	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	108
第10回 6月24日	事例報告書の記載 1 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 * 評価・分析した情報を手書きでまとめる	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	108
第11回 7月1日	事例報告書の記載 2 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 * 評価・分析した情報を手書きでまとめる	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	108
第12回 7月1日	事例報告書の記載 3 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 * 評価・分析した内容をまとめ、パソコンを使って報告書を作成する	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	PC室
第13回 7月8日	事例報告書の記載 4 【KW】書式、データの取り扱い、個人情報 * 評価・分析した内容をまとめ、パソコンを使って報告書を作成する	市村	配布資料・作業療法評価学・ケーススタディ	PC室
第14回 7月15日	MTDLPを使った事例報告のまとめ方 【KW】MTDLP、プラン演習シート、生活行為シートを使った演習を行う	中村	配布資料	108
第15回 7月15日	MTDLPを使った事例報告のまとめ方 【KW】MTDLP、プラン演習シート、生活行為シートを使った演習を行う	中村	配布資料	108

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅱ	4	180	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	臨床実習教育者 岡本博行 作業療法学科教員	各領域作業療法学、各領域作業療法学実習、作業療法評価学、作業療法評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期	この科目は、作業療法士が行います。学内では作業療法士である教員が臨床での実習に対応する評価技術を教授します。施設内臨床実習では臨床の作業療法士が対象者への評価過程を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	作業療法学生として適切な態度を習得し、身体障害領域の対象者への検査・測定が行える。					
行動目標 (SBO)	<ul style="list-style-type: none"> 作業療法学生として適切な態度を習得する。 基本情報の収集、対象者のニーズの聴取、検査・測定を疾患特性に応じて模倣レベルで行える。 模倣レベルで検査、測定結果から問題点と利点を抽出し、評価結果の総括が行える。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>本科目は、学内での事前実習、施設での実習、学内での実習で構成される。実習施設では、クリニカル・クラークシップによる臨床実践を体験し、臨床的思考過程の教授を受ける。施設での実習期間中は、臨床実習教育者と学校教員とで連携して教育を実践する。学生の自ら学ぼうとする力、対象者を支援したいという動機づけが重要である。施設での実習中は、臨床実習教育者に相談しながら行うが、心配なことなどがあれば学校教員にも連絡すること。</p>						
教科書・参考書						
臨床実習の手引き、学内の授業で使用したすべての教科書						
受講時留意点、その他						
<p>施設内実習は4月11日（月）から5月2日（月）のうち15日間とする。平日を基本とするが、施設の勤務形態に応じ、臨床実習教育者の勤務日に合わせることを基本とする。服装は学校指定のユニフォームまたは実習施設から指定された服装とする。体調管理に努め、施設の規定に従い感染対策を講じる。家族を含め、発熱等の症状がある場合の実習の可否を臨床実習教育者に相談する。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	10	施設内臨床実習後の学内実習で筆記試験を行う。内容は、脳血管障害または整形外科疾患の事例から、疾患に応じた検査実施方法の計画とする。				
レポート	10	施設内臨床実習後の学内実習でレポートを作成する。内容は施設実習で記載した事例情報シートをもとにした問題点と利点の抽出とする。				
実技試験	50	施設内臨床実習後の学内実習でOSCEを実施する。内容は、脳血管障害または整形外科疾患の事例から、面接及び指定された検査の実施とする。				
プレゼンテーション						
その他	30	臨床実習経過報告書に記載された到達度、デイリーレポート、ポートフォリオ、教員が確認した施設内臨床実習中の状況から、施設実習中の技能を教員が評定する。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月4日	臨床実習Ⅱ 授業オリエンテーション 臨床実習Ⅱのスケジュールや課題の確認	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第2回 4月4日	臨床的思考演習 1 疾患特性に応じた検査実施の計画 面接及び基本的な検査について、疾患特性に応じた計画の立て方を学ぶ	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第3回 4月4日	臨床的思考演習 2 問題点と利点の抽出 検査結果から問題点と利点を抽出する方法を学ぶ	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第4回 4月5日	評価技術実習 臨床に即した身体障害領域の検査・測定技術を実習形式で行う	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第5回 4月5日	評価技術実習 臨床に即した身体障害領域の検査・測定技術を実習形式で行う	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第6回 4月5日	評価技術実習 臨床に即した身体障害領域の検査・測定技術を実習形式で行う	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第7回 4月5日	評価技術実習 臨床に即した身体障害領域の検査・測定技術を実習形式で行う	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第8回 4月6日	OSCE（身体障害領域）に向けた演習 グループ間または教員の指導によって演習を行う	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第9回 4月6日	OSCE（身体障害領域）に向けた演習 グループ間または教員の指導によって演習を行う	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第10回 4月6日	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第11回 4月6日	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第12回 4月7日	実習前オリエンテーション 実習の手引きの確認	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第13回 4月7日	実習前オリエンテーション 実習の手引きの確認	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第14回 4月7日	OSCE（身体障害領域）実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第15回 4月7日	実習前オリエンテーション 実習前実技練習	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1週 4/11-4/17	事前オリエンテーション クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。具体的な治療計画の教授、間接業務の の実行。	臨床実習教 育者 学校教員	各種教科書 配布資料	各実習施設
第2週 4/18-4/24	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 間接業務の実施。学生・教育者による経過報告書の到達度チェック（中間）と フィードバック。	臨床実習教 育者 学校教員	各種教科書 配布資料	各実習施設
第3週 4/25-5/2	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。 具体的な治療計画の教授、間接業務の実行。 学生・教育者による経過報告書の最終到達度チェックとフィードバック。	臨床実習教 育者 学校教員	各種教科書 配布資料	各実習施設

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第16回 5月6日	実習後オリエンテーション 実習書類の提出、確認	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第17回 5月6日	実習後セミナー 臨床実習の振り返り（面談、アンケート、グループディスカッション）	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第18回 5月10日	実習後 筆記試験	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第19回 5月10日	実習後 レポート課題	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第20回 5月11日	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第21回 5月11日	OSCE（身体障害領域）実施 模擬患者に対してOSCEを実施する	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第22回 5月12日	OSCE（身体障害領域）実施フィードバック OSCE実施に対し振り返りを行う	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室
第23回 5月12日	実習後 レポート課題 フィードバック	学校教員	各種教科書 配布資料	OT実習室2 装具加工室

(H29-31カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	人体構造学	1	30	講義	必修	可
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	宮下 正好	解剖学Ⅰ・解剖学Ⅱ・解剖学実習・生理学・運動学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期・後期						
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	理学療法・作業療法を行う上で必要な基礎医学の知識を習得する。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動機能：骨・関節・筋の基礎、四肢・体幹の構造と運動を学ぶ。 2. 神経・感覚：中枢神経、末梢神経、体性感覚、特殊感覚を学ぶ。 3. 植物機能：循環器、呼吸器、消化器、排泄、代謝、内分泌を学ぶ。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<ul style="list-style-type: none"> ・この授業は、解剖学・生理学・運動学の総復習を行う。 ・授業内では、最重要事項を抜粋して説明する。授業で扱う内容は確実に覚えること。 ・教科書・参考書を活用し、より深い知識の習得に努めること。 						
教科書・参考書						
<p>【教科書】国試の達人 PT・OTシリーズ2023年 運動解剖生理学編 第28版 (アイバック)</p> <p>【参考書】標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第4版 (医学書院)</p> <p>系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 (医学書院)</p> <p>基礎運動学 第6版 (医歯薬出版)</p>						
受講時留意点、その他						
<p>この授業の後期末試験は、3年間で最終の試験となる。事実上の 卒業試験 と認識すること。</p> <p>進度に応じて内容を変更することがある。任意参加の補習を実施する場合がある。</p> <p>教科書の出版は6月以降の予定。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	後期末試験100%で成績評価を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		<p>正当でない理由での欠席・遅刻などは減点の対象とする。</p> <p>無礼な行為、迷惑行為、授業中の飲食・スマートフォンの使用、授業についてのSNS等への投稿 等は減点の対象とする。</p>				
(合計)	100					

(H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 6月21日	運動機能：骨・関節・筋 骨・関節・筋の基本構造、機能を学ぶ。【KW】骨の構造・関節の構造,分類・筋の構造・筋の収縮メカニズム 他	宮下	1章・2章 3章・4章	201
第2回 6月21日	運動機能：上肢（肩甲帯・肩関節） 肩甲帯・肩関節の構造と運動を学ぶ。【KW】肩甲上腕関節・肩の靭帯・肩甲骨の運動と筋・肩の運動と筋 他	宮下	5章	201
第3回 6月28日	運動機能：上肢（肘・手・手指） 肘,前腕,手,手指の構造と運動を学ぶ。【KW】肘関節・肘角・肘の靭帯・手関節・手指の運動と筋 他	宮下	5章	201
第4回 6月28日	運動機能：下肢（骨盤・股関節） 股関節の構造と運動を学ぶ。【KW】股関節・股関節の靭帯・骨盤に付着する筋・股関節の運動と筋 他	宮下	6章	201
第5回 7月5日	運動機能：下肢（膝関節・足関節） 膝、足の運動と構造を学ぶ。【KW】膝関節・膝半月・膝の靭帯・大腿の筋と運動・足関節・足のアーチ 他	宮下	6章	201
第6回 7月5日	運動機能：顔面と体幹 顔面・体幹の運動を学ぶ。【KW】咀嚼筋・表情筋・脊柱の関節・脊柱の靭帯・体幹の運動と筋 他	宮下	7章	201
第7回 7月12日	運動機能：姿勢・歩行 立位姿勢と歩行の基礎事項を学ぶ。【KW】重心・主要姿勢筋・歩行周期・歩行率・重心移動・筋活動・床反力 他	宮下	8章・9章	201
第8回 7月12日	運動機能：力学・運動学習 バイメカニクスの基礎と運動学習を学ぶ。【KW】運動の単位・てこ・エネルギー・フィードバック・KR・動機づけ 他	内田成男 (学校長)	10章・11章	201
第9回	神経・感覚：神経生理 ニューロンの構造と伝導・伝達を学ぶ。【KW】ニューロン・神経膠細胞・神経伝達物質・神経系の構造・伸張反射 他	宮下	12章	
第10回	神経・感覚：中枢神経 中枢神経の構造と機能を学ぶ。【KW】大脳の構造・大脳の機能局在・大脳基底核・間脳・脳幹・伝導路・脳循環 他	宮下	12章	
第11回	神経・感覚：末梢神経 脳神経・脊髄神経・自律神経を学ぶ。【KW】脳神経の起始核・腕神経叢・筋と支配神経・交感神経・副交感神経 他	宮下	12章	
第12回	神経・感覚：感覚と受容器 体性感覚・特殊感覚を学ぶ。【KW】皮膚の構造・体性感覚の受容器・神経線維の分類・伝導路・筋紡錘・視覚 他	宮下	13章	
第13回	植物機能：循環系 心臓と脈管を学ぶ。【KW】心臓の構造・刺激伝導系・心臓の調節・冠状動脈・大動脈弓と分岐・静脈の合流・リンパ 他	宮下	14章	
第14回	植物機能：呼吸系 呼吸器の構造と働きを学ぶ。【KW】気管と気管支・肺・肺気量分画・呼吸の調節・ガスの運搬・酸塩基平衡 他	宮下	15章	
第15回	植物機能：消化と吸収 腹部消化管の構造と消化・吸収を学ぶ。【KW】食道・胃・小腸・大腸・胆,肝,膵・門脈・消化酵素 他	宮下	16章	
第16回	植物機能：泌尿器 尿の生成と排泄を学ぶ。【KW】ネフロン・腎小体・濾過・再吸収・膀胱・膀胱の神経支配・排泄（排尿,排便） 他	宮下	17章	
第17回	植物機能：代謝・ホルモン 基礎代謝と内分泌を学ぶ。【KW】基礎代謝・代謝当量・体温・下垂体ホルモン・甲状腺ホルモン・副腎ホルモン 他	宮下	18章・19章	
定期試験	後期末試験（第1回～第17回の範囲で行う）			

3年生(旧カリ): (H29-31カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	リハビリテーションと障害	1	30	講義	必修	可
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	内田成男/中村直人/ 野村めぐみ	臨床医学(病理学、脳神経外科学、神経内科学、内科学、精神医学、臨床心理学、整形外科学など)				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期・後期	この授業は理学療法士・作業療法士・心理学専門家が担当します。臨床および教育における実務経験を踏まえ、リハビリテーション対象疾患の要点を整理し、疾患の理解を深めることを教授して行きます。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	理学療法・作業療法の実施に必要な臨床医学等の知識を再確認し、臨床実践に活用する。					
行動目標(SBO)	以下の疾患等について、理学・作業療法を実施する上で重要事項を整理し理解する。 1. 病理学の基礎とリハビリテーション医学 2. 脳血管障害および神経・筋疾患、 3. 内科系疾患(呼吸・循環・代謝系の疾患中心) 4. 臨床心理学の基礎と精神科疾患 5. 整形外科的(運動器)疾患					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目は1、2年生で学んだ臨床医学・臨床心理学・病理学等の知識を整理し、理学療法・作業療法を実施する上で重要な事項を復習していく専門基礎科目です。前後期を通して開講しますが、かなり広範な知識を整理し習得しなければなりません。日々の積み重ねによる粘り強い学習が求められます。 重要なポイントを短絡的に覚えるだけではなく、その背景や関連事項も理解していきましょう。教科書(国試の達人:臨床医学編)の練習問題を解きながら、自己の理解不足を確認していくことが大切です。						
教科書・参考書						
教科書:国試の達人 PT・OTシリーズ2023年 臨床医学編(第24版) アイベック 前期後半の出版予定 ※病理学、内科学、臨床心理学、神経内科学、整形外科学、脳神経外科学など関連する臨床医学の指定教科書 参考書:医学大辞典およびこれらの電子辞書等(南山堂または医学書院)、関連科目の書籍等						
受講時留意点、その他						
この科目の後期末試験は、最終学年、最終の定期試験となります。 進度に応じて内容、日程を変更することがあります。 このシラバスは前期分のみです。後期分の日程、内容を含めたシラバスは、後期開始時に改めて配布します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験および後期末試験を行います。それぞれ60%以上を合格基準とします。 後期末試験は前期の範囲を含め出題し、成績評価を行います。 出題形式は多肢選択方式、マークシートの解答用紙を使用します。				
小テスト		2~3回の要点学習のための小テストを予定しています。成績評価には含めませんが、臨床実践で活用できるよう真剣に取り組んでください。				
レポート		なし				
実技試験		なし				
プレゼンテーション		なし				
その他		授業に対する迷惑行為、正当な理由のない遅刻・欠席、不適切な受講態度は、成績評価の減点ポイントとします。【注意】9回目以降の授業予定=後期の時間決定後に提示する。				
(合計)	100					

3年生(旧カリ): (H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 6月24日	コースオリエンテーション: 授業の概要と進め方 病理学① 専門用語の確認、循環障害、変性疾患、進行性疾患の基礎を理解する。【KW】感染、虚血、うっ血、変性、萎縮、壊死、肥大など	内田	教科書 第23版より	配布資料等 202
第2回 6月24日	病理学②・リハビリテーション概論 炎症と腫瘍、感染対策・リスク管理、リハビリテーション概論について理解を深める。 【KW】炎症の症状、腫瘍の分類、転移、標準的感染予防、臨床検査の意味	内田	教科書 第23版より	配布資料等 202
第3回 7月1日	中枢神経神経・筋疾患① 脳血管障害、脳性麻痺等について理解する【KW】神経症候、上位下位ニューロン、脳卒中、脳性麻痺の分類	内田	教科書 第23版より	配布資料等 202
第4回 7月1日	中枢神経・筋疾患② 変性疾患、脱髄疾患、末梢神経疾患、筋疾患などについて理解する。 【KW】錐体路・錐体外路、多発性硬化症、筋ジストロフィーなど	内田	教科書 第23版より	配布資料等 202
第5回 7月8日	一般内科① 呼吸・循環器疾患について理解する。 【KW】COPD、心不全、TAOとASOなど	内田	教科書 第23版より	配布資料等 202
第6回 7月8日	一般内科② 代謝疾患、血液疾患、消化器疾患、膠原病などについて理解する。 【KW】IDDM、NIDDM、痛風、肝炎、腎不全、RA、SLEなど	内田	教科書 第23版より	配布資料等 202
第7回 7月15日	病理学、中枢神経・筋疾患、内科疾患のまとめ① 第1～6回目までの授業の復習と模擬問題へ	内田	教科書 第23版より	配布資料等 202
第8回 7月15日	病理学、中枢神経・筋疾患、内科疾患のまとめ② 苦手分野・理解不足の確認・整理・再学習	内田	教科書 第23版より	配布資料等 202
定期試験	前期末定期試験(前期の授業範囲)			
第9回	精神医学① 精神医学領域の主な疾患について理解を深める。 【キーワード】思考障害、統合失調症、うつ病、躁病、てんかん、他	野村		
第10回	精神医学② 精神医学領域の主な疾患について理解を深める。 【キーワード】神経症、認知症、知的障害、行動症候群、中毒など	野村		
第11回	臨床心理学① 心理学領域の専門用語を確認し、防衛機制、心理検査などについて理解を深める。【キーワード】防衛機制、心理検査(知能、性格等)、心理療法など	中村直人		
第12回	臨床心理学②・人間発達学 心理学領域の基礎知識を整理し理解する。また、人間発達の基礎知識について復習する。【キーワード】障害受容、記憶、転移、学習、発達、運動発達、反射・反応など	中村直人		
第13回	整形外科① 末梢神経障害、骨折・脱臼、脊髄損傷について理解する。 【KW】Seddonの分類、骨折治癒過程、Frankel分類、ASIAなど	内田		
第14回	整形外科② RA、変形性関節症、脊柱・上肢・下肢の疾患について理解する。 【KW】RAの診断基準・Stage、根症状、先股脱など	内田		
第15回	第9～14回目までのまとめ。 病理学、リハビリテーション概論、精神医学、臨床心理学、人間発達学各領域の確認テストと解説	内田		
第16回	リハビリテーションと障害 全領域のまとめと確認	内田		
定期試験	後期末 定期試験 試験範囲＝前後期の授業範囲			

(H29-31カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	作業療法研究	2	60	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子・中村直人	情報統計科学・事例検討・臨床実習Ⅲ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期						
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	研究法の基礎を理解し、作業療法士が研究を報告する手順がわかる。					
行動目標 (SBO)	1. 臨床における研究の概論と倫理が分かる 2. 作業療法における事例報告の手順がわかる 3. リハビリテーション関連の学術論文を読んで知見を得ることができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この科目では、作業療法において新しい知見を求め、公表するための知識と技術を学びます。データを集め、報告する経験を通じて、研究の手順を理解します。授業の中ではグループによるデータ収集やディスカッションも行い、各自、レポートを提出します。臨床では、経験を学会発表や論文の形式で公表することが求められます。そのための基礎技術を学びましょう。またここ数年では、研究に関する知識は国家試験問題でも問われています。基礎的用語が理解できるようにしましょう。</p>						
教科書・参考書						
標準作業療法学 作業療法研究法 第2版 (医学書院)						
受講時留意点、その他						
この科目は通年です。提出課題により成績を判定しますので、欠席した場合は、授業内で行った課題の扱いについて、速やかに相談に来てください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	原則的に授業内にて課題を行う。提出課題を総合して成績を判定する。期限に遅れた課題は採点しない。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食・内職等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100					

(H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 6月23日	研究法総論・研究倫理 評価の位置付けと目的、研究倫理を理解する 【KW】エビデンス・インフォームドコンセント・ヘルシンキ宣言 * 作業療法士が研究を行う意義を理解する。	市村	pp12-57	108
第2回 6月30日	文献検索と文献抄読、総説的研究 文献検索の方法と総説の読み方を理解する 【KW】検索ワード・原著論文・システマティックレビュー・メタアナリシス * 課題提出：関心のある文献タイトル一覧	市村	pp69-74	108
第3回 6月30日	文献抄読演習1 事例研究の読み方を理解する 【KW】研究の目的・評価・治療経過・結果 * 課題提出：文献の要点	市村	pp69-74	108
第4回 7月13日	文献抄読演習2 実験研究の読み方を理解する 【KW】仮説、対象、実験デザイン、統計、結果の解釈 * 課題提出：文献の要点	市村	pp69-74	203
第5回 7月13日	文献抄読レポートの記載 文献抄読レポートの書き方を理解する 【KW】文献情報の記載方法、研究の要約 * 課題提出：文献抄読レポート	市村	pp69-74	203
第6回 7月14日	研究方法論総論 研究方法の種類を理解する 【KW】量的研究・質的研究・総説的研究・事例研究 * それぞれの文献を読む際に必要な知識を身につける。	市村	pp62-68,144-185	108
第7回	量的研究総論 量的研究の概要を理解する 【KW】操作、統制、無作為化、盲検化 * 龍笛研究の数値の取り扱い、分析の考え方について学ぶ。	中村	pp77-107	203
第8回	実験研究方法論 実験研究の方法を理解する 【KW】実験、準実験、非実験、群間比較研究 * 実験の条件設定、手順等で注意すべき点を学ぶ。	中村	pp98-108,186-200	203
第9回	質問紙調査方法論 質問紙調査の実施方法を理解する 【KW】標本、母集団、標本抽出 * 調査研究のうち、質問紙を用いた研究について学ぶ。	中村	pp85-97	203
第10回	実験研究 研究デザイン演習 実験研究の計画の立て方を理解する 【KW】 * 具体的な実験計画から、自分たちが研究を行う場合の注意点を学ぶ。	中村	pp35-39	203
第11回	実験研究 データ収集・分析演習 実験の実施と統計的分析の方法を理解する 【KW】 * 実験を実施してデータを収集し、統計学的に分析する。	中村	pp77-108,186-200	作業療法実習室1
第12回	実験研究 データ収集・分析演習 実験の実施と統計的分析の方法を理解する 【KW】 * 実験を実施してデータを収集し、統計学的に分析する。	中村	pp77-108,186-200	作業療法実習室1
第13回	実験研究 データ収集・分析演習 実験の実施と統計的分析の方法を理解する 【KW】 * 実験を実施してデータを収集し、統計学的に分析する。	中村	pp77-108,186-200	PC室
第14回	実験研究 データ収集・分析演習 実験の実施と統計的分析の方法を理解する 【KW】 * 実験を実施してデータを収集し、統計学的に分析する。	中村	pp77-108,186-200	PC室
第15回	実験報告書 執筆演習 実験データの分析及び報告の方法を理解する 【KW】 * 課題提出：実験データの結果分析と考察	中村	pp77-108,186-200	PC室

(H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第16回	医療統計の基礎 医学研究で用いられる統計手法を理解する 【KW】パラメトリック検定・ノンパラメトリック検定・記述統計・感度・特異度	中村	pp186-200	109
第17回	医療統計の基礎 医学研究で用いられる統計手法を理解する 【KW】パラメトリック検定・ノンパラメトリック検定・記述統計・感度・特異度	中村	pp186-200	109
第18回	研究発表の方法 学会及び論文発表の方法を理解する 【KW】報告の手続き・発表媒体のデザイン・口述原稿・論文の体裁 * 卒後に学会発表する場合を想定して、方法を理解する。	市村	pp224-226,pp.144-162	109
第10回	質的研究総論 質的研究の目的と形式、理論的背景を理解する。 【KW】グラウンデッドセオリー・エスノグラフィー・現象学・主観 * 量的研究との違いを理解する。	市村	pp201-215	109
第20回	質的研究 データ収集演習 インタビューを実施し、データ収集方法を理解する。 【KW】半構造化インタビュー・インタビューガイド * 課題提出：インタビュー結果と理論メモ	市村	pp201-215	OT実習室1
第21回	質的研究方法論 質的研究のデザイン、データ収集と分析方法を理解する。 【KW】ナラティブ・参与観察・仮説生成・コード化・カテゴリー化 * 分析手順を理解する。	市村	pp201-215	109
第22回	質的研究 データ収集演習 観察によるデータ収集の実施 【KW】切り口・観察 * 課題提出：観察データと理論メモ	市村	pp201-215	109
第23回	質的研究 分析演習 テキストデータ分析の実施 【KW】コード化・カテゴリー化・カテゴリー間の関連 * 課題提出：データ分析結果	市村	pp201-215	109
第24回	事例研究総論 事例研究の種類と方法を理解する。 【KW】事例報告・事例研究・SSD * 一般的事例研究とシングルシステムデザインの違いを理解する。	市村	pp109-136	109
第25回	事例報告抄録作成演習 日本作業療法士協会基礎研修事例報告の方法を理解する。【KW】日本作業療法士協会生涯教育制度・事例報告抄録の書式 * 日本作業療法士協会基礎研修事例報告の方法に従い、抄録を執筆する。	市村	pp109-136	PC室
第26回	事例報告抄録作成演習 日本作業療法士協会基礎研修事例報告の方法を理解する。【KW】日本作業療法士協会生涯教育制度・事例報告抄録の書式 * 日本作業療法士協会基礎研修事例報告の方法に従い、抄録を執筆する。	市村	配布資料	PC室
第27回	文献購読演習 専門知識を持って作業療法の研究論文を読む 【KW】作業療法・研究手法・臨床への貢献 * 文献を読み、発表の準備をする。	市村	配布資料	PC室
第28回	文献購読演習 文献の内容についてディスカッションを行う 【KW】作業療法・臨床への貢献・ディスカッション * 文献抄読の報告を聞きディスカッションを行う。	市村	配布資料	109
第29回	研究知識の整理 作業療法研究に関わる知識と用語を再確認する。 【KW】研究手法・エビデンスランク・統計学の基礎・質的研究方法論 * 研究法・概念の理解に重要な用語は整理し直し、覚える。	市村	配布資料	109
第30回	まとめ・研究計画立案 研究計画の立て方と開始の手続きを理解する。 【KW】研究計画書・研究同意書・倫理審査 * 臨床的疑問を研究テーマに変換して研究を開始する方法を学ぶ。	市村	p147 配布資料	109

(H29-31カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床作業療法学	2	60	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中原留美子 岡本博行 市村紋子 中村毎途 古屋亜由美 松尾祐介	各領域作業療法評価学・各領域作業療法学・同実習・リハビリテーション関連機器・義肢装具学・地域作業療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期・後期	この授業は作業療法士が担当します。様々な領域での作業療法の実務経験を基に、疾患に対する知識、作業療法評価、治療について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	作業療法評価学・治療学の総合的な知識を身につける					
行動目標(SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 作業療法の歴史と概要がわかる 2. 作業療法評価の手段と方法がわかる 3. 作業療法アプローチの手段と方法がわかる 4. 福祉機器・義肢・装具の種類と適応がわかる 5. 事例を基に作業療法評価・治療の手段と方法がわかる 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この授業では、作業療法の評価・治療全般の知識を整理し、事例をもとに評価・治療方法の選択ができるようにしていきます。授業では、学習のポイントを伝えますが、自己学習が重要となります。学習ノートを作って予習・復習を十分に行い、わからない箇所がある場合には、時間を空けずに質問してください。各領域の知識・考え方・作業療法士としての心構えを学んでください。</p>						
教科書・参考書						
<p>教科書:作業療法科学研究会編, 国試の達人 作業療法編, 株式会社アイベック(7月に最新版を購入予定) クエスチョン・バンク 作業療法士国家試験問題解説2022 専門問題(10月に購入予定)</p> <p>参考書:1・2年次に使用した教科書(各授業ごと確認)</p>						
受講時留意点、その他						
<p>臨床実習および、国家試験に繋がる基本的な考え方を学びます。各自予習・復習を心掛けてください。 この科目は通年科目です。前期に第1回から第5回を実施し、第6回から第30回を後期に実施します。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100%	後期末試験を実施します。6割以上を単位認定の目安とします。後期末試験は前期・後期の内容について行います。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100%					

(H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 7月4日	オリエンテーション	松尾		203
第2回 7月7日	作業療法評価(MMT・ROM)	松尾	作業療法評価学 (医学書院) 徒手筋力検査	108
第3回 7月7日	脳血管疾患に対する作業療法(脳血管疾患総論・脳画像)	古屋	病気が見えるVo7 脳・神経 中枢神経OT学 関連授業資料	108
第4回 7月11日	脳血管疾患に対する作業療法(身体障害・ADL)	古屋	病気が見えるVo7 脳・神経 中枢神経OT学 関連授業資料	107
第5回 7月11日	脳血管疾患に対する作業療法(身体障害・ADL)	古屋	病気が見えるVo7 脳・神経 中枢神経OT学 関連授業資料	107
第6回	脳血管疾患に対する作業療法評価(高次脳機能障害)	市村紋	病気が見えるVo7 脳・神経 高次脳機能と作業 療法	
第7回	神経筋疾患に対する作業療法	松尾	病気が見えるVo7 脳・神経 神経筋疾患OT学 関連授業資料	
第8回	神経筋疾患に対する作業療法	松尾	病気が見えるVo7 脳・神経 神経筋疾患OT学 関連授業資料	
第9回	整形外科疾患に対する作業療法	松尾	身体機能 作業療法学 身体障害OT学 関連授業資料	
第10回	整形外科疾患に対する作業療法	松尾	身体機能 作業療法学 身体障害OT学 関連授業資料	
第11回	脊髄損傷に対する作業療法	松尾	脊髄損傷マニュアル	
第12回	老年期作業療法	中村毎	地域OT学 関連授業資料	
第13回	老年期作業療法	中村毎	地域OT学 関連授業資料	
第14回	地域作業療法学	中村毎	地域OT学 関連授業資料	
第15回	作業療法概論	岡本	作業療法概論	

(H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第16回	作業療法評価学概論	市村紋	作業療法評価学	
第17回	内部疾患に対する作業療法	松尾	身体機能作業療法 学 関連授業資料	
第18回	内部疾患に対する作業療法	松尾	身体機能作業療法 学 関連授業資料	
第19回	義肢装具学	岡本	義肢装具学 関連授業資料	
第20回	義肢装具学	岡本	義肢装具学 関連授業資料	
第21回	正常発達	中原	発達障害作業療法 学 関連授業資料	
第22回	発達障害に対する作業療法	中原	発達障害作業療法 学 関連授業資料	
第23回	発達障害に対する作業療法	中原	発達障害作業療法 学 関連授業資料	
第24回	発達障害に対する作業療法(自閉症など)	中原	発達障害作業療法 学 関連授業資料	
第25回	精神疾患に対する作業療法	野村	精神障害と作業療 法 関連授業資料	
第26回	精神障害に対する作業療法	野村	精神障害と作業療 法 関連授業資料	
第27回	精神障害に対する作業療法	野村	精神障害と作業療 法 関連授業資料	
第28回	精神障害に対する作業療法	野村	精神障害と作業療 法 関連授業資料	
第29回	精神疾患に対する作業療法	野村	精神障害と作業療 法 関連授業資料	
第30回	問題演習	松尾		
定期試験				

(H29-31カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床作業療法学実習	2	60	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	岡本博行 作業療法学科教員	臨床作業療法学、事例検討 作業療法評価学実習・臨床作業療法評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次 前・後期	各教員の臨床経験を活かし、臨床現場での内容を含め教示します					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	対象者への評価から治療の流れがわかり、実行できる 身体障害・精神障害領域での評価・治療技術を身に着ける 国家試験関連問題から専門的知識を身に着ける 臨床の作業療法士より作業療法士の特異的分野について講義を受け幅広い知識を付ける					
行動目標 (SBO)	1.対象者への評価計画が立案できる 2.対象者を想定して評価が実行できる 3.実施した評価結果を口頭で報告できる 4.評価結果から対象者の障害像を整理することができる 5.評価結果から治療プランを検討できる 6.国家試験関連問題を解き、作業療法評価・作業療法介入を理解できる 7. 臨床の作業療法士より作業療法現場の講義を受け作業療法士の幅広い活躍の場を理解できる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>臨床実習前は、模擬患者に対して初期評価を実施し、その結果を報告する実技試験を行う。 各自、身体障害領域・精神障害領域での臨床実習後にも対象者を想定して初期評価の実技試験を行う。 臨床実習で必要となる評価・治療技術、評価計画立案の考え方、評価結果からの治療プランの考え方を学ぶ。実際の作業療法場面では答えが一つではないことが多く戸惑うこともあるかもしれないが、この授業では考える筋道を立てる練習をする。疑問に思うところがあれば、その場で質問し、解決するように努力をすること。 臨床実習の準備・総括として重要な科目となるため、意欲を持って取り組むこと。 国家試験関連問題を解き、作業療法士としての介入方法を身につける。 臨床で活躍されている作業療法士の活動を聞き、作業療法士としての幅広い役割について知る。</p>						
教科書・参考書						
参考図書：作業療法評価学（医学書院）、身体障害（協同医書）、FIMのてびき、ベッドサイドの神経の診かた（南光堂）、新・徒手筋力検査法 ほか 2年次までに使用した作業療法専門科目の教科書						
受講時留意点、その他						
実技確認はOSCE形式で行います。授業で配布する要綱をよく確認し、授業外の時間でもしっかり練習してください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト		国家試験関連問題を集積した小テストを実施する				
レポート	20	実技授業：毎回の授業後半に、その日に習得した技能をまとめて提出する。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	80	臨床実習前・後に行うOSCEにて採点する。				
(合計)	100					

(H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月4日	【身体障害】事例に対する評価計画立案・評価実施演習 OSCE 事例提示 【KW】脳血管障害、初期評価、問題点抽出	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	ADL室
第2回 4月4日	【精神障害】OSCE 事例演習 【KW】精神障害、初期評価、問題点抽出	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	ADL室
第3回 4月5日	【身体障害】OSCE 事例演習 【KW】脳血管障害、初期評価、問題点抽出	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	ADL室
第4回 4月5日	【身体障害】OSCE 事例演習 【KW】脳血管障害、初期評価、問題点抽出	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	ADL室
第5回 4月6日	【身体障害】OSCE (模擬患者) 実施・確認 【KW】脳血管障害、初期評価、問題点抽出	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	ADL室
第6回 4月6日	【精神障害】OSCE (模擬患者) 実施・確認 【KW】精神障害、初期評価、問題点抽出	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	ADL室
第7回 4月7日	【身体・精神】OSCE 振り返り・実技補充 【KW】問題点抽出、ゴール設定、治療計画	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	ADL室
第8回 4月7日	【身体・精神】OSCE 振り返り・実技補充 【KW】問題点抽出、ゴール設定、治療計画	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	ADL室
第9回 6月22日	【身体・精神】OSCE (模擬患者) 実施・確認 【KW】脳血管障害、精神障害、初期評価	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	OT実習室2 装具加工室
第10回 6月22日	【身体・精神】OSCE (模擬患者) 実施・確認 【KW】脳血管障害、精神障害、初期評価	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	OT実習室1
第11回 6月23日	【身体・精神】OSCE 振り返り・実技補充 【KW】問題点抽出、ゴール設定、治療計画	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	OT実習室1
第12回 6月29日	身体障害領域の事例演習 ～基本動作の動作分析と介入～ 【KW】事例・OT介入方法・治療計画	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	OT実習室1
第13回 6月29日	身体障害領域の事例演習 ～ADLに対する介入～ 【KW】事例・OT介入方法・治療計画	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	OT実習室1
第14回 7月6日	身体障害領域の事例演習 ～作業療法の治療と介入～ 【KW】事例・OT介入方法・治療計画	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	OT実習室1
第15回 7月6日	身体障害領域の事例演習 ～作業療法の治療と介入～ 【KW】事例・OT介入方法・治療計画	作業療法学 科教員	受講時に 指示する	OT実習室1

(H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第16回	<u>【身体・精神】OSCE (模擬患者) 実施・確認</u> 【KW】脳血管障害、精神障害、初期評価	作業療法学科 教員	受講時に 指示する	OT実習室2 装具加工室
第17回	<u>【身体・精神】OSCE (模擬患者) 実施・確認</u> 【KW】脳血管障害、精神障害、初期評価	作業療法学科 教員	受講時に 指示する	OT実習室2 装具加工室
第18回	<u>【身体・精神】OSCE 振り返り・実技補充</u> 【KW】問題点抽出、ゴール設定、治療計画	作業療法学科 教員	受講時に 指示する	OT実習室2 装具加工室
第19回	高次脳機能障害と作業療法士の関わり	秋山尚也 先生	受講時に 指示する	109教室
第20回	高次脳機能障害と作業療法士の関わり	秋山尚也 先生	受講時に 指示する	109教室
第21回	国家試験関連授業 脊髄損傷・神経筋疾患	松尾	受講時に 指示する	109教室
第22回	国家試験関連授業 高次脳機能障害	市村	受講時に 指示する	109教室
第23回	自動車運転と作業療法士の関わり	生田純一 先生	受講時に 指示する	109教室
第24回	自動車運転と作業療法士の関わり	生田純一 先生	受講時に 指示する	109教室
第25回	国家試験関連授業 作業療法評価法	古屋	受講時に 指示する	109教室
第26回	国家試験関連授業 義肢装具	岡本	受講時に 指示する	109教室
第27回	国家試験関連授業 画像	古屋	受講時に 指示する	109教室
第28回	国家試験関連授業 発達障害	中原	受講時に 指示する	109教室
第29回	国家試験関連授業 精神障害	中原	受講時に 指示する	109教室
第30回	国家試験関連授業 (集積問題 実施)	岡本	受講時に 指示する	109教室

(H29-31カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	事例検討	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	松尾祐介	中枢神経障害作業療法学、身体障害作業療法学、精神障害作業療法学、作業療法評価学実習、臨床作業療法学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
3年次 前期・後期	この授業は作業療法士が担当します。様々な領域での作業療法の実務経験を基に、具体的な事例の捉え方を教授し、作業療法実践についてのディスカッションを行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標(GIO)	身体障害・精神障害領域での臨床思考を身につける					
行動目標(SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 評価結果から対象者の全体像を整理することができる 2. 問題点、利点を抽出し、焦点となる作業を抽出できる 3. 適切な長期・短期目標が設定できる 4. 目標に基づいた治療プログラムをいくつか設定できる 4. 事例報告を聴講してディスカッションができる 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>事例の報告、その聴講を通し臨床実習で必要となる評価計画立案の考え方、評価結果からの治療プランの考え方を学びます。実際の作業療法場面では答えが一つではありません。この授業を通し考え方を深めていきましょう。疑問に思うところがあれば、その場で質問し、解決するようにしてください。</p>						
教科書・参考書						
2年次までに使用した作業療法専門科目の教科書						
受講時留意点、その他						
自ら考えまとめることが必要になります。積極的にディスカッションに参加し、考えを深めて下さい。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100%	第5回-第6回、第7回-第12回では実習で経験した事例の検討を行います。報告および検討後のレポートを評定します。(評価割合80%) 第13回-第15回は事例を検索し、事例についてまとめるレポートを作成します。(評価割合20%)				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100%					

(H29-31カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月4日	オリエンテーション 事例の理解と解釈(精神障害領域) キーワード: 評価のまとめ、利点・問題点の抽出、ゴール設定、治療計画	中原	身体障害領域 の教科書 授業資料	108
第2回 4月5日	事例の理解と解釈(身体障害領域) キーワード: 評価のまとめ、利点・問題点の抽出、ゴール設定、治療計画	松尾	身体障害領域 の教科書 授業資料	108
第3回 4月8日	事例報告書の記載(精神障害領域) キーワード: 評価のまとめ、利点・問題点の抽出、ゴール設定、治療計画	市村紋	身体障害領域 の教科書 授業資料	108
第4回 4月8日	事例報告書の記載(身体障害領域) キーワード: 評価のまとめ、利点・問題点の抽出、ゴール設定、治療計画	市村紋	臨床実習Ⅲ 事例報告書	108
第5回 6月21日	事例のまとめの作成① キーワード: 評価のまとめ、利点・問題点の抽出、ゴール設定、治療計画	市村紋	臨床実習Ⅲ 事例報告書	107
第6回 6月21日	事例のまとめと作成② キーワード: 評価のまとめ、利点・問題点の抽出、ゴール設定、治療計画	市村紋	臨床実習Ⅲ 事例報告書	107
第7回 6月27日	事例報告とディスカッション① キーワード: 臨床実習、利点・問題点の抽出、ゴール設定、治療計画	松尾	臨床実習Ⅲ 事例報告書	OT実習室 1
第8回 6月27日	事例報告とディスカッション② キーワード: 臨床実習、利点・問題点の抽出、ゴール設定、治療計画	松尾	身体障害領域 の教科書 授業資料	203
第9回	事例報告とディスカッション③ キーワード: 事例報告、評価・治療経過の議論	松尾		
第10回	事例報告とディスカッション④ キーワード: 事例報告、評価・治療経過の議論	松尾		
第11回	事例報告とディスカッション⑤ キーワード: 事例報告、評価・治療経過の議論	松尾		
第12回	事例報告とディスカッション⑥ キーワード: 事例報告、評価・治療経過の議論	松尾		
第13回	事例の検索と活用① キーワード: 事例報告、評価・治療経過	松尾		
第14回	事例の検索と活用② キーワード: 事例報告、評価・治療経過	松尾		
第15回	事例の検索と活用③ キーワード: 事例報告、評価・治療経過	松尾		
定期試験	レポート・プレゼンテーションでの評定とする			

(H29-31カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅲ	16	720	実習	必修	—
対象学科	担当教員					
作業療法学科	臨床実習教育者 岡本博行 市村紋子 学科教員	各領域作業療法学・作業療法実習・作業療法評価学、作業療法評価学実習、事例検討、臨床作業療法評価学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
3年次 前後期	この授業は作業療法士が担当します。医療・保健施設等の実習施設では作業療法士が講師を務め教育にあたるほか、学内では作業療法士資格を持つ専任教員が実習前後のセミナー、実習中の連絡調整等を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療・福祉従事者としての好ましい態度を身につける ・ 作業療法の思考過程や知識・技術の応用方法を吸収することができる ・ 対象者の全体像を把握できる ・ 指導を受けながら、一連の治療行為を実践することができる 					
行動目標 (SBO)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 明るさ、節度、協調性を持って他者と接することができる ・ 連絡・報告・相談ができる ・ 守秘義務を遵守できる ・ 必須、最重要の面接・観察、検査・測定技能を実践できる ・ 禁忌事項を把握し、危険を回避できる ・ 診療記録を作成、管理できる ・ カンファレンス等で報告（書面、口頭）ができる ・ 得られた事象に対してアセスメントする姿勢がある ・ 治療プログラムを立案できる ・ 臨床現場で学んだ治療技術を実践できる ・ 対象者のニーズに結びついた問題解決をはかる姿勢がある 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業療法の魅力についての伝達 ・ クリニカル・クラクシップによる臨床実践（見学⇒模倣⇒その場でのフィードバック⇒実践） ・ 間接的業務の実践（記録、報告 他） ・ 思考過程の教示（臨床実習教育者の思考過程の提示と伝授、ディスカッション、事例報告書の作成など） ・ 学生評価の実施、および評価後のフィードバック・具体的な行動目標設定 ・ 臨床実習教育者と学校教員の連携による教育の実践 <p>臨床実習教育者と専任教員とで相互に連携し、教育を行う。実習期間中、必要に応じて専任教員による実習施設訪問を行う。</p> <p><学習支援> この授業は、全時間とも学外で行います。臨床実習施設の教育者より指導を受け、実際の対象者の評価・治療を実践します。実習施設の形態により、体験する内容も多様となりますが、その施設で必要とされる作業療法士の知識・技術を体験してください。自ら学ぼうとする力、対象者を支援したいという気持ちが必要です。臨床実習教育者に相談し、助言を受けながらの授業となりますが、実習中不安なことや困ることがある場合は、学校教員にも連絡してください。</p>						
教科書・参考書						
1・2年次各科目で使用した教科書						
受講時留意点、その他						
<p>前期は2022年4月11日（月）～6月16日（木）のうち45日間、後期は7月20日（水）～9月22日（木）のうち45日間とする。日程は、施設形態・臨床実習教育者の勤務形態に応じ、臨床実習教育者の勤務日に合わせることを基本とする。</p> <p>服装は学校指定のユニフォームとする。ただし、実習施設で指定がある場合はそれに従う。体調管理に努め、施設の規則に従って感染対策をとるとともに、媒介者とならないよう留意する。発熱・感冒症状・胃腸症状等が見られる場合は、実習の可否を臨床実習教育者に相談する。インフルエンザ等感染性が高い疾患については、同居家族罹患時の対応をあらかじめ確認しておく。その他、実習施設の規則を守り、作業療法学生として適切な行動を心がける。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	100%	<p>実習中の課題および経験・関連学習の理解 20%：事例報告書・デシリポート・ポートフォリオを元に評価する。事例報告書は経験した事例1名について実習中に作成する。学校指定の書式（A4版4枚）を用いて手書きで情報をまとめる。評定の観点は、適切な書式・個人情報の保護・内容の一貫性、整合性である。学内実習での追加・修正も含めて評定する。</p> <p>臨床技能の到達度 80%：学外実習中の技能の到達度について、実習経過報告書を参照して評価する。</p> <p>実習中および終了後に確認する実習状況等を加味する場合がある。必要に応じ、学外実習後に学内にて実技の行動観察を実施し、判定材料に加味する場合がある。</p>				
(合計)	100%	評定は、作業療法学科臨床実習単位認定会議にて決定する。				

(H29-31カリキュラム)

前期

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1週 4/11-4/15	事前オリエンテーション クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。具体的な治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設
第2-4週 4/18-5/13	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。具体的な治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設
第5週 5/16-5/20	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。間接業務の実施。学生・教育者による経過報告書の到達度 チェック（中間）とフィードバック。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設
第6-8週 5/23-6/10	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。具体的な治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設
第9週 6/13-6/16	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。具体的な治療計画の教授、間接業務の実行。 学生・教育者による経過報告書の最終到達度チェックとフィードバック。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設

後期

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1週 7/20-7/26	事前オリエンテーション クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。具体的な治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設
第2-4週 7/27-8/16	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。具体的な治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設
第5週 8/17-8/23	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。間接業務の実施。学生・教育者による経過報告書の到達度 チェック（中間）とフィードバック。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設
第6-8週 8/24-9/14	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。具体的な治療計画の教授、間接業務の実行。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設
第9週 9/15-9/22	クリニカル・クラークシップによる臨床実践等。具体的な治療計画の教授、間接業務の実行。 学生・教育者による経過報告書の最終到達度チェックとフィードバック。	臨床実習 教育者 学科教員		実習施設

<実習中の連絡等について>

- ・ 万が一、遅刻・早退・欠席及び事故発生の際には、臨床実習教育者に報告・相談するとともに、速やかに学校教員に報告をすること。
- ・ デスクネットの回覧板をこまめに確認し、必ず確認ボタンを押下すること。必要に応じてコメントも記載する。
- ・ 連絡先 専門学校 富士リハビリテーション大学校

代表 TEL 0545-55-3888（平日の8:30～18:00）

実習期間用直通携帯番号（時間外）：080-6915-3888（市村紋子）

代表E-mail：otdept@fj.morishima.ac.jp

<災害発生時について>

- ・ 地震災害等警報が発令された場合には、臨床実習教育者と連絡を取り、基本的に自宅待機とする。
- ・ 台風等による警報発令時、または交通機関の不通等の際には、臨床実習教育者と連絡を取り、指示に従うとともに、通常の実習が行えない場合には、学校教員にも速やかに報告する。
- ・ 災害発生時に実習中で施設にいた場合は、臨床実習教育者の指示に従って行動する。途中帰宅等の対応となる場合は、学校教員にも速やかに報告する。
- ・ 災害発生時には、学校よりデスクネットでも通知が届く場合があるので、こまめに確認をする。デスクネット上で安否確認が行われている場合は、必ず返信し、状況を報告する。

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
基礎	スポーツ科学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	赤岩龍土、大沼賢洋	解剖学・解剖学実習・運動学・整形外科学・身体障害OT学・整形外科OT学・ボランティア活動論				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 前期	この授業はスポーツ認定理学療法士（JSPPO公認アスレティックトレーナー、JPSA公認障がい者スポーツトレーナー、JPSA公認中・上級障がい者スポーツ指導員）が担当します。医療施設やスポーツ場面、レクリエーションでの実務経験を基に、スポーツを行う人への指導やケア方法を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	スポーツにおける動作の特徴、外傷障害、応急処置、テーピングについて理解する。 障がい者スポーツについて理解を深める					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツ基本動作について知る。 2 スポーツ外傷障害の特徴を踏まえ、テーピング・バンデージの知識・技術を身につける。 3 コンデショニングについて実践できるようにする。 4 障がい者スポーツについて知る。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>スポーツは、競技レベルから一般愛好家レベルまで幅広く行われている活動です。どの競技レベルにおいても、スポーツにおける外傷・障害は、予防することが第一となります。本講義では、スポーツに関連の深い障害外傷のメカニズムを理解し、安全管理、応急処置、トレーニング方法、テーピング技術を学びます。また、障がい者スポーツについて理解を深め、PTOTとしてのサポート活動に発展するきっかけとして欲しいです。</p> <p>なお、本講義は、障がい者スポーツ協会公認初級障がい者スポーツ指導員養成必須カリキュラム11時間（全18時間）を含んでいます。</p>						
教科書・参考書						
<p>【教科書】「障がい者スポーツ指導教本」1年次購入済み 【参考図書】 基礎運動学第6版、整形外科に関する書籍、テーピングに関する書籍、スポーツ外傷障害に関する書籍 障がい者スポーツ大会 規則集1000円</p>						
受講時留意点、その他						
<p>各講義において実習ができる服装で参加すること。テーピングなど物品の取り扱いを丁寧にすること。 初級指導員認定申請には、全受講が必須となります。欠席遅刻のないように注意して下さい。 この科目の受講をもって、旧カリ(H29-31カリキュラム)の選択科目「スポーツ科学」に読み替えます。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	60	障がい者スポーツに関わる内容で、授業内で用いる視聴覚教材のまとめを作成し、授業終了時に提出。				
実技試験	40	足関節のテーピングもしくはバンデージの技術に関して、制限時間、手法、仕上がりの面で採点する。				
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/8	コースオリエンテーション・スポーツ基本動作について 本講義の目的、目標、スケジュールなどを確認、6つスポーツの基本動作について理解する。【キーワード】スポーツ基本動作・特徴	赤岩	テキスト I 章	講堂
第2回 4/15	安全管理（スポーツ傷害外傷について） スポーツ傷害・外傷および応急処置について理解する。 【キーワード】スポーツ傷害外傷・応急処置・	赤岩	テキスト I、III 章	講堂
第3回 4/22	足関節捻挫のメカニズム 足関節の構造と捻挫を生じるメカニズムについて理解する。 【キーワード】足関節・靭帯・検査方法	赤岩	資料	講堂
第4回 4/30	テーピング① 足関節捻挫に対して 足関節捻挫のテーピング固定をできるようにする。 【キーワード】足関節・捻挫・テーピング	赤岩	資料	講堂
第5回 5/13	テーピング② 足関節捻挫 足関節捻挫のバンデージをできるようにする。 【キーワード】足関節・捻挫・テーピング	赤岩	資料	講堂
第6回 5/20	テーピング③ 手関節、前腕に対して 手関節のテーピング固定をできるようにする。 【キーワード】手関節痛・内側外側上顆炎・テーピング	赤岩	資料	講堂
第7回 5/24	テーピング④ 肘関節に対して 肘関節のテーピング固定をできるようにする。 【キーワード】肘関節・内側側副靭帯損傷・テーピング	赤岩	資料	講堂
第8回 6/3	テーピング⑤ 肩関節に対して 肩関節のテーピング固定をできるようにする。 【キーワード】肩関節・脱臼・テーピング	赤岩	資料	講堂
第9回 6/7	障がい者福祉政策と障がい者スポーツ 障害者福祉政策におけるスポーツについて知る。 【キーワード】福祉政策・障がい者スポーツ・ノーマライゼーション	赤岩	テキスト I、III 章	講堂
第10回 6/17	障がい者スポーツの意義と理念① 障害者スポーツやパラリンピックについて知る。 【キーワード】アダプテッドスポーツ・障がい者スポーツ・パラリンピック	赤岩	テキスト III 章	講堂
第11回 7/1	障がい者スポーツの理念②と障がい者スポーツ指導員制度 日本障がい者スポーツ協会の取り組みと指導者育成制度について 【キーワード】障がい者スポーツの理念、指導者制度、取り組み	赤岩	テキスト III 章	講堂
第12回 6/25	全国障がい者スポーツ大会の概要 全国障がい者スポーツ大会の障がいの区分、指導法について 【キーワード】障がい者スポーツ大会、障害区分、競技指導	赤岩	テキスト VII 章	講堂
第13回 7/13	障がいの理解とスポーツ 障害の分類とスポーツレクリエーション 【キーワード】障害分類・レクリエーション・指導上の留意点	赤岩	テキスト VI 章	講堂
第14回 7/15	障がい者スポーツ体験① 障害に応じたスポーツの工夫 車椅子競技など体験を通し理解を深める。 【キーワード】車椅子操作・スラローム走行・車いす競技	赤岩	テキスト VI、VII 章	講堂
第15回 7/22	障がい者スポーツ体験② 障害に応じたスポーツの工夫 各種障がい者スポーツを体験を通し、各種競技の特性を知る。 【キーワード】ポッチャ・ゴールボール	赤岩	テキスト VI、VII 章	講堂

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	運動学Ⅱ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科	市村真樹	運動学Ⅰ・解剖学Ⅰ、Ⅱ・生理学Ⅰ、Ⅱ・基礎PT学・基礎OT学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	実際の臨床現場への知識技術の導入の例を解説します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	理学療法・作業療法の基礎知識として身体運動のメカニズムについて理解する。 人間の運動・動作・行為について運動学的思考ができるようにする。					
行動目標 (SBO)	1) 姿勢・運動・動作・行為を観察し、運動学的な表現と分析ができる。 2) 基本動作(寝返り、立ち上がり)の本質を理解し、歩行および上肢運動の特徴をとらえ、観察・分析することができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
運動学Ⅱは、運動学Ⅰで学んだ身体運動に関わる身体構造とそのメカニズムの応用編として、姿勢や運動の意味を理解し、その観察方法や解釈の仕方を学びます。これは、理学療法や作業療法の治療理論の重要な基礎となります。実際の臨床現場への知識技術の導入の例を挙げながら説明していきます。						
教科書・参考書						
教科書：PT・OTのための運動学テキスト第1版補訂版 参考書：①中村隆一・他：基礎運動学（第6版・補訂），医歯薬出版，2012。②D. A. Neumann著，嶋田・他訳：筋骨格系のキネシオロジー，医歯薬出版，③Jacquelin Perry 原著：ペリー歩行分析（原著第2版），医歯薬出版，2012。 <その他の参考図書・文献は随時講義中に紹介する>						
受講時留意点、その他						
・実際の身体運動を行うためTシャツ、膝の見えるハーフパンツを各自準備してください。 ・学習進度により授業の内容・時間割等を変更する場合には、掲示板、デスクネットなどでお知らせします。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。60%以上を合格の目安とし、至らない場合、再試験を1回行う。				
小テスト						
レポート	0	必要に応じ課題を提示します。原則として成績評価には含めませんが、著しく不良なレポートは、減点の対象となる場合もあります。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月5日	イントロダクション・姿勢 1 姿勢の基礎運動学 【キーワード】姿勢制御・システム理論・相互作用	市村真樹	P283～ 配布資料	107
第2回 4月6日	姿勢 2 姿勢の観察と支持基底 【キーワード】生理的前彎・脊柱の靱帯・重心・支持基底	市村真樹	P343～ 配布資料	107
第3回 4月14日	姿勢 3 異常姿勢と姿勢反応 【キーワード】片麻痺の異常姿勢・パーキンソン病の異常姿勢・ALSの異常姿勢	市村真樹	P343～ 配布資料	107
第4回 4月20日	寝返り 1 寝返り動作の観察 【キーワード】運動・動作・行為・動作分析・工程分析	市村真樹	P464～ 配布資料	107
第5回 4月27日	寝返り 2 寝返り動作の解釈・立ち上がり 1 立ち上がり動作の観察 【キーワード】関節運動的視点・筋活動	市村真樹	P480～ 配布資料	107
第6回 5月10日	立ち上がり 2 立ち上がり動作の解釈 【キーワード】重心・支持基底・位置エネルギー・運動エネルギー	市村真樹	P480～ 配布資料	107
第7回 5月17日	運動学習 1 運動学習の定義 【キーワード】学習・記憶・運動技能・フィードバック・KR・PK	市村真樹	P63～ 配布資料	107
第8回 5月24日	運動学習 2 運動学習の実際 【キーワード】練習課題・学習曲線・動機づけ・転移	市村真樹	P63～ 配布資料	107
第9回 6月1日	歩行 1 歩行の基礎運動学 【キーワード】健常歩行・歩行周期・歩行の条件	市村真樹	P367～ 配布資料	107
第10回 6月7日	歩行 2 健常歩行の観察 【キーワード】IC・LR・Mst・Tst・Psw・Isw・Tsw	市村真樹	P367～ 配布資料	107
第11回 6月14日	歩行 3 健常歩行の解釈 【キーワード】パッセンジャー・ロコモーター・ロッカーファンクション・骨盤の三次元的運動	市村真樹	P367～ 配布資料	107
第12回 6月21日	歩行 4 異常歩行の解釈 【キーワード】反張膝・ぶんまわし等	市村真樹	P367～ 配布資料	107
第13回 6月28日	上肢の動作 1 上肢動作の基礎運動学 【キーワード】各関節の役割と組織化・関節運動の観察・運動制御	市村真樹	配布資料	107
第14回 7月5日	上肢の動作 2 上肢動作の解釈 【キーワード】リーチと把持の協調・上肢の役割と意味・工程分析	市村真樹	配布資料	107
第15回 7月12日	まとめ	市村真樹	配布資料	107
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	運動生理学実習	1	30	実習	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中村毎途	生理学Ⅰ、生理学Ⅱ、運動学実習、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、身体障害作業療法評価学実習など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。病院等医療施設での経験を基に、作業療法に関連する運動生理学的知識を実技を通して理解します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	身体の状態を運動生理学的に理解できる					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 血圧測定の様子が理解できる 2. 骨格筋の構造と機能が理解できる 3. 人体における重心移動が理解できる 4. 歩行および基本動作を観察して運動学的に分析できる 5. 姿勢反射が理解できる 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
この科目では、運動学・生理学で学んだ知識を実習を通して深めます。関節運動、関節運動時に作用する筋などの知識がベースとなりますのでよく復習してください。また、血圧測定は臨床での評価としても用いられます。本科目では、血圧測定の様子を理解するとともに、基本的な測定方法を習得してください。						
教科書・参考書						
PT・OTのための運動学テキスト（金原出版）、標準理学療法学作業療法学 解剖学（医学書院）、標準作業療法学作業療法評価学第3版（医学書院）、系統看護学講座 解剖生理学（医学書院）						
受講時留意点、その他						
実技が多くなりますので、欠席しないように努めてください。欠席した場合は、次の授業の前日までに内容を確認し、理解できない点・提出物等の扱いで不明な点があれば、必ず教員まで確認しにきてください。頭髪、服装を整えて出席してください。実技では、学生同士でも、対象者に接しているつもりで行いましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	100	授業内に実施した内容を記載して提出する課題を出す。丁寧に記載できていること、授業にまじめに取り組んでいたことが確認できる内容であることを求める。				
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月11日	オリエンテーション・血圧測定 【KW】血圧測定の機序・血圧測定の手順 * 血圧測定の仕組みと手順を理解する	中村・松尾	解剖生理学、 作業療法評価学、配布資料	OT実習室2・装具加工室*ストップウォッチ
第2回 4月11日	血圧測定 【KW】血圧計の取り扱い・測定値の読み取り * 水銀レス血圧計での血圧測定ができるようになる	中村・松尾	作業療法評価学、配布資料	OT実習室2・装具加工室*ストップウォッチ
第3回 4月14日	運動によるバイタルサインの変化 運動負荷による血圧・脈拍数の変化を測定する 【KW】運動負荷、血圧、脈拍	中村	解剖生理学	OT実習室2・装具加工室*ストップウォッチ
第4回 4月20日	骨格筋の理解1 骨格筋の神経支配について理解する 【KW】神経支配、筋収縮	中村	運動学 pp30-36	OT実習室2・装具加工室
第5回 4月27日	骨格筋の理解2 筋収縮の様態の違いを理解する 【KW】求心性収縮、遠心性収縮、静止収縮	中村	運動学 pp531-539	OT実習室2・装具加工室
第6回 5月9日	姿勢の観察 姿勢の観察ポイントを理解する 【KW】ランドマークの観察、重心線	中村	運動学 pp307-308,342-344	講堂
第7回 5月16日	バランス反応(平衡反応)の観察 成人で見られる姿勢の反応を理解する 【KW】パラシュート反応、防御反応、傾斜反応	中村	作業療法評価学	OT実習室2・装具加工室
第8回 5月25日	重心と支持基底 動作における重心移動の理解 【KW】重心、重心移動、支持基底	中村	運動学 pp341-351	OT実習室2・装具加工室
第9回 6月8日	動作観察：粗大動作 粗大な動作を運動学的に分析する 【KW】動作の相、関節運動の観察	中村	運動学 pp85-91, 475-480	OT実習室2・装具加工室
第10回 6月8日	動作観察：上肢の動作1 リーチ動作を観察して運動学的に分析する 【KW】リーチ、リーチ中の関節の役割、運動方向の観察	中村	運動学 pp85-91、配布資料	OT実習室2・装具加工室
第11回 6月15日	動作観察：手指の動きと把持 手指の様々な形態を観察する 【KW】把持、手の構え、つまみの分類、手の動きと形	中村	運動学 pp159-162、配布資料	OT実習室2・装具加工室*物品
第12回 6月22日	ADLと関節可動域 ADL動作における上肢の関節可動域を検証する 【KW】ADL,関節可動域、肩関節、肘関節	中村・松尾	運動学p126, pp134-135	OT実習室2・装具加工室*ゴニオメーター
第13回 6月29日	歩行 歩行周期と筋活動を理解する 【KW】歩行周期、遊脚相、立脚相、関節角度変化、筋活動	中村	運動学 pp365-376	OT実習室2・装具加工室*ゴニオメーター、スマートフォン
第14回 7月6日	運動学習 運動学習の理論を理解する 【KW】結果の知識、メンタルプラクティス	中村	運動学 pp60-82	OT実習室2・装具加工室
第15回 7月13日	本科目のまとめ 本科目で学んだ内容を理解する	中村	科目全体のテキスト、配布資料	107
定期試験	なし			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	内科学 I	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	鈴木 淳 (非常勤)	解剖学 I、生理学 II、病理学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 * 実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授業目標 * 詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	内科学における症候学、診断、治療を理解する					
行動目標 (SBO)	血液・造血器疾患、代謝性疾患、内分泌系疾患、腎・泌尿器系疾患 等					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
医学の中心的学問である。内科学における症候学、診断、治療を理解するとともに、リハビリテーション専門職として理学・作業療法の実践やリスク管理に必要な知識を習得する。内科学の思考過程を理解するとともにリハビリテーション学との関連性について理解する。						
教科書・参考書						
【教科書】標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 内科学 第4版。(医学書院)						
受講時留意点、その他						
前期、毎週金曜日の3時限目に開講します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/8	血液・造血器疾患①	鈴木		講堂
第2回 4/15	血液・造血器疾患②	鈴木		講堂
第3回 4/22	感染症疾患①	鈴木		講堂
第4回 5/6	感染症疾患②	鈴木		講堂
第5回 5/13	代謝性疾患①	鈴木		講堂
第6回 5/20	代謝性疾患②	鈴木		講堂
第7回 6/3	内分泌系疾患①	鈴木		講堂
第8回 6/10	内分泌系疾患②	鈴木		講堂
第9回 6/17	腎・泌尿器疾患①	鈴木		講堂
第10回 6/24	腎・泌尿器疾患①	鈴木		講堂
第11回 7/1	RA	鈴木		講堂
第12回 7/8	RA以外の膠原病・アレルギー疾患・免疫不全①	鈴木		講堂
第13回 7/15	RA以外の膠原病・アレルギー疾患・免疫不全②	鈴木		講堂
第14回 7/22	中毒および環境要因による疾患・皮膚疾患	鈴木		講堂
第15回 7/22	内科疾患とリハビリテーション、第1回～第14回の復習 等	専任教員		講堂
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	神経内科学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	井上 聖啓・内田 成男	解剖学Ⅱ、生理学、脳神経外科学 等				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。 第1回・第14回・第15回は内田学校長（理学療法士）が担当します。医療機関での理学療法の経験を基に、リハビリテーションと関連の深い部分について授業します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	神経症候および主な神経疾患の病態と診断、治療について理解を深め、対象疾患に対する評価法と基本的なリハビリテーション治療への理解を深めることを目標としている。					
行動目標 (SBO)	以下の事項を行動目標とする。 1) 神経系の機能解剖について説明できる。 2) 主な神経学的検査法を理解し、実践できる。 3) 主要な神経症候を理解し説明できる。 4) 主要な神経・筋疾患について理解する。 5) 主要な神経・筋疾患のリハについて考えることができる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
理学療法（士）・作業療法（士）の対象疾患として、神経・筋疾患は重要な疾患群であり、適切な理学療法、作業療法を実践するためには、これらの疾患群に対する十分な知識が求められます。 理解を深めるためには、神経系、特に中枢神経系の機能解剖と主な疾患の関係性を踏まえて学習を進めてください。また、実際の症候がどのような意味を持つのかを考えながら、主要な神経疾患の特徴を把握できるようにしましょう。分からないことは積極的に質問できるようにしましょう。						
教科書・参考書						
【教科書】①川平 和美（編）：標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 神経内科学 第5版，医学書院，2019 ②医療情報科学研究所：病気がみえるvol17.脳・神経 第2版，メディックメディア，2017						
受講時留意点、その他						
積極的な受講態度で授業に臨んでください。教科書を中心にしっかりと予習・復習をしてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	授業に対する迷惑行為、正当でない理由での遅刻・欠席、無礼な受講態度 などは減点の対象とすることがあります。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 5月26日	コースオリエンテーションと中枢神経系の機能解剖 授業の目標と進め方、中枢神経系の機能解剖および可塑性について理解する。 【キーワード】中枢神経系、伝導路、脳血管系、情報処理、可塑性	内田	教科書① p5-31	107・8
第2回 5月30日	神経学的診断法：神経学的診察と障害、画像診断、神経生理学的検査法などの要点を学ぶ。【KW】髄膜刺激症状、反射、協調運動、CTとMRIの特徴、神経伝導検査、筋電図、血液生化学検査など	井上	p35-66	107・8
第3回 5月30日	神経症候学①：意識障害、頭痛・めまい、運動麻痺、筋萎縮・他の概要を学ぶ。 【KW】傾眠～昏睡、JCS・GCS、運動麻痺、筋緊張（痙縮と固縮）・他	井上	p71-88	107・8
第4回 5月31日	神経症候学②：錐体外路症候、不随意運動、運動失調、感覚障害の概要を学ぶ。 【KW】錐体外路徴候、運動失調（脊髄性、小脳性など）、特殊感覚、体性感覚（表在・深部）、他	井上	p89-106	講堂
第5回 5月31日	神経症候学③：高次脳機能＝失語症・失認の概要を学ぶ。 【KW】失語症、失語症の分類（Broca失語・Wernicke失語・他）、半側空間無視、身体失認、他	井上	p107-128	講堂
第6回 6月9日	神経症候学④：高次脳機能＝失行、記憶障害の概要を学ぶ。 【KW】肢節運動失行、観念運動失行、観念失行、注意、記憶の分類、健忘など	井上	p129-142	講堂
第7回 6月9日	神経症候学⑤：高次脳機能＝注意・遂行機能、構音・嚥下障害の概要を学ぶ。 【KW】注意、遂行機能、構音障害、嚥下の相、球麻痺、仮性球麻痺など	井上	p143-163	講堂
第8回 6月10日	各論① 脳血管障害の病態、分類、診断について学ぶ。 【KW】NINDSⅢ分類、脳梗塞・脳出血・くも膜下出血、主要症状、画像診断、他	井上	p173-184	講堂
第9回 6月10日	各論② 脳血管障害の医学的治療、認知症の概要、診断、治療について学ぶ。 【KW】脳卒中の急性期治療と合併症、認知症鑑別診断、周辺症状、認知症の治療、Alzheimer病、他	井上	p184-223	講堂
第10回 6月17日	確認と復習Ⅰ：第1回～9回までの講義のまとめ・重要事項の確認、 質疑応答を含めた総合討論。（まとめ）	内田	p5-223	講堂
第11回 6月23日	各論③ 変性疾患・脱髄疾患・錐体外路の変性疾患（PD）について学ぶ。 【キーワード】4大徴候、自律神経障害、Hoehn and Yahr重症度分類、薬物療法、症候性パーキンソニズム、他	井上	p253-274	講堂
第12回 6月23日	各論④ 主要な筋疾患について学ぶ。 【KW】筋ジストロフィー（特にDuchenn型）、重症筋無力症、多発性筋炎、他	井上	p288-301	講堂
第13回 6月24日	各論⑤ 感染性疾患、中毒・栄養欠乏による神経疾患について学ぶ。 【KW】髄膜炎、脳炎、クロイツフェルト-ヤコブ病、HAM、HIV、ポリオ、中毒性疾患、ウェルニッケ脳症、他	井上	p302-315	講堂
第14回 6月24日	各論⑥ 小児神経疾患：脳性麻痺、二分脊椎、排尿障害等について学ぶ。 【KW】脳性麻痺の原因、診断、分類、二分脊椎の主要症状、Down症、排尿のメカニズム、神経因性膀胱、他	井上	①p316-336 p351-355	講堂
第15回 7月1日	確認と復習Ⅱ：第11回～14回を中心に科目全体のまとめ・重要事項の確認、 質疑応答を含めた総合討論。（まとめ）	内田	p5-355	講堂
定期試験 7月7日				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	整形外科学 I	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	福塚 邦太郎 (非常勤)	解剖学Ⅱ、整形外科学Ⅱ (ほか)				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	整形外科の概論、検査、治療法を学習する。					
行動目標 (SBO)	検査法、治療法、炎症性疾患、代謝・内分泌疾患 等					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
整形外科の概論を理解するとともに、検査 (画像含む)、治療法 (保存的、手術、薬物) 等の概略を学習する。また、疾患ごとの各論を学び、臨床に即した知識の整理をする。						
教科書・参考書						
【教科書】標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 整形外科学 第4版, (医学書院)						
受講時留意点、その他						
前期、毎週水曜日4時限目に開講します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/6	整形外科基礎知識	福塚		講堂
第2回 4/13	運動器の評価および検査法	福塚		講堂
第3回 4/20	整形外科的治療法	福塚		講堂
第4回 4/27	炎症性疾患(感染・関節リウマチ等)	福塚		講堂
第5回 5/11	代謝・内分泌性疾患	福塚		講堂
第6回 5/18	退行性疾患 (変形性関節症)	福塚		講堂
第7回 5/25	先天性骨・関節疾患・骨端症	福塚		講堂
第8回 6/1	循環障害と壊死性疾患	福塚		講堂
第9回 6/8	骨・軟部腫瘍	福塚		講堂
第10回 6/15	神経・筋疾患	福塚		講堂
第11回 6/22	脊椎の疾患①	福塚		講堂
第12回 6/29	脊椎の疾患②	福塚		講堂
第13回 7/6	脊髄損傷	福塚		講堂
第14回 7/13	切断および離断	福塚		講堂
第15回 7/20	総合演習	福塚		講堂
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	小児科学	1	15	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	佐藤 博美 (非常勤)	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、生理学、病理学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	理学療法および作業療法の臨床に必要な小児疾患の基礎知識を習得する。					
行動目標 (SBO)	新生児・未熟児疾患、先天異常、神経疾患 ほか					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
理学および作業療法の臨床に必要な、小児の成長と発達、小児保健、新生児・未熟児・小児期の疾患に対する基礎知識を習得する。 授業方法は、教科書、配布資料を基にした講義、ワークを予定。						
教科書・参考書						
【教科書】標準理学療法学・作業療法学 小児科学 第5版. (医学書院)						
受講時留意点、その他						
前期、木曜日 1限に開講します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/7	小児科学概要・診断と治療の概要	佐藤		講堂
第2回 4/14	新生児・未熟児疾患	佐藤		講堂
第3回 4/28	先天異常と遺伝病	佐藤		講堂
第4回 5/12	神経疾患 (1)	佐藤		講堂
第5回 5/26	神経疾患 (2)	佐藤		講堂
第6回 6/2	神経疾患 (3)、筋・骨疾患	佐藤		講堂
第7回 6/9	心身症・神経症・発達障害・重症心身障害児	佐藤		講堂
第8回 6/16	呼吸器疾患・循環器疾患	佐藤		講堂
第9回 6/23	感染症	佐藤		講堂
第10回 6/30	消化器疾患、内分泌・代謝疾患	佐藤		講堂
第11回 7/7	免疫・アレルギー疾患、膠原病、血液疾患	佐藤		講堂
第12回 7/14	腎・泌尿器・生殖器疾患、腫瘍性疾患、眼科・耳鼻科的疾患	佐藤		講堂
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	精神医学Ⅱ	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
理学療法学科 作業療法学科	望月 美和	精神医学Ⅰ ほか				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	担当教員は医師です。医療機関での診療業務の経験を基に授業を行います。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	精神医学における症候学、診断、治療を理解する。					
行動目標 (SBO)	脳器質性精神障害、統合失調症 ほか					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
精神医学における症候学、診断、治療を理解し、理学療法・作業療法との関連性の理解を深める。特に教科書の第1章～第9章までを学ぶ。						
教科書・参考書						
上野武治／編：標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 精神医学 第4版、医学書院						
受講時留意点、その他						
前期、木曜日3・4限に開講します。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での欠席、不真面目な受講態度などは減点とする場合がある。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4/7	精神医学とは 精神障害の成因と分類	望月先生		講堂
第2回 4/7	精神機能の障害と精神症状 精神障害の診断と評価	望月先生		講堂
第3回 4/21	脳器質性精神障害	望月先生		講堂
第4回 4/21	脳器質性精神障害	望月先生		講堂
第5回 5/19	脳器質性精神障害	望月先生		講堂
第6回 5/19	脳器質性精神障害	望月先生		講堂
第7回 6/2	症候性精神障害	望月先生		講堂
第8回 6/2	精神作用物質による精神及び行動の障害	望月先生		講堂
第9回 6/16	精神作用物質による精神及び行動の障害	望月先生		講堂
第10回 6/16	てんかん	望月先生		講堂
第11回 7/7	統合失調症およびその関連障害	望月先生		講堂
第12回 7/7	統合失調症およびその関連障害	望月先生		講堂
第13回 7/21 2限	統合失調症およびその関連障害	望月先生		講堂
第14回 7/21 3限	統合失調症およびその関連障害	望月先生		講堂
第15回 7/21 4限	国家試験問題について	望月先生		講堂
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	身体障害作業療法評価学	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子	運動学 I・II、身体障害作業療法評価学実習、中枢神経障害作業療法学・実習、整形外科疾患作業療法学、臨床実習、他				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。病院等医療施設での経験を基に、身体障害領域で様々な疾患に共通して用いられる基本的な評価を教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	身体障害領域で広く使われる検査及び評価の方法を理解する					
行動目標 (SBO)	1.身体障害領域の作業療法で用いる評価を挙げられる。 2.身体障害領域で共通して用いる検査・評価の実施方法と結果の解釈が理解できる。 3.身体障害領域の作業療法評価計画立案の方法がわかる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>この科目では、疾患・障害を問わず身体障害領域でよく用いられる評価方法を学びます。身体障害領域の各論講義すべての基礎となる授業ですので、十分に理解してください。講義を中心として、一部、実技を交えながら行います。徒手筋力検査法の実技は「作業療法評価学実習」で主に行いますので、本科目で基礎知識を理解して臨んでください。</p>						
教科書・参考書						
教科書：標準作業療法学 作業療法評価学 第3版(医学書院)、新・徒手筋力検査法(第10版)、配布資料 参考図書：PT・OTのための運動学テキスト(金原出版)						
受講時留意点、その他						
欠席した場合はほかの受講生に内容を確認し、不明な点は次回までに担当教員に質問してください。 運動・解剖・生理学の予習(1年次の復習)項目をお知らせしますので、基礎知識を確認して受講してください。実技を行う際には、被験者への敬意を持って接し、感染対策に努めてください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	前期末試験を行う。60点以上が合格の基準点である。試験範囲は、第1回から第15回の講義及び、参照した教科書の記載内容である。				
小テスト	0	単元終了ごとに、各自の理解度を確認する目的で実施する。成績には含めない。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他	*	正当でない理由での遅刻・欠席、授業中の居眠り・携帯電話の使用・飲食等、被験者への敬意に欠く態度など、不適切な行為をした場合、減点の対象とする。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月12日	オリエンテーション・バイタルサインの測定 作業療法におけるバイタルサインの評価の意義を理解する 【KW】血圧測定・脈拍計測・呼吸の評価	市村	pp3-19,53-58	OT実習室2・装具加工室/ゴニオメーター
第2回 4月12日	関節可動域測定 病的な関節可動域の評価を理解する 【KW】関節運動の種類・関節可動域制限の種類・拘縮の機序・関節可動域測定の基礎	市村	pp72-95	OT実習室2・装具加工室/ゴニオメーター
第3回 4月20日	筋力評価 筋力評価の基礎とMMTの検査法を理解する 【KW】筋力の定義・MMT * 事前に、筋の起始停止を復習しておく	市村	pp96-111 MMT	OT実習室2・装具加工室
第4回 4月26日	知覚の評価 知覚機能の基礎と知覚の障害【KW】感覚の種類・感覚受容器・知覚検査の目的・知覚障害を起こす疾患 * 事前に、上行性伝導路、感覚の種類を復習しておく。	市村	pp114-120 解剖生理学	OT実習室2・装具加工室
第5回 5月13日	知覚の評価 知覚検査の実際（講義と実技） 【KW】SWM, 防御知覚検査、深部覚検査 * 各知覚障害の検査が実施できるよう復習する	市村	pp120-128	OT実習室2・装具加工室
第6回 5月17日	知覚の評価・筋緊張評価 知覚検査の実際（講義と実技）と筋緊張の基礎 【KW】複合知覚検査・筋緊張・深部腱反射・αγ連関・I b抑制 * 事前に、深部腱反射（運動学）の復習をしておく。	市村	pp120-128, 130-138, 151-159	OT実習室2・装具加工室/ｽﾄｯﾌﾟｸﾞﾗﾌﾞ
第7回 5月20日	反射検査・筋緊張評価 反射検査（講義と実技）と筋緊張評価【KW】腱反射検査・病的反射検査・MAS* 病的反射と筋緊張評価の方法を覚える。腱反射検査が実施できるよう復習する。	市村	pp130-138, 151-159	OT実習室2・装具加工室/打腿器
第8回 5月24日	上肢機能評価 上肢機能の基礎と評価の概要・代表的な検査を理解する【KW】上肢機能とは・リーチと把持の観察・検査の種類 * 事前に、上肢の運動学を復習しておく。	市村	pp204-212	OT実習室2・装具加工室
第9回 6月3日	上肢機能評価 STEF,MAL,MFTの検査方法を理解する（講義と実技）【KW】STEF,MAL,MFT * STEF,MALの検査の実施と結果の解釈ができるよう復習する	市村	pp204-212	OT実習室2・装具加工室/ｽﾄｯﾌﾟｸﾞﾗﾌﾞ
第10回 6月8日	姿勢反射とバランス機能の評価 姿勢反射およびバランス保持の機構を理解する 【KW】姿勢反射・姿勢制御システム・バランスとは * 事前に、姿勢反射と姿勢制御システムの運動学を復習しておく。	市村	pp138-150,運動学テキスト	OT実習室2・装具加工室
第11回 6月15日	姿勢反射とバランス機能の評価 姿勢反射検査とバランスの評価方法を理解する 【KW】立ち直り反応・平衡反応・重心移動・観察・TUG・FR * 自発的の重心移動によるバランス評価が行えるよう復習する。	市村	pp138-150,運動学テキスト	OT実習室2・装具加工室
第12回 6月21日	協調性の評価 失調症状と協調性評価の方法を理解する（講義と実技） 【KW】協調運動障害・協調性検査・ロンベルグ徴候 * 事前に、小脳の機能を復習しておく。症状と検査名を覚える。	市村	pp160-167	OT実習室2・装具加工室
第13回 6月28日	認知機能の評価 認知機能の基礎と認知症スクリーニング検査（講義と実技） 【KW】認知機能とは・中核症状・周辺症状・HDS-R・MMSE * HDS-RとMMSEの特徴・検査方法・判定方法を覚える	市村	pp446-448	OT実習室2・装具加工室
第14回 7月5日	認知機能の評価 全般的認知機能の検査を理解する（講義と実技） 【KW】コース立方体組み合わせテスト・WAISⅢ * コース立方体組み合わせテストの実施方法と目的を理解する	市村	pp446-448	OT実習室2・装具加工室/ｽﾄｯﾌﾟｸﾞﾗﾌﾞ
第15回 7月12日	評価項目の選択と評価計画立案 評価の選択と結果の解釈を理解する 【KW】評価法の対象・評価の目的・評価結果の解釈・ゴール設定 * 対象者の疾患と状態に応じた評価の選択方法を復習する。	市村	pp13-19	OT実習室2・装具加工室
定期試験	前期末試験			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	身体障害作業療法評価学実習	2	60	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	市村紋子 松尾祐介 古屋亜由美	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、解剖学実習Ⅰ、解剖学実習Ⅱ、運動学Ⅰ、運動学Ⅱ、作業療法評価学、身体障害作業療法評価学、臨床実習など				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。様々な領域での作業療法の実務経験を基に、身体障害領域において一般的に使用される作業療法評価技術について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	身体障害領域で用いる基礎的な評価の技術を確実に身に付ける					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者を想定して、血圧測定ができる 2. 対象者を想定して、関節可動域測定ができる 3. 対象者を想定して、徒手筋力検査法による筋力測定ができる 4. 対象者を想定して一般的なコミュニケーションをとることができる 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>身体障害領域の作業療法でよく用いられる血圧測定、関節可動域測定、徒手筋力検査法の基本的な実施方法を学ぶとともに、対象者を想定して実施できることを目的とします。各技法は実技確認も行いますので、授業で学んだことをよく練習してください。</p>						
教科書・参考書						
教科書 : 標準作業療法学 作業療法評価学 第3版 (医学書院) 新徒手筋力検査法 (第10版) (協同医書出版)						
参考書 : PT・OTのための運動学テキスト (金原出版株式会社) ほか (授業で指示します)						
受講時留意点、その他						
<p>実技が多くなりますので、欠席しないように努めてください。 欠席した場合は、次の授業の前日までに内容を確認し、理解できない点・提出物等の扱いで不明な点があれば、必ず教員まで確認しにきてください。頭髪、服装を整えて出席してください。実技では、学生同士でも、対象者に接しているつもりで行ってください。実技は確実に習得できるよう、空き時間を利用して積極的に練習してください。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト						
レポート	20%	第16回～第18回「コミュニケーション技法」のレポート提出を行い、評価に含める。				
実技試験	80%	3回の実技確認を行い、評価に含める。 1)血圧測定 (20%) 2)関節可動域測定 (30%) 3)徒手筋力検査法 (30%)				
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100%					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月12日	授業オリエンテーション 関節可動域測定 概論・肩関節 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	市村紋 古屋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第2回 4月12日	関節可動域測定 肩関節 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	市村紋 古屋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第3回 4月14日	関節可動域測定 肘関節・前腕 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	古屋 市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第4回 4月14日	関節可動域測定 手関節・母指・手指 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	古屋 市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第5回 4月19日	関節可動域測定 股関節 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	古屋 市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第6回 4月19日	関節可動域測定 膝関節・足関節 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	古屋 市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第7回 4月26日	関節可動域測定 頸部・肩甲帯 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	古屋 市村紋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第8回 4月26日	関節可動域測定 体幹 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	市村紋 古屋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第9回 4月26日	関節可動域測定 全体 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	市村紋 古屋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第10回 4月28日	関節可動域測定：応用的測定方法	市村紋 古屋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第11回 4月28日	関節可動域測定：応用的測定方法	市村紋 古屋	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第12回 5月10日	関節可動域測定 実技確認 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	市村紋 古屋 松尾	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第13回 5月10日	関節可動域測定 実技確認 【KW】：関節の構造、関節可動域、他動運動、関節可動域測定	市村紋 古屋 松尾	作業療法評価学 p72-95	OT実習室 2 装具加工室
第14回 5月16日	コミュニケーション技法演習 対象者に対し情報収集や関係性を築く面接技術を身につける	松尾 古屋	作業療法評価学 p36-52	OT実習室 2 装具加工室
第15回 5月16日	コミュニケーション技法演習 対象者に対し情報収集や関係性を築く面接技術を身につける	松尾 古屋	作業療法評価学 p36-52	OT実習室 2 装具加工室

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第16回 5月23日	コミュニケーション技法と記録 対象者に対し情報収集や関係性を築く面接技術を身につける	松尾 古屋	作業療法評価学 p36-52	OT実習室 2 装具加工室
第17回 5月31日	バイタルサインの測定と意識障害の評価 【KW】：血圧測定	市村 古屋	作業療法評価学 p53-64	OT実習室 2 装具加工室
第18回 6月7日	血圧測定 実技確認	市村 古屋	作業療法評価学 p53-64	OT実習室 2 装具加工室
第19回 6月14日	MMT 測定の基本 新・徒手筋力検査の実技、習得	松尾 古屋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第20回 6月14日	MMT (肩甲帯) 新・徒手筋力検査の実技、習得	松尾 古屋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第21回 6月21日	MMT (上肢筋) 新・徒手筋力検査の実技、習得	古屋 松尾	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第22回 6月21日	MMT (上肢筋) 新・徒手筋力検査の実技、習得	古屋 松尾	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第23回 6月28日	MMT (上肢筋) 新・徒手筋力検査の実技、習得	古屋 松尾	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第24回 6月28日	MMT (手指) 新・徒手筋力検査の実技、習得	古屋 松尾	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第25回 7月5日	MMT (手指) 新・徒手筋力検査の実技、習得	古屋 松尾	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第26回 7月5日	MMT (下肢筋) 新・徒手筋力検査の実技、習得	松尾 古屋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第27回 7月12日	MMT実技確認 新・徒手筋力検査の実技、習得	松尾 古屋 市村紋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第28回 7月12日	MMT実技確認 新・徒手筋力検査の実技、習得	松尾 古屋 市村紋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第29回 7月19日	MMT (下肢筋・体幹筋) 新・徒手筋力検査の実技、習得	松尾 古屋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
第30回 7月19日	MMT (体幹筋) 新・徒手筋力検査の実技、習得	松尾 古屋	新徒手筋力 検査法	OT実習室 2 装具加工室
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	発達障害作業療法評価学	1	30	講義	必修	-
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中原留美子	人間発達学・小児科学・作業療法評価学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています					
2年次 前期	この科目は肢体不自由児施設・相談業務などの臨床経験を基に作業療法士が担当します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回の授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	発達障害領域における作業療法評価の流れ・目的・方法を説明できる。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 発達障害の作業療法の対象について述べるができる。 2. 子どもの発達段階を説明できる。 3. 姿勢反射の発現時期・誘発方法・判定について説明できる。 4. 子どもの遊びについて説明することができる。 5. 発達障害領域の作業療法評価の方法と目的を説明できる。 6. 発達検査の種類と検査名、対象年齢を説明できる。 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>発達障害領域の作業療法においては、正常発達の理解が必須となります。発達障害作業療法の対象は多岐にわたります。発達の十分な理解から、こどもの課題が見えてきます。この科目では、映像教材を用いながら、年齢の特徴を捉え、こどもの発達、こどもの作業を理解します。また、作業療法で用いる評価方法とその目的を学びます。</p>						
教科書・参考書						
<p>教科書：第1回～13回 ①標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 人間発達学 第2版 岩崎清隆著，医学書院，2017 第14回～15回 ②標準作業療法学 専門分野 作業療法評価学 第3版 能登真一他編，医学書院，2017</p>						
受講時留意点、その他						
<p>講義と演習が中心となります。乳幼児のイメージを映像でできるようになると理解しやすいと思います。また、自らの体を動かし学び、グループでディスカッションする機会があります。積極的に自分から授業内で習得するように学んでください。持ち物、服装について、授業内・掲示板でお知らせすることがあります。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	第1～15回が範囲となります。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他		授業中の居眠りやグループワークへの非協力的態度など不適切な行動は減点の対象となります。また、積極的かつ建設的な質問や意見は加点の対象とします。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4/4	オリエンテーション・発達障害の作業療法 発達障害の定義・作業療法の目的等を理解する。【KW】定義・作業療法の目的・歴史・発達概念	中原	①p.3-19	
第2回 4/4	胎児から乳幼児の発達の捉え方 胎児から乳幼児までの発達全般をどのように捉えるかを理解する。【KW】発育・補正年齢・個人差 * 胎児からの成長の確認と個人差を理解しましょう。	中原	①p.229-283	
第3回 4/8	認知機能とことばの発達 認知機能の発達について理解する。 【KW】ピアジェ・感覚運動段階 (0～2歳) * ピアジェの感覚運動段階6段階を説明できるようにしましょう。	中原	①p.80-91	
第4回 4/18	認知機能とことばの発達 認知機能の発達について理解する。 【KW】ピアジェ・前操作的段階・具体的操作段階・形式的操作段階 * 幼児期・学童時期の認知機能を説明できるようにしましょう。	中原	①p.91-141	
第5回 4/25	姿勢反射・反応 姿勢反射・反応の誘発方法と検査結果を理解する。 【KW】姿勢反射・誘発方法・検査結果 * 配布資料をしっかりと読んでください。	中原	配布資料	OT実習室 2・装具加工室
第6回 5/9	歩行までの運動発達 運動の発達経過と姿勢反射・反応の出現の関係を理解する。【KW】運動発達・マイルストーン・姿勢反射 * 運動発達の順序と姿勢反射との関係を理解しましょう。	中原	①p.23-43	
第7回 5/16	幼児の運動発達 歩行獲得後の運動発達を理解する。 【KW】片足立ち・階段昇降・両足飛び降り・立ち幅跳び・ケンケン * 教科書から運動変化を抜粋し、○歳で何ができるかを理解しましょう。	中原	①p.23-43	
第8回 5/23	上肢機能の発達 上肢機能の発達について理解する。 【KW】上肢機能と関連する機能・上肢機能の基本動作①～③ * 上肢機能の基本動作の種類と発達過程を覚えましょう。	中原	①p.47-61 p.71-77	
第9回 5/30	上肢機能の発達 上肢機能の発達について理解する。 【KW】上肢機能と関連する機能・上肢機能の基本動作④～⑧ * 上肢機能の基本動作の種類と発達過程を覚えましょう。	中原	①p.61-71 p.71-77	
第10回 6/6	摂食機能と食事動作の発達 摂食機能と食事動作の発達について理解する。【KW】摂食機能・食事動作 * スプーンや箸、コップの操作などの発達を説明できるようにしましょう。	中原	① p.154～167	
第11回 6/13	排泄と更衣の発達 排泄機能と排泄動作、更衣動作の発達について理解する。【KW】排泄機能・排泄動作・更衣動作 * 機能的発達の理解と排泄と更衣の発達を説明できるようにしましょう。	中原	① p.169～187	
第12回 6/20	遊びの発達① 遊びの発達について理解する。 【KW】遊びの分類・子どもの作業・模倣・構成的遊び * 子どもの遊びの発達を調べながら、理解していきましょう。	中原	① p.188～211	
第13回 6/27	遊びの発達② 遊びの発達について理解する。 【KW】子どもの作業・模倣・構成的遊び * 子どもの遊びの発達を調べながら、理解していきましょう。	中原	① p.188～211	
第14回 7/11	発達検査① 発達検査の目的と方法を理解し、検査を実施する。 【KW】DENVER II、遠城寺乳幼児分析的発達検査法 他 * 実際の検査を実施しながら、目的と方法を理解しましょう。	中原	②p.546～586	OT実習室 1
第15回 7/11	発達検査② 発達検査の方法と目的を理解し、検査を実施する。 【KW】JMAP・K-ABC2 他 * 実際の検査を実施しながら、目的と方法を理解しましょう。	中原	②p.546～586	OT実習室 1
定期試験				

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	中枢神経障害作業療法学	2	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	古屋亜由美	解剖学、神経内科学、中枢神経作業療法学実習				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	実務経験を活かし、臨床現場で見られる患者様の症状や特徴を具体的に示しながら教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	脳血管障害について理解し、作業療法士の評価や関わりについて理解できる					
行動目標 (SBO)	脳血管障害の種類を知り、違いについて理解する 脳血管障害における障害部位と、部位によって異なる症状が出現することを理解する 脳血管障害により生じる症状について説明できる 脳血管障害に対する評価方法を知る 脳血管疾患患者に対する作業療法士の関わりについて学ぶ 脳血管障害における症状を想像し、自身に置き換えながら考えることができる					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
適宜グループワークを行います。活発な授業になるようにしましょう。 毎回資料を配布しますが、教科書を参考に作成しているため、教科書は毎回必ず持参してください。資料で分からない部分については教科書を利用したり、質問するようにして下さい。 脳血管障害の症状については、解剖学など基礎的な知識があると理解しやすいです。 脳血管障害について理解を深めることで、後期に行う中枢神経作業療法学実習の授業も理解しやすくなります。						
教科書・参考書						
医療情報科学研究所／編 病気がみえる vol. 7 脳・神経 第1版 (メディックメディア) 岩崎テル子他／編 標準作業療法学 作業療法評価学 (医学書院)						
受講時留意点、その他						
予習・復習を行い理解を深めるようにしましょう。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	定期試験を実施し、授業内容の理解度を確認する。				
小テスト		毎回、授業の冒頭に小テストを実施します。内容は前回の振り返りと当日の授業内容(予習内容)を含みます。				
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月6日	オリエンテーション・脳血管障害とは 脳血管障害についての概要、種類とその違いについて理解する 【KW】脳血管障害、脳梗塞、脳出血、一過性脳虚血発作、くも膜下出血	古屋	病気がみえる P68～99、 110～111 配布資料	107
第2回 4月18日	脳血管障害の経過 脳血管障害の経過、回復過程について理解する 【KW】回復過程、予後予測、急性期、回復期、維持期（生活期）	古屋	病気がみえる P148～149 配布資料	107
第3回 4月25日	脳血管障害における症状①（運動障害、感覚・知覚障害） 脳血管障害患者に認める症状について理解する 【KW】運動障害、感覚・知覚障害、連合反応、共同運動	古屋	病気がみえる P190～229 配布資料	107
第4回 4月28日	脳血管障害における症状②（高次脳機能障害） 脳血管障害患者に認める症状(高次脳機能障害)について理解する 【KW】高次脳機能障害、優位半球損傷	古屋	病気がみえる P157～163 配布資料	107
第5回 5月12日	脳血管障害における症状③(高次脳機能障害) 脳血管障害患者に認める症状(高次脳機能障害)について理解する 【KW】高次脳機能障害、劣位半球損傷	古屋	病気がみえる P157～163 配布資料	107
第6回 5月18日	画像診断 脳画像の見方を理解する 【KW】脳画像、CT、MRI、脳の解剖、中枢神経系	古屋	病気がみえる P86～88 配布資料	107
第7回 5月26日	画像診断と臨床所見 脳画像を見て病巣を理解する。病巣により異なる症状を理解する 【KW】脳画像、CT、MRI、脳の解剖、中枢神経系、伝導路	古屋	病気がみえる P110～123 配布資料	203
第8回 5月30日	脳血管障害に対する作業療法評価①（身体機能） 脳血管障害患者に対する機能評価について理解する 【KW】JCS、GCS、Brunnstrom test、感覚検査、腱反射、筋緊張	古屋	作業療法評価学 P281～285、 114～159 配布資料	107
第9回 6月2日	脳血管障害に対する作業療法評価②（ADL） 脳血管障害患者に対するADL評価について理解する 【KW】ADL、観察、 自助具、Barthel Index(BI)・Functional Independence Measure(FIM)	古屋	作業療法評価学 P213～240 配布資料	203
第10回 6月9日	脳血管障害に対する作業療法評価③（高次脳機能） 脳血管障害患者に対する高次脳機能評価について理解する 【KW】高次脳機能障害	古屋	作業療法評価学 P441～466 病気がみえるP163 配布資料	107
第11回 6月16日	脳血管障害における急性期の作業療法 急性期の脳血管障害患者に対する作業療法士のアプローチについて学ぶ 【KW】急性期、リスク管理、廃用症候群	古屋	病気がみえる P148～149 配布資料	107
第12回 6月23日	脳血管障害における回復期の作業療法 回復期の脳血管障害患者に対する作業療法士のアプローチについて学ぶ 【KW】回復期、家屋調査、家族指導、QOL	古屋	病気がみえる P148～149 配布資料	107
第13回 6月30日	脳血管障害における維持期(生活期)の作業療法 慢性期の脳血管障害患者に対する作業療法士のアプローチについて学ぶ 【KW】維持期(生活期)、社会復帰、訪問リハビリ	古屋	病気がみえる P148～149 配布資料	107
第14回 7月6日	摂食・嚥下障害 脳血管障害の患者に見られる摂食・嚥下障害について理解する 【KW】摂食・嚥下障害、誤嚥、口腔ケア、食事形態、経管栄養、胃瘻	古屋	病気がみえる P154～155 作業療法評価学 P184～193 配布資料	107
第15回 7月14日	頭部外傷 頭部外傷について理解する 【KW】急性硬膜下血腫、急性硬膜外血腫、脳挫傷、慢性硬膜下血腫	古屋	病気がみえる P530～547 配布資料	107
定期試験	前期末試験を実施します			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	精神障害作業療法学総論	1	30	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	中原 留美子	精神医学Ⅰ・Ⅱ、精神障害作業療法評価学、精神障害作業療法学各論、心理学、臨床心理学				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この科目は作業療法士が担当します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	精神障害領域における作業療法の歴史や治療構造を理解する。					
行動目標 (SBO)	1. 精神障害と精神障害領域における作業療法の歴史を理解する 2. 精神障害領域における作業療法の治療機序・特性・実践を理解する 3. 作業療法の構成要素の1つである「自己」について、治療的活用方法を知る					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
<p>精神医療福祉の歴史と現在の法律には深い関係があります。精神医療に携わる上で重要な知識となりますので、まずは知る事から始めましょう。</p> <p>精神障害領域では、個別や集団等、様々な形態で作業を用います。作業療法の基本となる「作業」について、精神障害領域での活用という視点を持って特性を理解しましょう。また、対象者との関わりにおいて、「自分自身」は重要な治療道具の1つとなります。作業療法の治療構造を理解すると共に、自分自身についても考えるきっかけにしましょう。</p>						
教科書・参考書						
①精神障害と作業療法 新版 (三輪書店) ②生活を支援する精神障害作業療法 第2版 (医歯薬出版株式会社)						
受講時留意点、その他						
<p>精神障害に対する理解を深める為には、興味関心を持つことが何よりも大切です。</p> <p>積極的な授業への参加をお願いします。</p>						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験	100	定期試験の範囲は第1回～第15回、前期末に定期試験を実施します。				
小テスト						
レポート						
実技試験						
プレゼンテーション						
その他						
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月5日	オリエンテーション・精神障害領域の作業療法とは 講義の目的・内容・スケジュールを確認し、理解する。精神障害領域の作業療法の概要を知る。【KW】精神疾患、精神障害者、作業療法	中原	配布資料	
第2回 4月13日	精神障害の歴史と法律 精神医学と作業療法の歴史を知り、今現在の精神障害者に対する法律について理解する。【KW】歴史、精神保健福祉法、司法精神医療	中原	①35-56 ②2-6	
第3回 4月15日	作業療法実践の基本的視点 精神障害領域の作業療法を実施する上での基本的な視点について理解する。【KW】個別性、主体性、その人らしさ	中原	②20-35, 51-57	
第4回 4月18日	ひとと病い 精神疾患と障害の関係性について知り、障害を受容して生きることについて考える。【KW】ストレングスモデル・リカバリー・障害特性	中原	①1-34 ②28	
第5回 4月25日	作業をもちいる療法の特性 作業を用いる療法の特性、意味、目的について理解する。【KW】自律・目的としての作業・手段としての作業・回復状態と作業療法	中原	④57-83	
第6回 5月10日	作業療法の治療・支援構造と治療機序① 作業療法の構成要素とそれぞれの関係性を理解する。構成要素である対象者について理解を深める。【KW】構成要素・構造・対象者	中原	①85-92	
第7回 5月18日	作業療法の治療・支援構造と治療機序② 作業療法の構成要素である作業について理解を深める。【KW】作業分析・作業の目的・作業の効果	中原	①92-117	
第8回 5月20日	作業療法の治療・支援構造と治療機序③ 作業療法の構成要素である作業療法士自身について、治療的活用方法と対象者との関係性について理解する。【KW】自己の治療的活用・自己開示・パーソナリティ	中原	①117-121	
第9回 6月3日	作業療法の治療・支援構造と治療機序④ 作業療法を展開する場や時間と治療的效果の関係性について理解する。【KW】個人・集団・対象関係	中原	①122-141	
第10回 6月6日	作業療法の実践① 作業療法が行われる場を知り、それぞれの領域の関わりを理解する。急性期における作業療法の役割を理解する。【KW】領域別・医療・急性期	中原	①216-227	
第11回 6月17日	作業療法の実践② 地域生活における作業療法の役割を理解する。【KW】回復期前期・地域移行・地域定着	中原	①228-245 ②174-214	
第12回 6月22日	作業療法の実践③ 緩和期における作業療法の役割と、就労支援における作業療法の役割および制度を理解する。【KW】緩和期、就労移行支援、就労定着支援	中原	①246-249 ②215-242	
第13回 6月29日	作業療法の実践④ 児童・老年期における作業療法の役割と、司法精神医療における作業療法の役割を理解する。【KW】児童期・老年期・司法精神医療	中原	①250-262 ②167-171	
第14回 7月6日	理論・関連療法・モデル 作業療法に関わる関連療法を知り、作業療法における利用方法について知る。【KW】音楽・園芸・絵画・レクリエーション・心理教育・認知行動療法、身体療法	中原	①342-363	
第15回 7月13日	様々な対象者支援、まとめ 家族支援やピアサポート等、地域移行・定着支援における様々な支援方法を知る。これまでの講義を振り返る。【KW】ピアサポート、家族心理教育	中原	②174-253	
定期試験	第1～15回の内容について前期末試験を実施します。			

(R02-カリキュラム)

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	授業方法	必修・選択	聴講生受入
専門	福祉用具と住環境	2	45	講義	必修	—
対象学科	担当教員	この科目と関連の深い科目				
作業療法学科	松尾祐介	日常生活活動学・日常生活活動学実習・中枢神経障害作業療法学 身体障害作業療法学実習Ⅰ・身体障害作業療法学実習Ⅱ				
開講時期	実務家教員による科目の概要 *実務家教員による科目の場合に記載しています。					
2年次 前期	この授業は作業療法士が担当します。様々な領域での作業療法の実務経験を基に、福祉用具の適 合や調整、住環境整備について教授します。					
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示						
一般目標 (GIO)	作業療法治療の手段である福祉機器・住宅改修について理解する。					
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉用具の概要を理解し、作業療法士の役割が説明できる。 2. 福祉用具の選定時の評価と、導入までの流れを説明できる。 3. 福祉用具の種類と使い方を理解する。 4. 自助具を作製し、使用体験をすることでその改善点を見いだせる。 5. 住宅改修のポイントと作業療法士の役割が理解できる 					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など						
福祉用具は、暮らしのなかで不便なく暮らせるよう創意工夫し、形作られたものです。その目的は、使い方やライフスタイルに応じ た対応などを含め、「よりよい生活」を支援することにあります。この授業では福祉用具の選定・適合に必要な知識・技術の習得 を目指します。各ADL・IADLに焦点をあて、作業療法の対象者にどのように適合していくのかを考えます。普段の生活から、意 識してものを観察し、扱ってみましょう。またADLやIADL場面においてどのように動作を行っているのか意識するよう努めてくださ い。						
教科書・参考書						
教科書：作業療法学全書 改訂第3版 第10巻 作業療法技術学2 福祉用具の使い方・住環境整備 改訂第3版 (協同医書出版社)						
受講時留意点、その他						
第5回から第23回はそれぞれグループに分かれ課題を進めます。各グループ計画に沿って進めましょう。 ディスカッションの前には事前学習を行い、自らの意見をまとめましょう。また、ディスカッションでは積極的に発言するとともに、メン バーの意見を傾聴しましょう。チームで物事を進める力を身に着けることを意識し取り組んでください。						
成績評価方法						
評価方法	評価割合	具体的な評価の方法、観点 など				
定期試験						
小テスト	20	第1回から第4回の範囲に関して小テストを実施します。				
レポート	80	第5回-第7回は作成した自助具とレポートの提出を求めます。 第8回-第23回については単元ごとにレポート (ポートフォリオ) の提出を求めます。 (第8回-第9回、第10回-第12回、第13回-第15回、第16回-第18回、第19回、第20-第23回)				
実技試験						
プレゼンテ ーション						
その他		グループワークへの積極的な参加を求めます。 各単元ごと自己評価、相互評価を行います。準備をせずに参加、ディスカッションへの不参加、その他非協力的 な状況が認められた場合は、状況確認の上、小テスト、レポートの評定から減点します。				
(合計)	100					

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第1回 4月11日	オリエンテーション/作業療法士の行う環境整備 キーワード：障害、福祉用具、環境、参加	松尾	p5-15 p155	OT実習室2 装具加工室
第2回 4月11日	住環境整備の基礎知識 キーワード：住宅の機能、建築モジュール	松尾	p155-160	OT実習室2 装具加工室
第3回 4月19日	住環境整備の実際 キーワード：有効幅、段差、てすり	松尾	p164-178	OT実習室2 装具加工室
第4回 4月22日	福祉用具・住環境整備に関わる制度 リスクマネジメント キーワード：障害者総合支援法、介護保険、リスクマネジメント	松尾	p13-31	OT実習室2 装具加工室
第5回 4月27日	自助具作製のプロセスを理解する キーワード：評価、作製プロセス、自助具作製	松尾	配布資料	OT実習室2 装具加工室
第6回 5月11日	自助具作製 キーワード：脊髄損傷、ユニバーサルカフ	松尾	裁縫セット	OT実習室2 装具加工室
第7回 5月11日	自助具作製 キーワード：脊髄損傷、ユニバーサルカフ	松尾	裁縫セット	OT実習室2 装具加工室
第8回 5月18日	起居動作・排泄に関わる福祉用具 キーワード：ベッド、マットレス、寝具、ベッド柵、リフター、便器	松尾	p33-51 p78-83	OT実習室2 装具加工室
第9回 5月25日	起居動作・排泄に関わる福祉用具 キーワード：ベッド、マットレス、寝具、ベッド柵、リフター、便器	松尾	p33-51 p78-83	OT実習室2 装具加工室
第10回 5月25日	移動するための福祉用具と住環境整備 キーワード：杖、歩行器、車いす	松尾	p52-68	OT実習室2 装具加工室
第11回 6月1日	移動するための福祉用具と住環境整備 キーワード：杖、歩行器、車いす	松尾	p52-68	OT実習室2 装具加工室
第12回 6月1日	移動するための福祉用具と住環境整備 キーワード：杖、歩行器、車いす	松尾	p52-68	OT実習室2 装具加工室
第13回 6月6日	更衣・整容・入浴に関わる福祉用具と住環境 キーワード：リーチ、洗体、浴槽移乗	松尾	p68-78	OT実習室2 装具加工室
第14回 6月6日	更衣・整容・入浴に関わる福祉用具と住環境 キーワード：リーチ、洗体、浴槽移乗	松尾	p68-78	OT実習室2 装具加工室
第15回 6月13日	更衣・整容・入浴に関わる福祉用具と住環境 キーワード：リーチ、洗体、浴槽移乗	松尾	p68-78	OT実習室2 装具加工室

(R02-カリキュラム)

回数 日付	テーマ・内容・キーワード(KW)・授業時間外に必要な学修 等	教員	教科書	教材 教室
第16回 6月13日	家事・食事に関わる福祉用具と住環境 キーワード：食具、食器、調理、掃除、洗濯	松尾	p83-94	OT実習室2 装具加工室
第17回 6月20日	家事・食事に関わる福祉用具と住環境 キーワード：食具、食器、調理、掃除、洗濯	松尾	p83-94	OT実習室2 装具加工室
第18回 6月20日	調理・食事に関わる福祉用具と住環境 キーワード：食具、食器、調理、掃除、洗濯	松尾	p83-94	OT実習室2 装具加工室
第19回 6月27日	<u>コミュニケーション</u> に関わる福祉用具・ITの活用	松尾	p98-105	OT実習室2 装具加工室
第20回 6月27日	総合事例演習	松尾	配布資料	OT実習室2 装具加工室
第21回 7月4日	総合事例演習	松尾	配布資料	OT実習室2 装具加工室
第22回 7月4日	総合事例演習	松尾	配布資料	OT実習室2 装具加工室
第23回 7月11日	総合事例演習	松尾	配布資料	OT実習室2 装具加工室
定期試験				